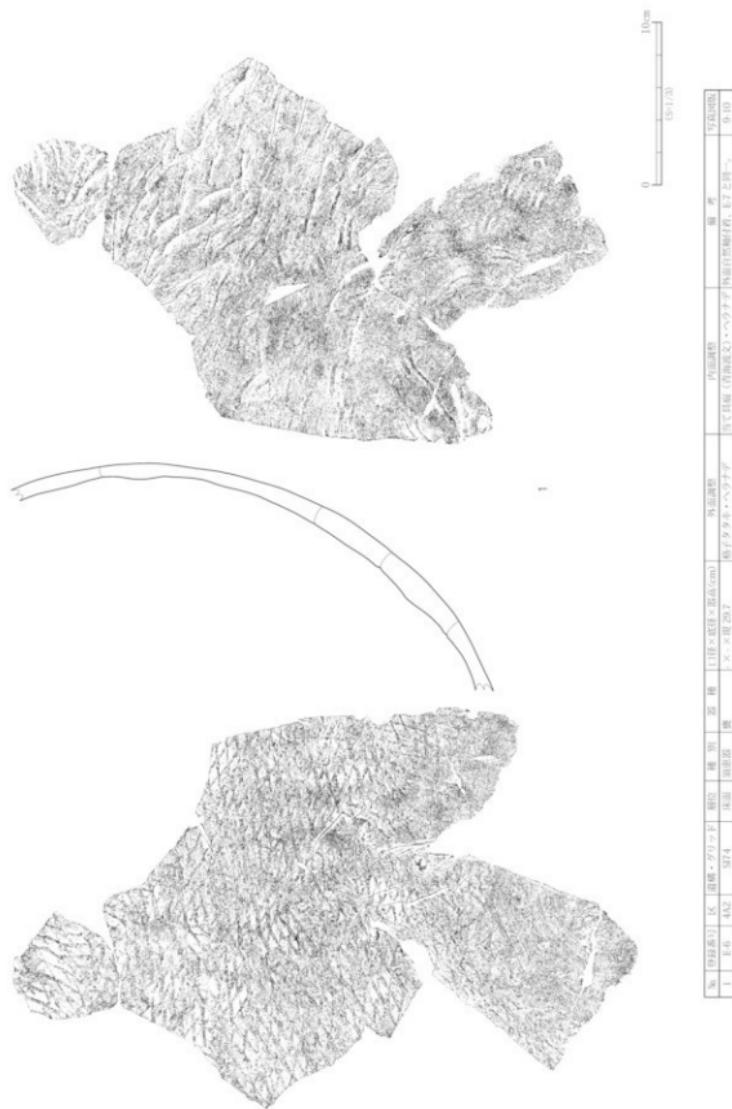


第25図 S174 壺穴住居跡出土遺物 (3)

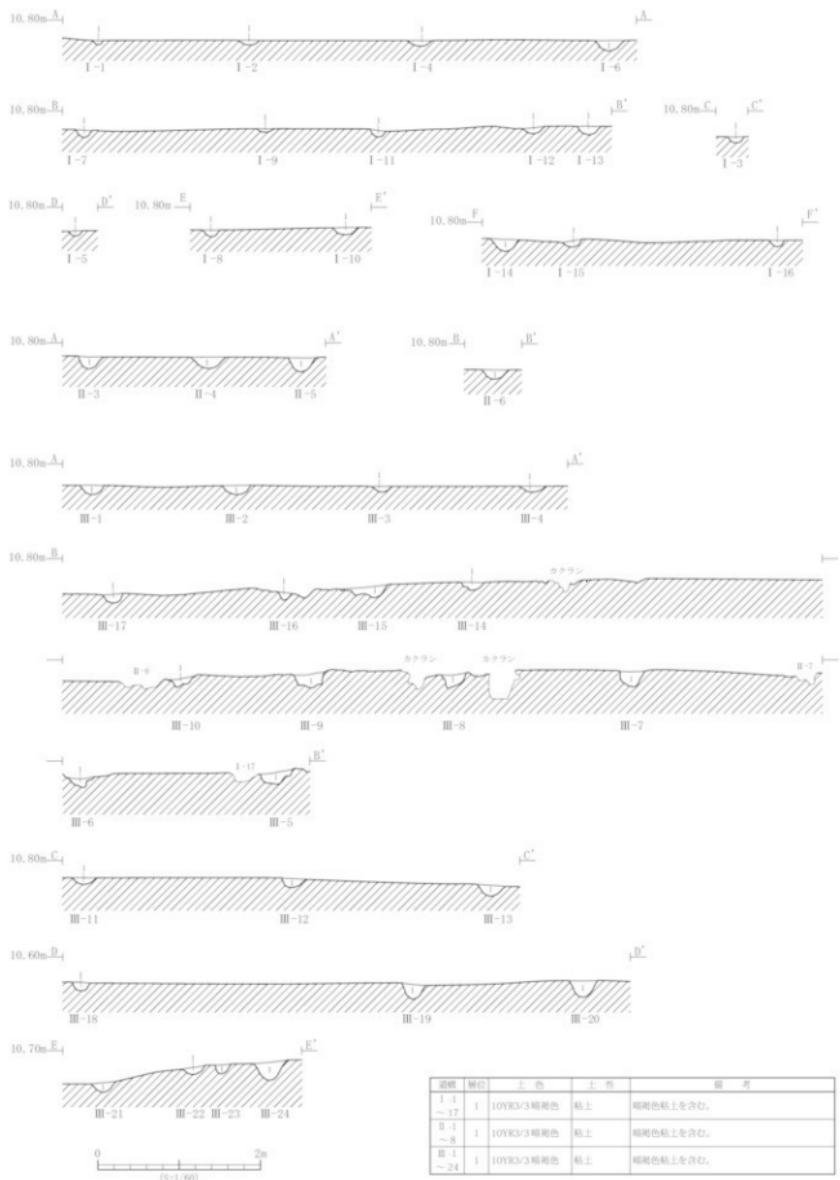
(5) 遺構外出土遺物 (第29図、図版10)

基本層IVc層を中心に多くの遺物が出土しており、それらのうち、縄文土器2点、土師器2点、須恵器3点、打製石器2点、砾石器1点、石製品1点を第29図に図示した。1・2はⅢa層から出土した須恵器坪である。共に口縁部上端が短く外反する。1は平底で底部は回転ヘラケズリ整形である。3はⅣa層から出土した須恵器坪である。底部の切り離しは回転ヘラ切りで、体部から直線的に外傾して口唇部にいたる。4・5はⅣb層から出土した土師器坪である。4は丸底の底部から体部へと緩やかに立ち上がり口縁部が短く直立する器形で、内面は黒色処理される。5はいわゆる平底盤状坪の破片で、口唇部へと直線的に外傾する。口縁部内面に沈線状の凹みがある。6~9は沈線文が施文される縄文土器深鉢である。8は山形突起が付く口縁部片で、横位の並行沈線文の間に刺突文が施文される。9は胴部上端に最大径を持ち、口縁部には3条の並行沈線文が施文される。10は貼り瘤を持つ注口土器の胴部片である。注口部は剥落している。上半は横位の沈線文で区画され、その内部には横方向に展開する弧状の沈線が施文される。11・12はいずれも玉髓製の有茎石鏡である。12は身部の中間に抉りがある。13は凹痕と敲打痕が複合して観察される砾石器である。全体的に被熱による変色がみられる。14は有孔の砥石である。大部分を欠損している。表面中央には使用に伴うと考えられる溝状の凹みがある。

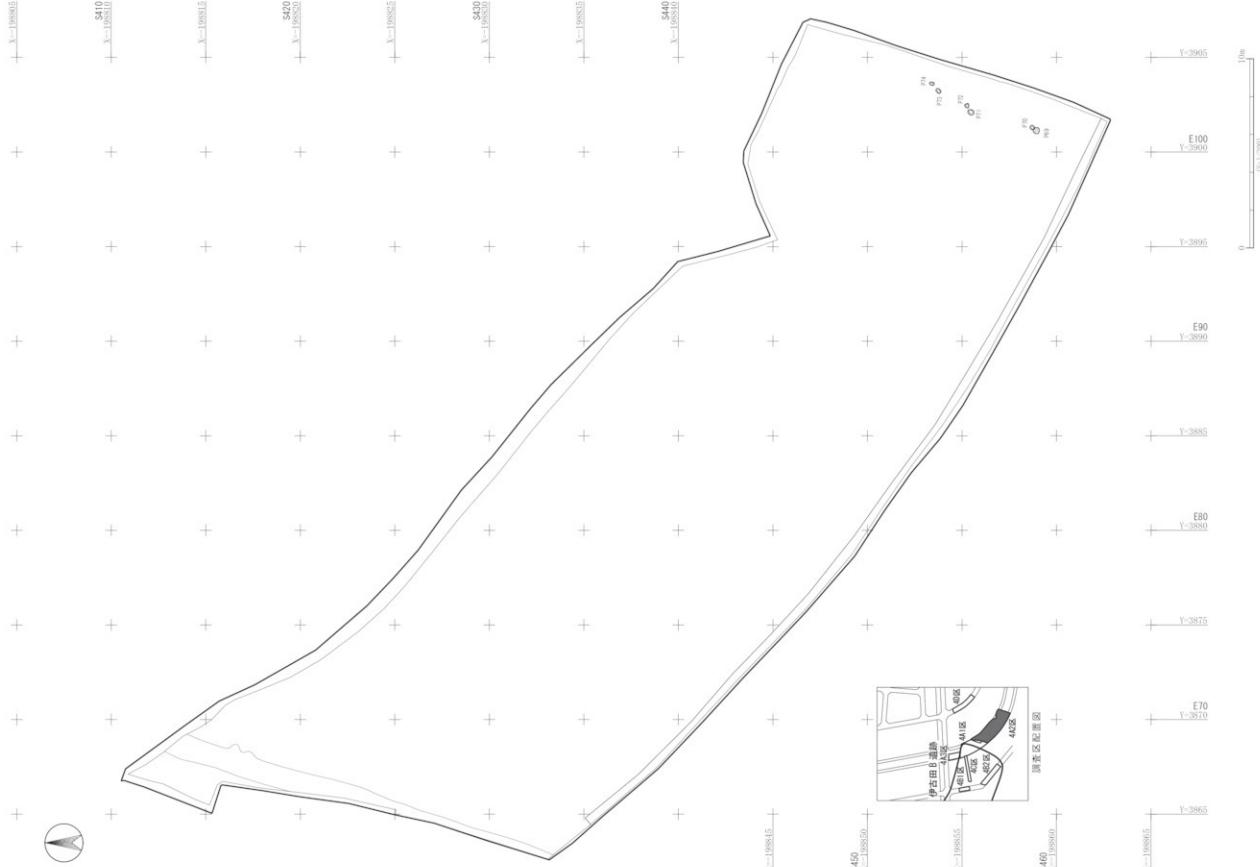


第26図 S-1 7-4号穴住居跡出土遺物 (4)

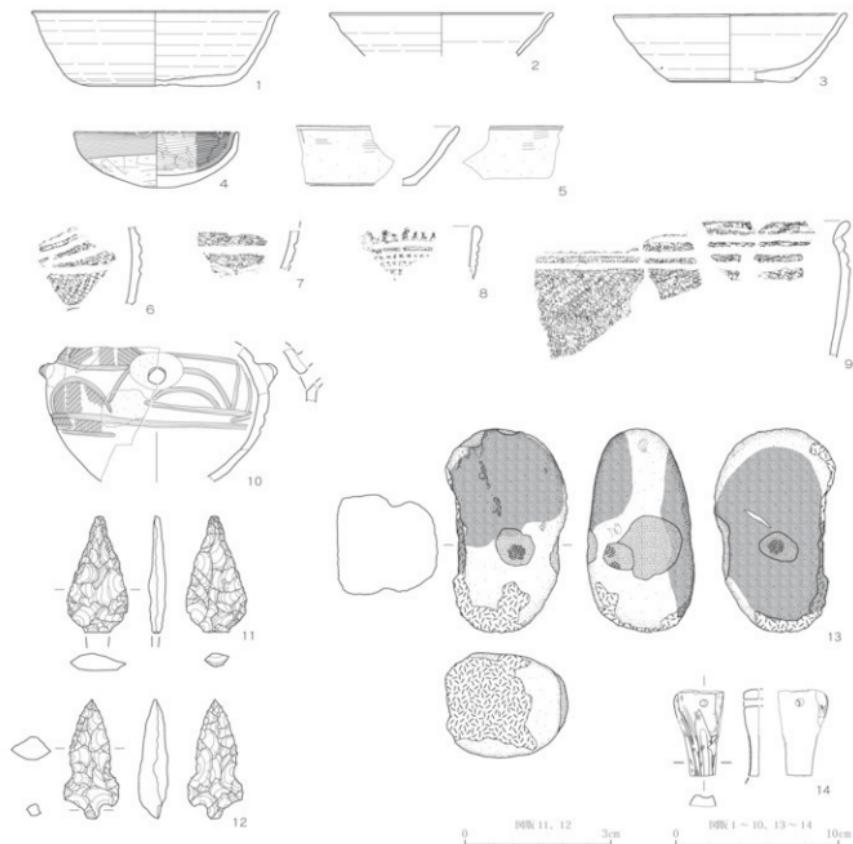
第5節 伊古田B遺跡4A2区



第27図 小溝状遺構群断面図



第28図 伊古田B遺跡4A2区V層遺構配置図

図版 11, 12 3cm
(S-1/1)図版 1 ~ 10, 13 ~ 14 10cm
(S-1/3)

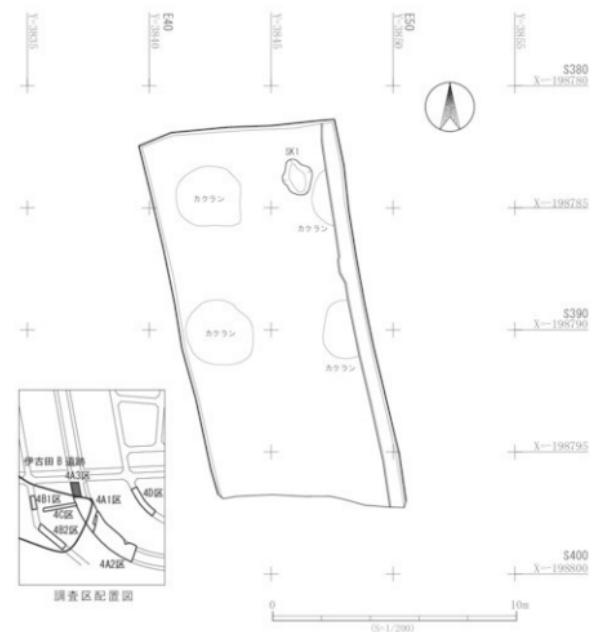
No.	登録番号	区	期位	遺構・グリッド	種別	器種	寸法×底径×高さ(cm)	内部調整	備考	写真図版
1	E-9	4A2	B b	-	調査器	环	(15.2) × 8.2 × 4.6	クロナデ 鉢部側面ヘラク	クロナデ	内面部大押痕あり。
2	E-10	4A2	B b	-	調査器	环	(13.8) × - × 2.6	クロナデ	クロナデ	
3	E-11	4A2	N a	-	調査器	环	14.4 × 7.6 × 4.2	クロナデ 鉢部側面ヘラ	クロナデ	
4	C-10	4A2	B b	-	土師器	环	10.2 × - × 3.4	ヨコナデ・ハラズアズリ	ハラミ万キ・黒色処理	
5	C-11	4A2	B b	-	土師器	环	- × - × 3.6	ハラミ万キ	ハラミ万キ	内面部摩滅。
6	A-6	4A2	N c	1 ~ 4	網文土器	深鉢	輪形・沈殿文・LR網文	輪形・沈殿文・LR網文		
7	A-7	4A2	N c	■-2	網文土器	深鉢	輪形・沈殿文		内面部摩滅。	
8	A-3	4A2	N b	-	網文土器	深鉢	口縁部・山筋突起・沈殿文・刺突文 口斜部・有孔	口縁部・山筋突起・沈殿文・刺突文 口斜部・有孔		
9	A-5	4A2	N b	-	網文土器	深鉢	口縁・側・沈殿文・LR網文	口縁・側・沈殿文・LR網文	内面部摩滅。	
10	A-4	4A2	N b	-	網文土器	口口	輪形・沈殿文・影彫・LR網文	口口部削落、外面部摩滅。		
No.	登録番号	区	期位	遺構・グリッド	種別	器種	文様等		備考	写真図版
6	A-6	4A2	N c	1 ~ 4	網文土器	深鉢	輪形・沈殿文・LR網文			10-6
7	A-7	4A2	N c	■-2	網文土器	深鉢	輪形・沈殿文		内面部摩滅。	10-7
8	A-3	4A2	N b	-	網文土器	深鉢	口縁部・山筋突起・沈殿文・刺突文 口斜部・有孔	口縁部・山筋突起・沈殿文・刺突文 口斜部・有孔		10-8
9	A-5	4A2	N b	-	網文土器	深鉢	口縁・側・沈殿文・LR網文	口縁・側・沈殿文・LR網文	内面部摩滅。	10-9
10	A-4	4A2	N b	-	網文土器	口口	輪形・沈殿文・影彫・LR網文	口口部削落、外面部摩滅。		10-10
No.	登録番号	区	期位	遺構・グリッド	種別	器種	材	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	写真図版
11	Ko-a-1	4A2	N c	5A78	打削石器	石頭	碧玉	24.4 × 1.3 × 0.4 0.82	有穿孔。基部尖削。	9-10
12	Ko-a-2	4A2	N a	-	打削石器	石頭	玉髓	24 × 2.1 × 0.6 1.27	有穿孔。部分に扱いあり。	10-12
13	Ko-b2-2	4A2	N b	-	調査器	門・鏡	安山岩	12.5 × 7.1 × 6.6 766.09	門1-1、扇形2、扇3、鏡熱、火ハサあり。	10-13
14	Kd-a-1	4A2	N b	-	石製品	研石	右近東山岩質凝灰岩	(5.3) × (3.0) × (0.9) (16.88)	鏡面4面、有孔。	10-14

第29回 遺構外出土遺物

第5節 伊古田B遺跡4A3区

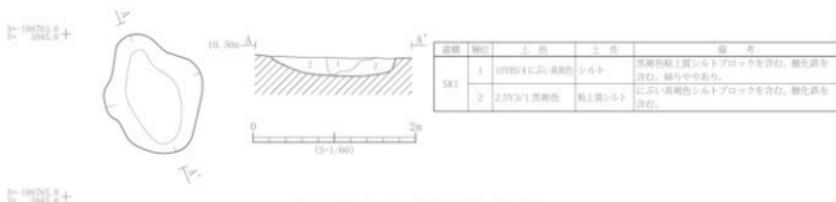
3. 4 A 3区の調査

4 A 3区では、基本層V層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、土坑1基を検出した。



第30図 伊古田B遺跡4A3区V層遺構配置図

SK1土坑（第31図、図版6）E40・S380グリッドで検出した。平面形は不整形で、長軸方向はN-23°Wである。規模は長軸1.53m、短軸1.23m、深さ24cmで、壁面は北側が緩やかに、南側が急角度に立ち上がる。断面形は逆台形状で、底面は概ね平坦である。堆積土は2層に分層される。遺物は出土していない。



第31図 SK1土坑平面図・断面図

4. 4 B 1区の調査

4 B 1区では、基本層IV b層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群2群を検出した。V層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、ピット4基を検出した。ピットは建物等の組み合わせを検討したが、明確なものは確認されなかった。ピットについては遺構配置図にのみ表示している。

（1）IV b層検出の遺構（第32図、図版6）

1) 小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、方向と重複関係からI・II群に分けられる。また、重複関係からII群→I群の変遷がたどれる。

I群（第32・33図、図版6） W0-E0～W10・S390～400グリッドで検出した北東から南西方向の遺構群で、7条の小溝で構成される。方向はN-8°～15°-Eで、検出長2.10～8.55m、幅24～49cm、深さ4～11cmである。小溝の間隔は、41～88cmである。堆積土は単層である。遺物は+出土していない。

II群（第32・33図、図版6）

W0-E0～W10・S390～400

グリッドで検出した北西から南東方向の遺構群で、12条の小溝で構成される。方向はN-83°～86°-Wで、検出長2.20～4.45m、15～61cm、深さ6～10cmである。II-9・10は西側で接して平面形が「Y」字状となっているが、堆積土が同一のため重複関係は不明である。II-9・10を除く小溝の間隔は、4cm～1.13mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

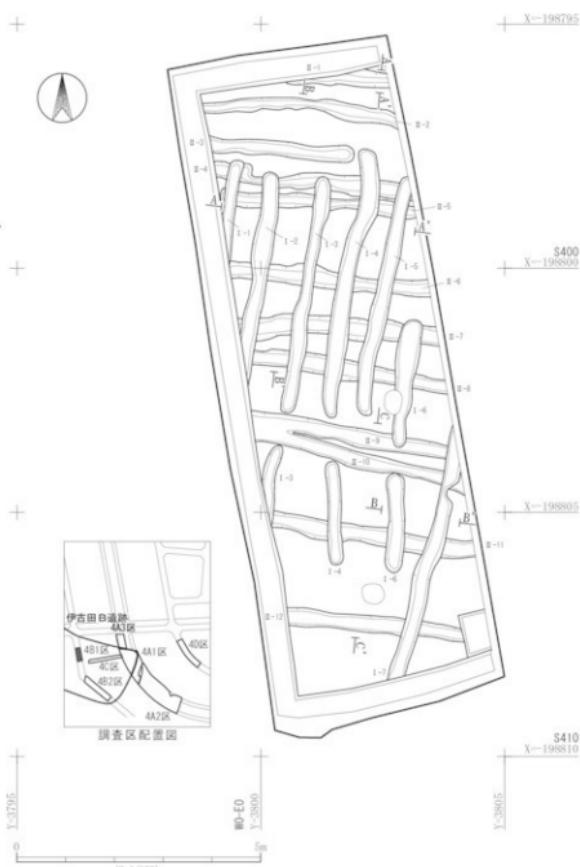
（2）V層検出の遺構と遺物（第34図、図版6）

1) ピット（第34図、図版6）

4基のピット（P1～4）を検出した。北西・南東方向に約2～3m間隔で一直線に並ぶように位置することから柱列の可能性がある。遺物は出土していない。

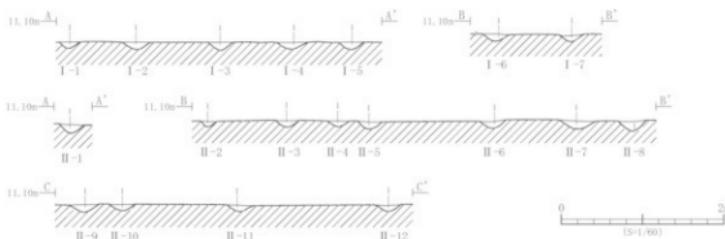
（3）遺構外出土遺物（第34図、図版10）

IV a層から出土した打製石器1点を第34図に図示した。有茎石鏃であり、剥離調整が全体的に粗いことから未成品と考えられる。



第32図 伊古田B遺跡4B 1区IV b層遺構配置図

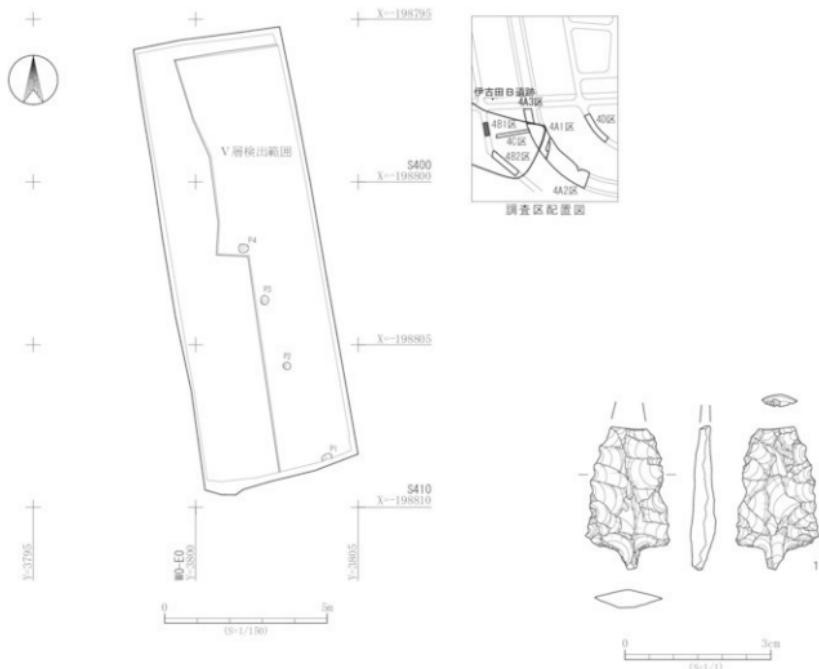
第5節 伊古田B遺跡4B1区



遺構	解説	土 色	土 性	備 考
I-A1 ～ I-E1	I	100E5/4に弱く黃褐色	シルト	盛りややあり。

遺構	解説	土 色	土 性	備 考
II-A1 ～ II-E1	I	10YR4/2 H, 黄褐色	シルト	盛りややあり。

第33図 小溝状遺構群断面図



No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種 别	器 様	石 材	長さ×幅×厚さ (cm)	重さ (g)	備 考	写真図版
1	Ka-a-3	4B1	-	IV'a	打製石器	石鏟	白石	(2.95) × 1.7 × 0.5	(1.98)	有茎鏟、先端部および基部火照。 未完成品。	10-15

第34図 伊古田B遺跡4B1区V層遺構配置図・遺構外出土遺物

5. 4B 2区の調査

4B 2区では、基本層IV b層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群1群を検出した。IV c層上面（古代の遺構検出面）において、水田跡、溝跡2条、小溝状遺構群3群を検出した。V層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、溝跡1条、ビット6基を検出した。ビットは建物等の組み合わせを検討したが、明確なものは確認されなかった。ビットについては遺構配置図にのみ表示している。

(1) IV b層検出の遺構（第35図）

1) 小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、1群を検出した。

I群（第35・36図、図版7） E10～20・S430～440グリッドで検出した東西方向の遺構群で、10条の小溝で構成される。方向はN-86°～88°-E・N-82°～87°-Wで、検出長1.85～5.54m、幅9～52cm、深さ2～10cmである。小溝の間隔は、5cm～2.67mである。I-4は東側が枝状に分岐する。その箇所は、異なる小溝の重複や振り直しだった可能性も考えられるが、堆積土が同一であり、新旧関係は不明である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

(2) IV c層検出の遺構（第37～40図、図版9）

1) 水田跡

水田跡（第37・38図、図版7） E20～30・S440グリッドで畦畔2条を検出した。検出状況から擬似畦畔Bと考えられる。北東および南西の調査区外へ直線的に延びる。小溝状遺構I～III群と重複関係にあり、本遺構が古い。擬似畦畔B No.1の方向はN-16°-Eで、検出長6.10m、幅1.10～1.64m、高さ3～5cmである。断面形は台形である。擬似畦畔B No.2は、擬似畦畔B No.1の東側に位置する。擬似畦畔B No.1と「T」字状に接続し、東側の調査区外へ直線的に延びる。方向はN-78°-Wで、検出長1.65m、幅1.05～1.50m、高さ3～6cmである。断面形は台形である。これらの擬似畦畔Bに区画される水田区画は2区画検出されたが、区画の全体を把握できるものはない。遺物は出土していない。本水田跡の時期は、土層の基本層III層は十和田a火山灰（915年の降灰）と考えられる灰白色火山灰を含むこと、本遺跡4A-2区IV c層上面で検出したSI74竪穴住居跡の時期が8世紀前半～中頃と考えられることから、8世紀後半～9世紀代と考えられる。

なお、第38図に示した調査区西壁の2地点から土壤サンプルを採取し、プラント・オバール分析を実施した。分析結果については本節8に掲載している。

2) 溝跡

SD16溝跡（第37・40図） E20・S430～440グリッドで検出した。北側の調査区外へ直線的に延びる。小溝状遺構I-1、II-4、III-7・8・10と重複関係にあり、小溝状遺構III-7・8・10より新しく、小溝状遺構I-1、II-4より古い。方向はN-3°-Eで、検出長5.88m、幅22～43cm、深さ5～10cmである。断面形は逆台形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

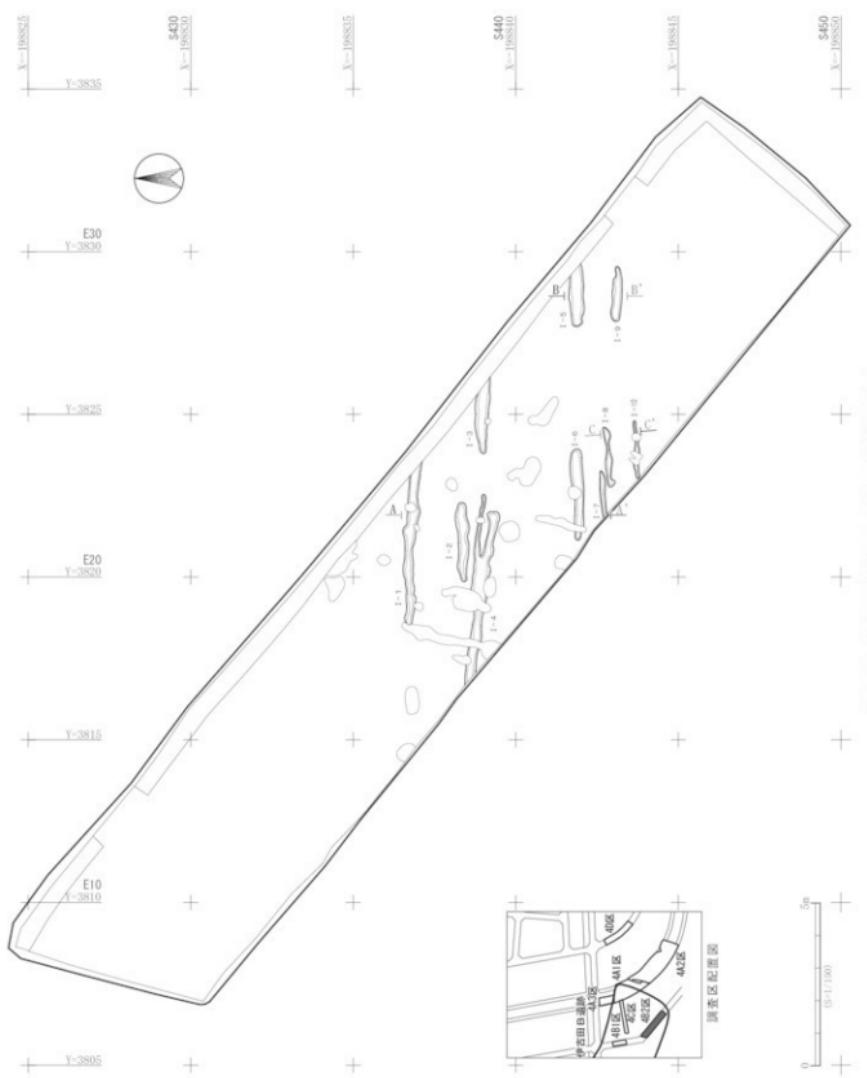
SD42溝跡（第37・40図） E20・S440グリッドで検出した。小溝状遺構II-7と重複関係にあり、本遺構が古い。方向はN-64°-Wで、長さ2.58m、幅36～64cm、深さ10cmである。断面形は逆台形である。遺物は出土していない。

3) 小溝状遺構群

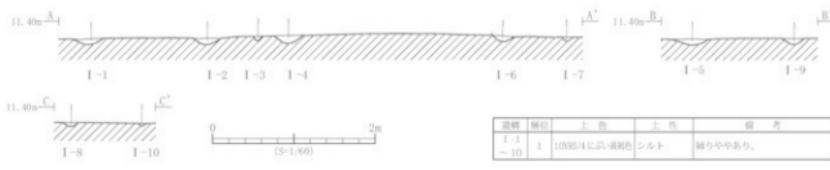
畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、方向と重複関係からI～III群に分けられる。また、重複関係からIII群→II群→I群の変遷がたどれる。

I群（第37・40図、図版7） E20・S430～440グリッドで検出した北東から南西方向の遺構群で、5条の小溝で構成される。水田跡、SD16と重複関係にあり、本遺構が新しい。方向はN-8°～20°-Eで、検出長99cm～4.81m、幅13～66cm、深さ6～21cmである。小溝の間隔は、5cm～2.58mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

第5節 伊古田B遺跡4B2区



第35図 伊古田B遺跡4B2区IV b層遺構配置図



第36図 小溝状遺構群断面図

II群（第37・40図、図版7） W0-E0～E30・S420～440 グリッドで検出した南北方向の遺構群で、12条の小溝で構成される。水田跡、SD16・42と重複関係にあり、本遺構が新しい。方向はN-5°～22°-Eで、検出長2.42～7.20 m、幅24～80cm、深さ4～25cmである。小溝の間隔は、36cm～8.61 mである。調査区東側で検出したII-7・8・11・12は、それぞれ小溝の一部が分岐する。その箇所は異なる小溝の重複や掘り直しだった可能性も考えられるが、堆積土が同一であり、新旧関係は不明である。堆積土は単層である。遺物はII-2・5・9の堆積土から土師器片が出土している。

III群（第37・40図、図版7） W0-E0～E30・S420～440 グリッドで検出した東西方向の遺構群で、16条の小溝で構成される。水田跡、SD16と重複関係にあり、水田跡より新しく、SD16より古い。方向はN-86°～89°-E・N-84°～89°-Wで、検出長2.15～9.15 m、幅18～65cm、深さ4～28cmである。小溝の間隔は、14cm～2.78 mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

(3) V層検出の遺構と遺物（第41図、図版7）

1) 溝跡

SD48 溝跡（第41図） E20・S430 グリッドで検出した。方向はN-86°-Eで、長さ2.57 m、幅17～21cm、深さ5～8cmである。断面形は逆台形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

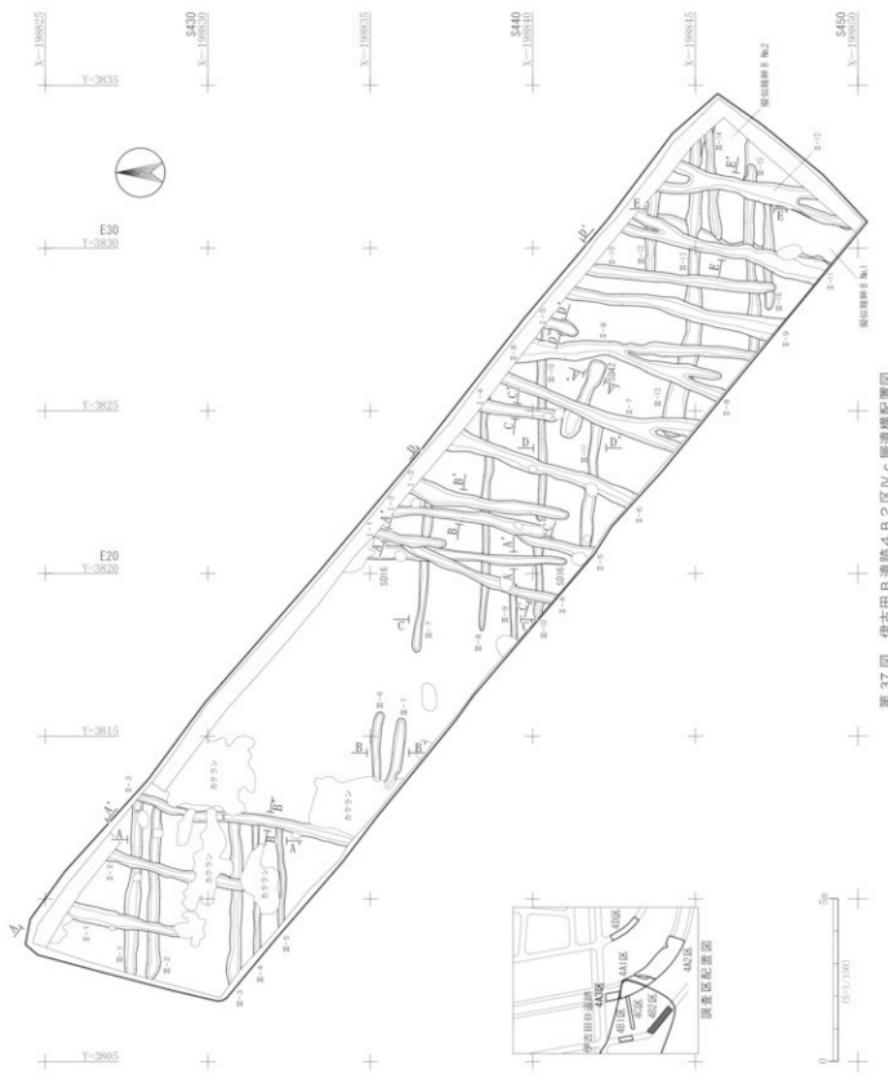
2) ピット（第41図、図版10）

6基のピット（P 1～6）を検出した。W0-E0～E10・S420～430 グリッドに散漫な分布状況を示す。遺物は出土していない。

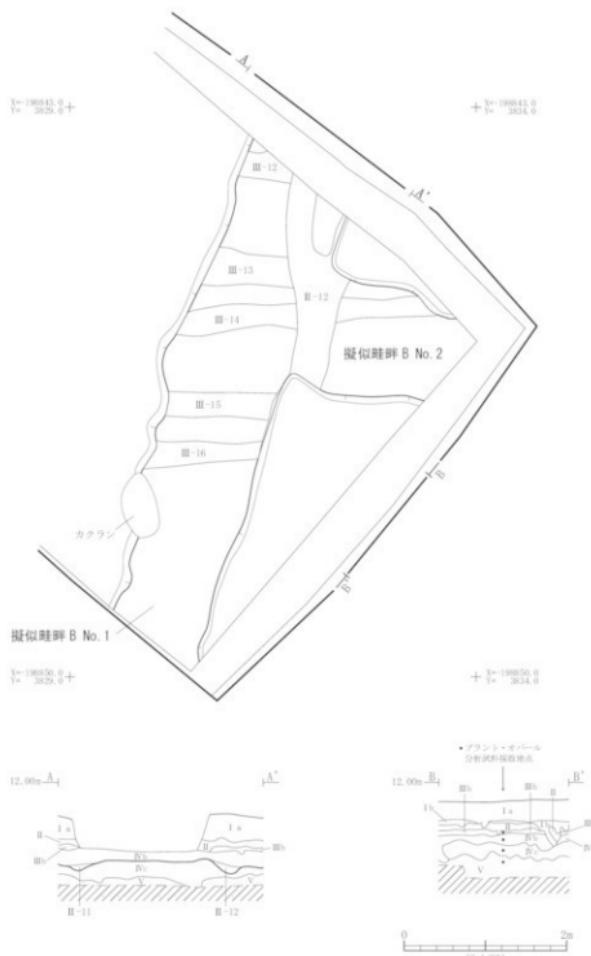
(4) 遺構外出土遺物（第42図、図版10）

基本層IV b層から出土した礫石器1点を第45図に図示した。凹痕と敲打痕が複合して観察される。

第5節 伊古田B遺跡4B2区



第37図 伊古田B遺跡4B2区IVc層構造配置図

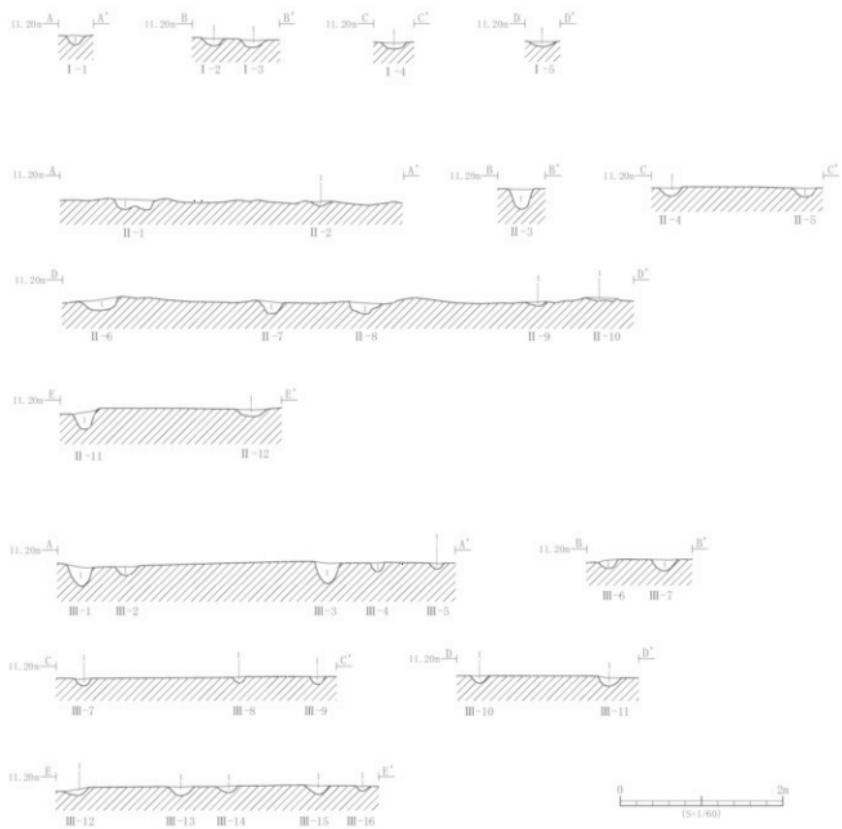


第38図 水田跡平面図・断面図



第39図 S D 16・42溝跡断面図

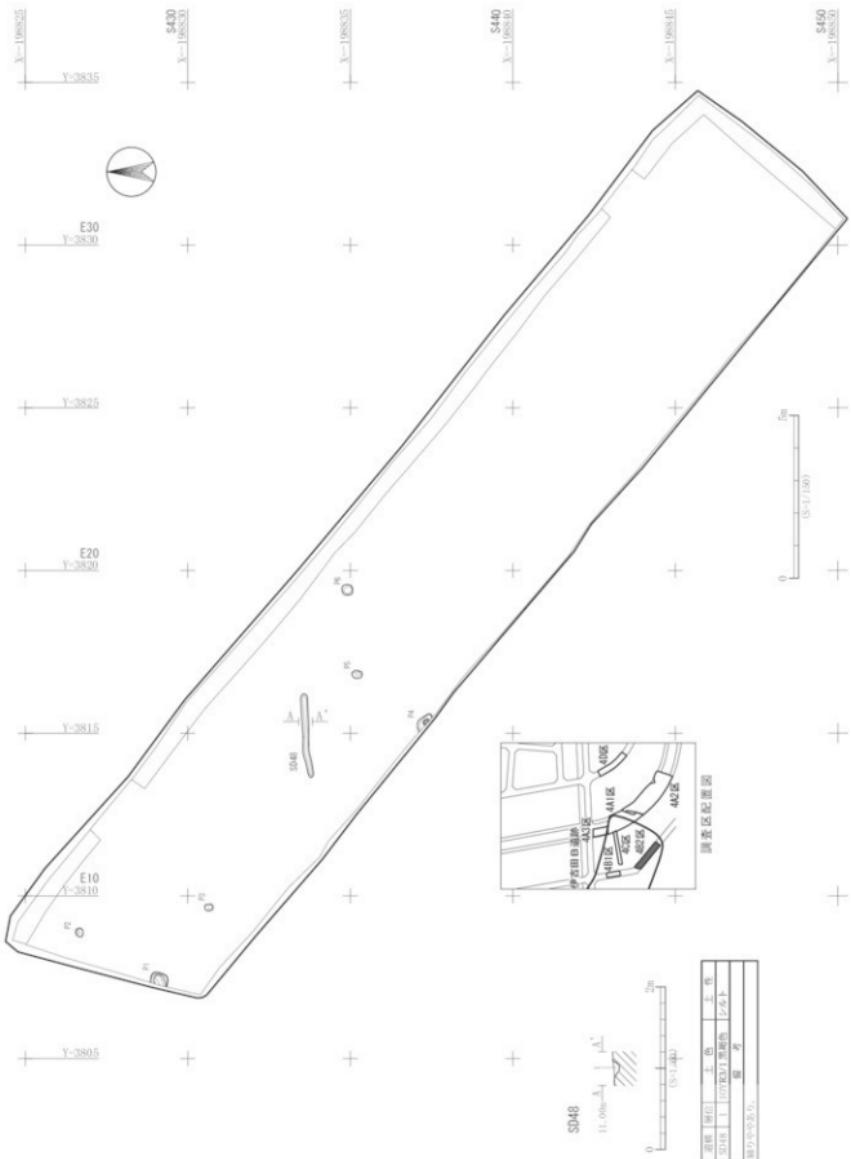
第5節 伊古田B遺跡4B2区



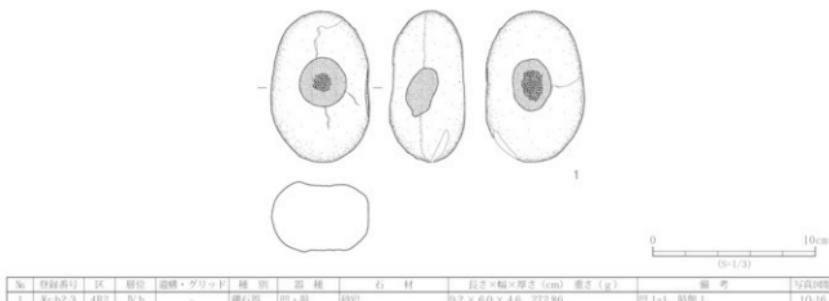
番号	部位	土色	土性	固有
I-1 ～18	I	10YR4/2 38黄褐色	シルト	織りややあり。

番号	部位	土色	土性	固有
II-1 ～16	I	10YR4/2 38黄褐色	シルト	織りややあり。

第40図 小溝状遺構群断面図



第41図 伊古田B遺跡4B2区V層遺構配置図、SD48溝跡断面図



第42図 遺構外出土遺物

6. 4C区の調査

4C区では、基本層Ⅲ層上面（古代以降の遺構検出面）において、溝跡1条を検出した。Ⅳb層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群1群を検出した。Ⅳc層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群2群を検出した。

なお、本調査区から水田跡は検出されていないが、4B2区から水田跡が検出されたことから、本調査区でもプラント・オーパール分析を実施した。分析結果については、本節8に掲載している。

(1) Ⅲ層検出の遺構（第43図、図版7）

1) 溝跡

SD1溝跡（第43図、図版7）E20～30・S400グリッドで検出した。西および東の調査区外へ延びる。本遺構南東側の延長上には、本遺跡4A1区Ⅲ層SD3溝跡があり、方向や規模から同一の溝跡と考えられる。方向はN-78°-Wで、検出長10.38m、幅81cm～1.02m、深さ30cmである。断面形は逆台形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

(2) Ⅳb層検出の遺構と遺物（第44図、図版7）

1) 小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、1群を検出した。

I群（第44図、図版7）E40・S400グリッドで検出した南北方向の遺構群で、3条の小溝で構成される。方向はN-5～15°-Eで、検出長1.44～2.67m、幅28～65cm、深さ7～14cmである。小溝の間隔はI-1とI-2が67cm、I-2とI-3は一部が接しており、掘り直しの可能性が考えられる。堆積土は単層である。遺物はI-1の堆積土から縄文土器片が出土している。

(3) Ⅳc層検出の遺構と遺物（第45図、図版10・14）

1) 小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、方向と重複関係からI・II群に分けられる。また、重複関係からII群→I群の変遷がたどれる。

I群（第45・46図、図版7）E10～40・S400グリッドで検出した南北方向の遺構群で、22条の小溝で構成される。方向はN-3～13°-Eで、検出長1.16～2.72m、幅20～88cm、深さ1～22cmである。小溝の間隔は、4cm～6.39mである。堆積土は単層である。遺物はI-1の堆積土から縄文土器が出土している。

II群（第45・46図、図版7）E10～20・S400グリッドで検出した東西方向の遺構群で、2条の小溝で構成される。方向はN-83～86°-Wで、検出長8.16m・8.46m、幅30～50cm、深さ7～14cmである。小溝の間隔は、1.66mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

(4) 遺構外出土遺物（第47図、図版10）

IVc層小溝I-1堆積土から出土した縄文土器壺片1点と基本層IVc層から出土した縄文土器深鉢1点を第47図に図示した。1は波状口縁の破片である。2は外面にL R縄文が回転施文される。

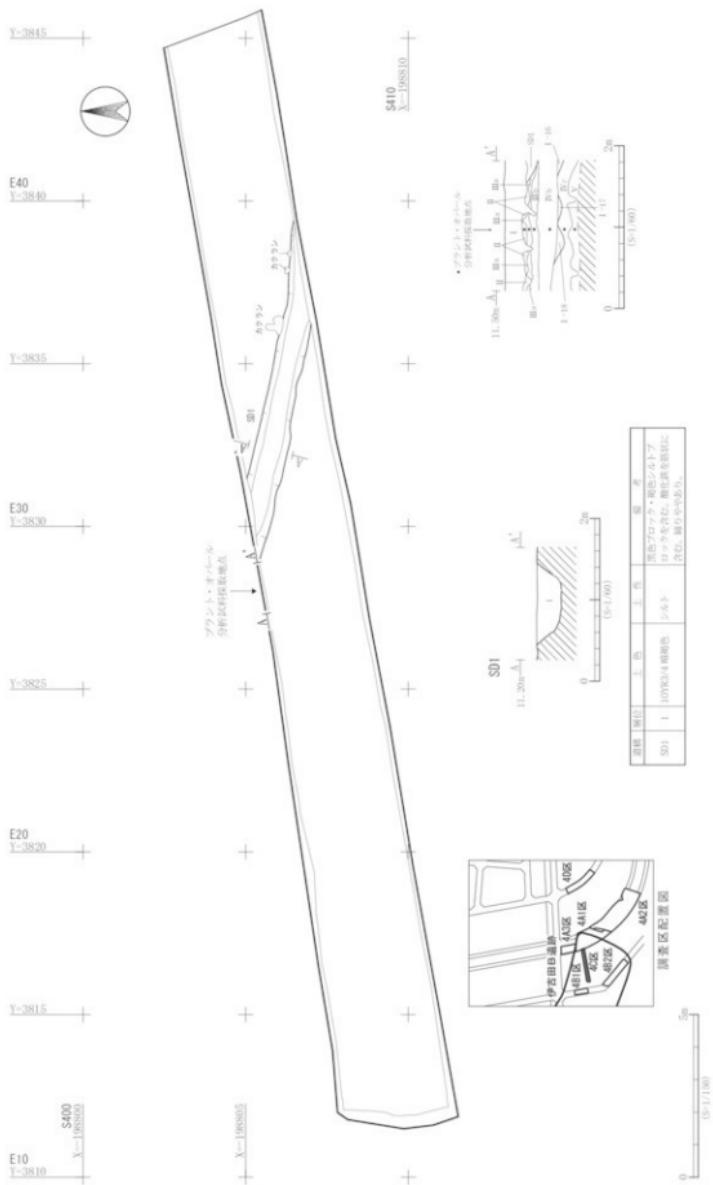
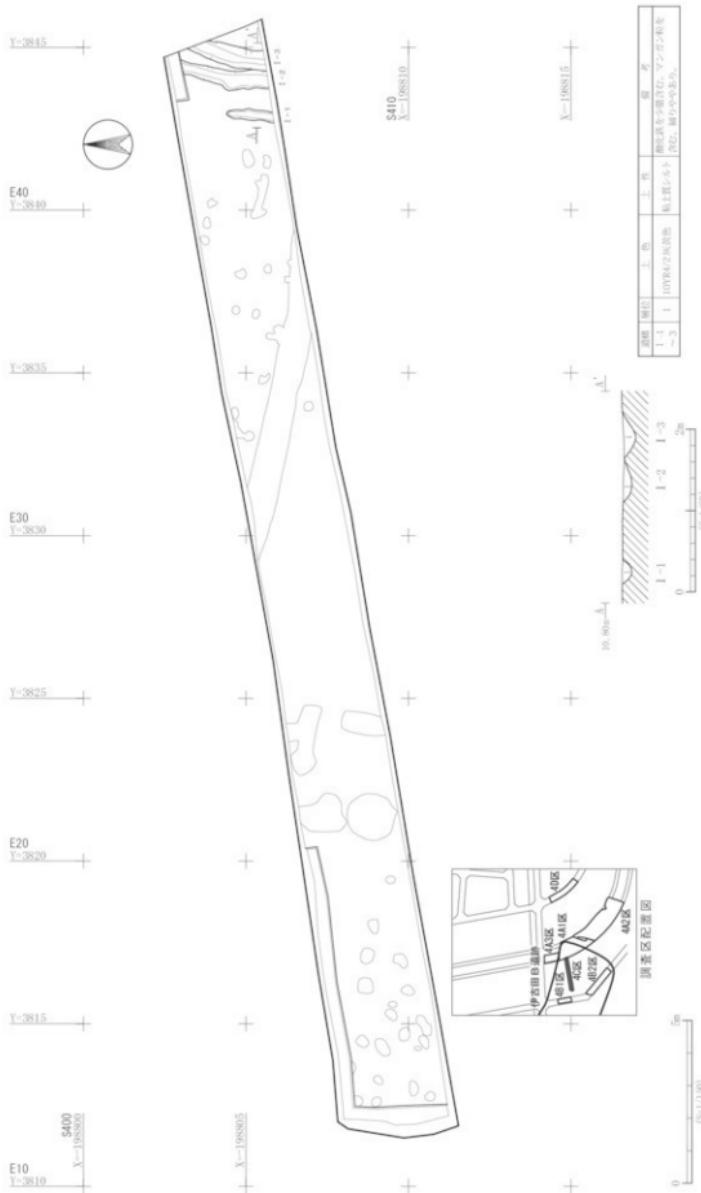
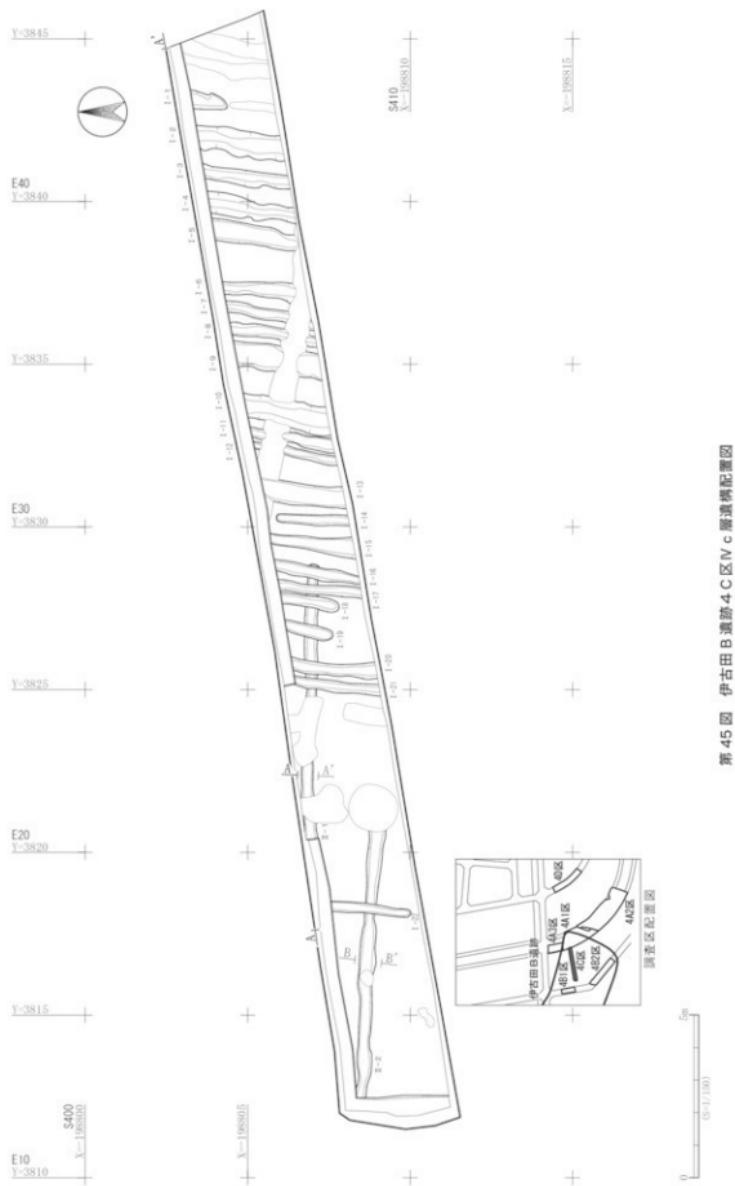


図4-3 第4章第4節の実験結果

第5節 伊古田B遺跡4C区

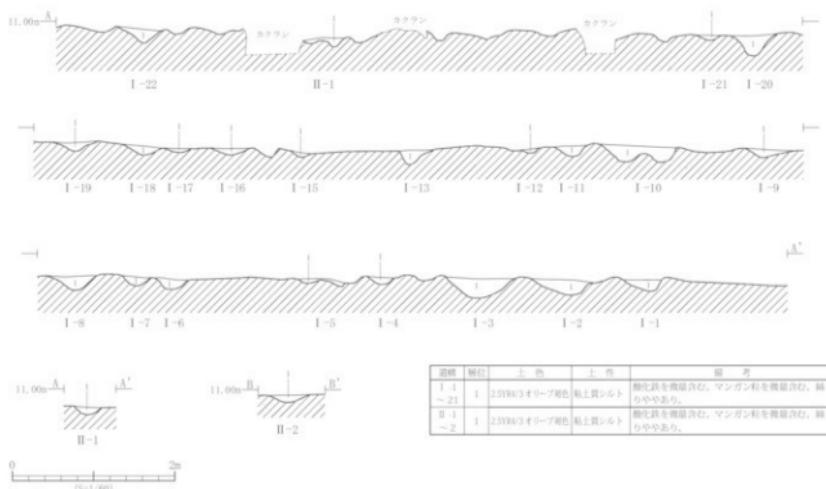


第44図 伊古田B遺跡4C区N b層遺構配置図・小溝状遺構群断面図

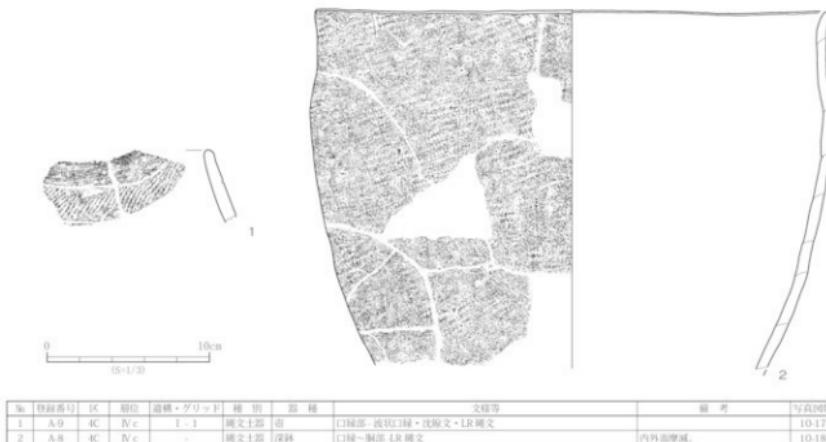


第45回 伊古田B遺跡4C区IVc層遺構配置図

第5節 伊古田B遺跡4D区



第46図 小溝状遺構群断面図



第47図 遺構外出土遺物

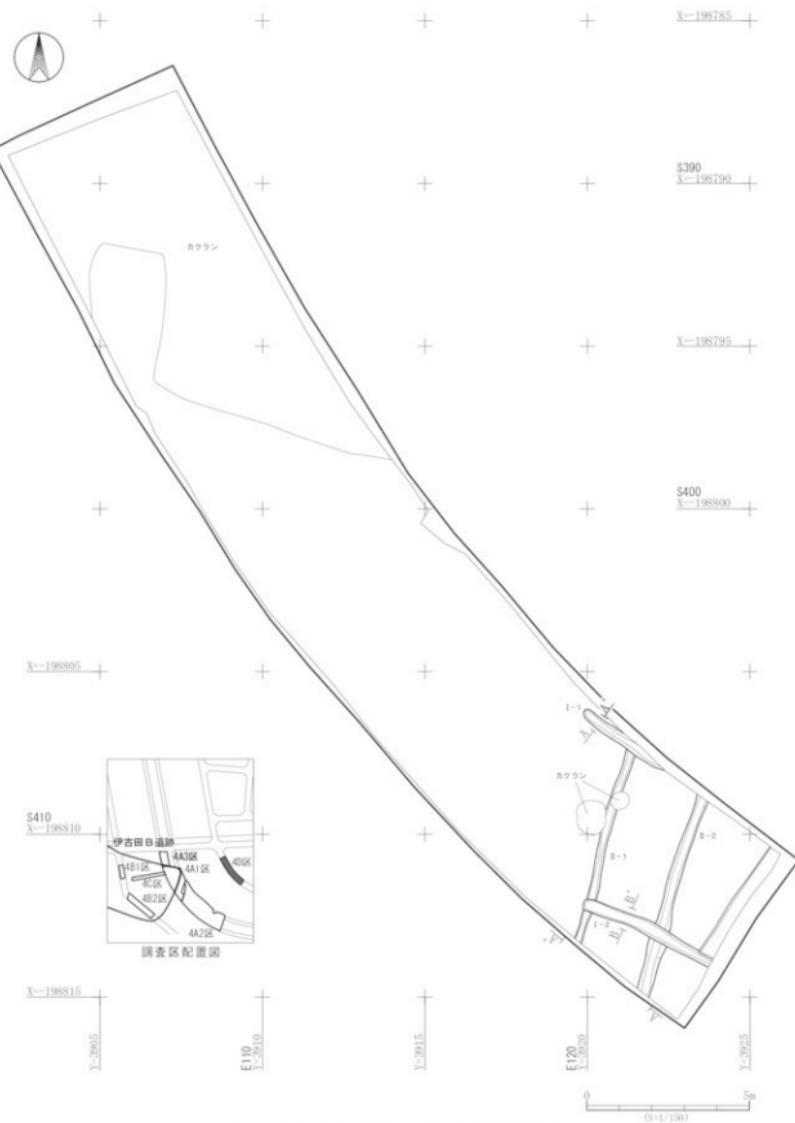
7. 4D区の調査

4D区では、基本層IVc層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群2群を検出した。

(1) IVc層検出の遺構と遺物（第48図）

1) 小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、方向と重複関係からI・II群に分けられる。また、重複関係からII群→I群の変遷がたどれる。



第48図 伊古田B道路4D区IV c層遺構配置図

第5節 伊古田B遺跡

I群（第48・49図、図版7） E110～120・S400～410グリッドで検出した北西から南東方向の遺構群で、2条の小溝で構成される。方向はN-56°～64°-Wで、検出長2.48m・4.33m、幅33～45cm、深さ5～16cmである。小溝の間隔は、4.48mである。堆積土は単層である。遺物はI-1の堆積土から縄文土器片が出土している。

II群（第48・49図、図版7） E110～120・S400～410グリッドで検出した北東から南西方向の遺構群で、2条の小溝で構成される。方向はN-14°～17°-Eで、検出長6.01～6.26m、幅21～45cm、深さ9～15cmである。小溝の間隔は、2.10mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。



第49図 小溝状遺構群断面図

8. 自然科学分析

(1) 仙台市伊古田B遺跡4A1・2区におけるプラント・オパール分析

株式会社古環境研究所

1)はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸 (SiO_2) が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石（プラント・オパール）となって土壤中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壤などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山、2000）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査也可能である（藤原・杉山、1984）。

伊古田B遺跡の発掘調査では、複数の層準で畦畔状遺構が検出され、それぞれ当時の水田跡と考えられた。そこで、これらの層における稲作の検証およびその他の層における稲作の可能性を検討する目的で、プラント・オパール分析を行うことになった。

2) 試料

調査対象は、4A1区の西壁に設定されたA地点とB地点、4A2区の南西壁に設定されたA地点、B地点、C地点の5地点である。各調査区の分析試料は、以下のとおりである。

(1) 4A1区

A地点では、上位よりII層（暗灰色粘土質シルト）、IIIa層（灰白色シルト）、IVa層（褐灰色粘土質シルト、畦畔検出）、IVb層（黒褐色粘土質シルト、畦畔検出）、IVc層（黒色シルト、畦畔検出）、V層（にぶい黄色砂質シルト）の6点、B地点では、上位よりII層、III層、IIIb層（黄灰色粘土層シルト）、IVa層、IVb層、V層の6点の計12点が採取された。

(2) 4A2区

A地点では、上位よりIIIa層（にぶい黄褐色粘土）、IIIb層（褐色粘土）、IVb層（暗褐色粘土）、IVc層（黒褐色粘土）の4点、B地点では、上位よりIIIa層、IIIb層、IVb層、IVc層の4点、C地点では上位よりIIIa層、IIIb層、IVb層、IVc層、V層（褐色シルト質粘土）の5点の計13点が採取された。

3) 分析方法

プラント・オパールの抽出と定量は、ガラスピーブ法（藤原、1976）を用いて、次の手順で行った。

(1) 試料を105°Cで24時間乾燥（絶乾）

(2) 試料約1gに対し直徑約40μmのガラスピーブを約0.02g添加

(3) 電気炉灰化法（550°C・6時間）による脱有機物処理

(4) 超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散

- (5) 沈底法による 20 μm 以下の微粒子除去
- (6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
- (7) 検鏡・計数

同定は、400 倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞由来するプラント・オパールを対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が 400 以上になるまで行った。これはほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。試料 1 gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率を乗じて、試料 1 g 中の植物珪酸体個数を求める。また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体 1 個あたりの植物体乾重、単位：10⁻⁵g）を乗じて、単位面積で層厚 1 cm あたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁殖状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる。イネの換算係数は 2.94、ヨシ属（ヨシ）は 6.31、ススキ属（ススキ）は 1.24、メダケ節は 1.16、ネザサ節は 0.48、チマキササ節は 0.75、ミヤコザサ節は 0.30 である（杉山, 2000）。

4) 分析結果

分析試料から検出されたプラント・オパールは、イネ、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、タケア科（メダケ節型、ネザサ節型、チマキササ節型、ミヤコザサ節型、その他）および未分類である。また、プラント・オパール以外に海綿骨針も検出された。これらの分類群について定量を行い、その結果を第 1 表と第 2 表に示した。また、検出密度と推定生産量のダイアグラムを第 50 図と第 51 図に示した。主要な分類群については顕微鏡写真を示す。

5) 考察

(1) 4 A 1 区

畦畔が検出された IV a 層、IV b 層および IV c 層では、それぞれでイネのプラント・オパールが検出されているものの、プラント・オパール密度は 600 ~ 1,800 個/g とやや低い値である。稲作跡である可能性を判断する際の基準値は、通常、試料 1 g あたりおよそ 5,000 個/g 以上の密度でイネ機動細胞プラント・オパールが検出された場合である。ただし、仙台平野における近年の調査例では、プラント・オパール密度が 2,000 ~ 3,000 個/g の場合であっても水田遺構が検出されている例が多くある。そこで 3,000 個/g を基準としてみた場合でも、これらの層では基準値に満たない。こうしたことから、これらの層では調査地において稲作が行われていた可能性を積極的に肯定することはできない。もし稲作が行われていたならば非常に短い期間（数年程度）であったと思われる。

III a 層では、A 地点で 3,000 個/g、B 地点で 4,200 個/g と稲作跡の判断基準値およびそれを超過している。また、直上層の II 層よりも高い密度であることから、上層から後代のプラント・オパールが混入した危険性は考えにくい。こうしたことから、III 層において稲作が行われていた可能性は高いと考えられる。

III b 層では、B 地点でイネのプラント・オパールが 3,000 個/g の密度で検出された。稲作跡の判断基準値に達していることから、当該層においても稲作が行われていた可能性が考えられる。

II 層では、両地点ともに 2,400 個/g の比較的高い密度であることから、調査地もしくは近傍で稲作が行われていた可能性が考えられる。

V 層からは両地点ともイネのプラント・オパールは検出されないことから、ここで稲作が行われた可能性は認められない。

イネ以外の分類群はいずれも低い密度であることから、イネ科植生あるいは堆積環境は不明であるが、プラント・オパール含有量が少ないとから、イネ科草本の生育しにくい環境であったのかもしれない。

(2) 4 A 2 区

上位より III a 層、III b 層、IV b 層および IV c 層でイネのプラント・オパールが検出された。このうち、III a 層では B 地点で 2,400 個/g と比較的高い密度であり、A 地点と C 地点でも 1,800 個/g、1,200 個/g の密度で検出されている。III b 層でもすべての地点で検出されており、A 地点で 3,600 個/g と高い密度であり、B 地点でも 2,400 個/g と比較的高い密度である。こうしたことから、III a 層と III b 層では調査地および周辺で稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。IV b 層と IV c 層については、プラント・オパール密度が 1,000 個/g 前後と低いことから、ここで稲作が行われていた可能性を積極的に肯定することはできない。V 層からは 4 A 1 区同様イネのプラント・オパールは検出されていない。本調査区でも V 層で稲作が行われた可能性は認められない。

第5節 伊古田B遺跡

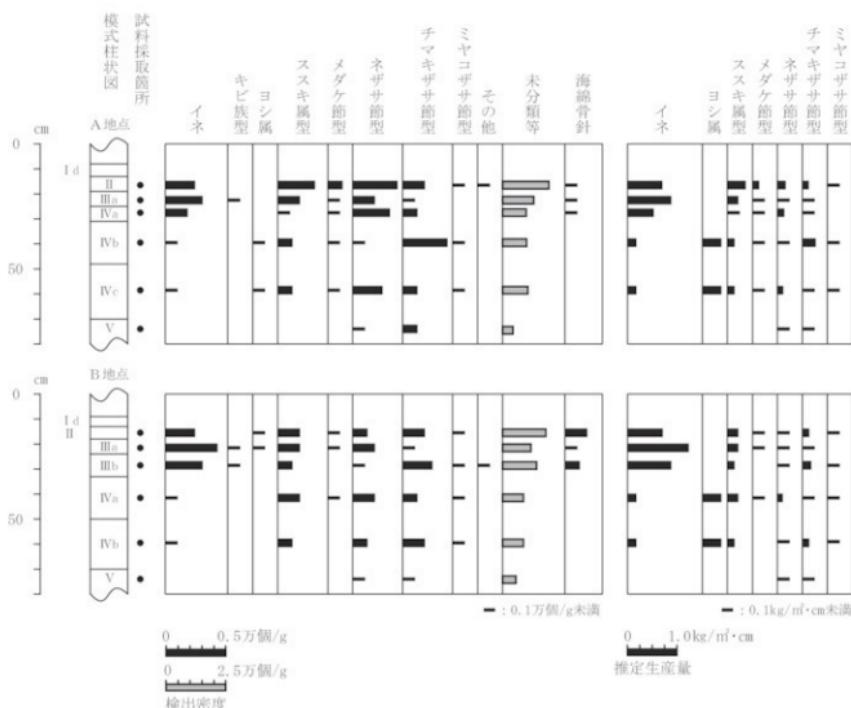
イネ以外の分類群は、Ⅲa層でスキ属型がやや高い密度である以外はいずれも低い密度である。Ⅲa層では水田の畦畔や水田の周りの高い所などにスキ属が生育していたと推定される。その他の層については、4A1区同様、イネ科草本の生育には適さない環境であったと推定される。

6)まとめ

伊古田B遺跡4A1・2区においてプラント・オバール分析を行い、稻作の検証および稻作の可能性について検討した。その結果、4A1区ではⅡ層、Ⅲa層およびⅢb層で、4A2区ではⅢa層とⅢb層でそれぞれ稻作が行われていた可能性が認められた。なお、畦畔が検出された4A1区のⅣa層、Ⅳb層およびⅣc層については、イネのプラント・オバールは検出されたものの、プラント・オバール密度は低い値であり、調査地においてはこれらの層で稻作が営まれていた可能性を積極的に肯定することはできなかった。

参考文献

- 杉山真二（1987）タケ亞科植物の機動細胞珪酸体、富士竹類植物園報告、31, p.70-83.
 杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オバール）、考古学と植物学、同成社、p.189-213.
 杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用—古代農耕追究のための基礎資料としてー、考古学と自然科学、20, p.81-92.
 藤原宏志（1976）プラント・オバール分析法の基礎的研究（1）—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法ー、考古学と自然科学、9, p.15-29.
 藤原宏志（1998）稻作の起源を探る、岩波新書.



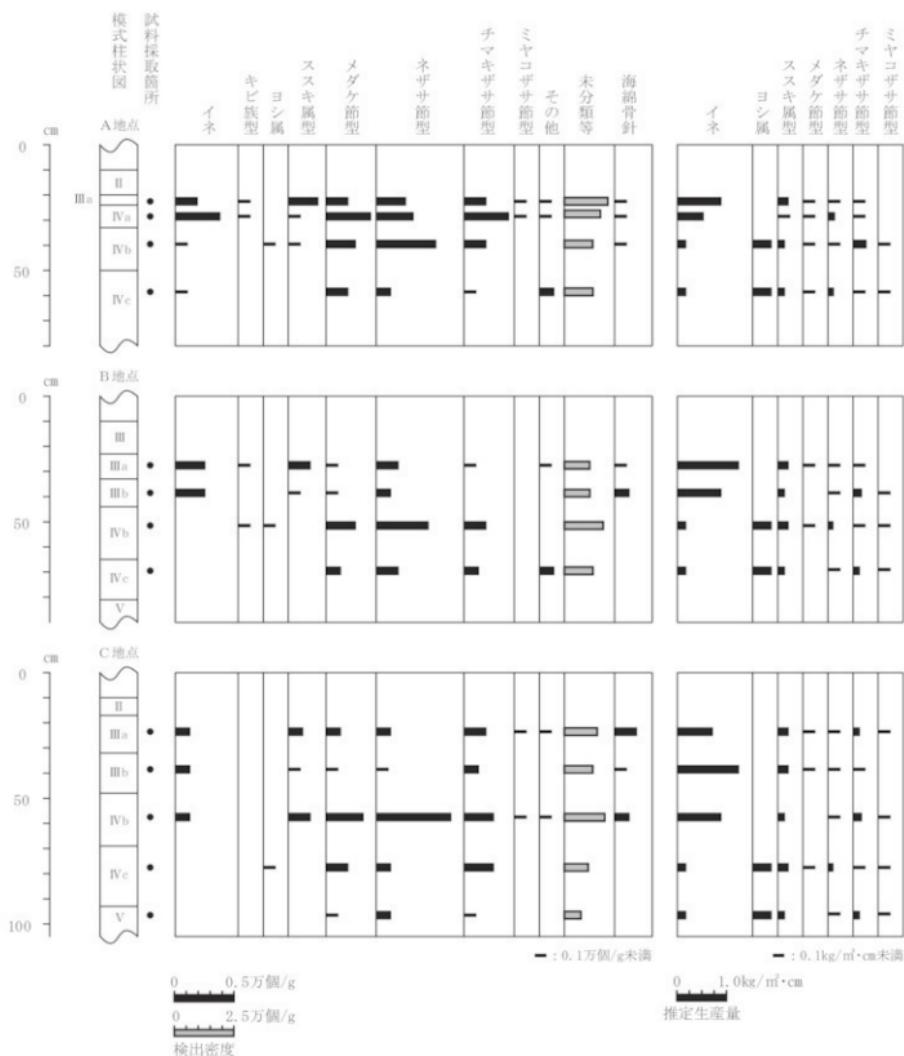
第50図 伊古田B遺跡4A1区のプラント・オバール分析結果

第1表 仙台市伊古田B遺跡4 A 1区のプランツ・オバール分析結果

検出密度 (単位: × 100 個/g)											
分類群 (和名・学名) \ 層位	4 A 1 区						B 地点				
	II	III a	IV a	IV b	IV c	V	II	III a	III b	IV a	IV b
イネ科 Gramineae (Grasses)											
イネ <i>Oryza sativa</i>	24	30	18	6	6		24	42	30	6	6
キビ族型 <i>Panicetace type</i>			6					6	6		
ヨシ属 <i>Phragmites</i>				6	6					6	6
ススキ属型 <i>Miscanthus type</i>	30	18	6	12	12		18	18	12	18	12
タケ科 Bambusoideae (Bamboo)											
メダケ属型 <i>Pleioblastus sect. Nipponocalamus</i>	12	6	6	6	6		6	6			6
ネガサ属型 <i>Pleioblastus sect. Nezasa</i>	36	18	30	6	24	6	18	12	6	24	12
チマキネガサ属型 <i>Sasa sect. Sasa etc.</i>	18	6	12	36	12	12	18	6	24	12	18
ミヤコネガサ属型 <i>Sasa sect. Crassinodi</i>	6			6	6		6		6	6	6
その他 Others	6								6		
未分類等 Unknown	186	125	95	97	102	42	174	114	137	84	84
(海綿骨針) Sponge	6	6	6				18	6	12		
プランツ・オバール総数 Total	318	209	167	175	174	60	264	204	227	162	144
おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m ² ・cm)											
イネ <i>Oryza sativa</i>	0.70	0.88	0.53	0.18	0.18		0.71	1.23	0.88	0.18	0.18
ヨシ属 <i>Phragmites</i>				0.38	0.38					0.38	0.38
ススキ属型 <i>Miscanthus type</i>	0.37	0.22	0.07	0.15	0.15		0.22	0.22	0.15	0.22	0.15
メダケ属型 <i>Pleioblastus sect. Nipponocalamus</i>	0.14	0.07	0.07	0.07	0.07		0.07	0.07		0.07	
ネガサ属型 <i>Pleioblastus sect. Nezasa</i>	0.17	0.09	0.14	0.03	0.12	0.03	0.09	0.06	0.03	0.11	0.06
チマキネガサ属型 <i>Sasa sect. Sasa etc.</i>	0.13	0.04	0.09	0.27	0.09	0.09	0.14	0.04	0.18	0.09	0.14
ミヤコネガサ属型 <i>Sasa sect. Crassinodi</i>	0.02		0.02	0.02			0.02	0.02	0.02	0.02	0.02

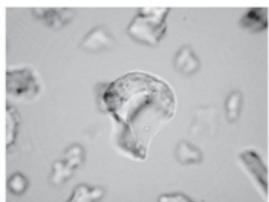
第2表 仙台市伊古田B遺跡4 A 2区のプランツ・オバール分析結果

検出密度 (単位: × 100 個/g)											
分類群 (和名・学名) \ 層位	4 A 2 区						C 地点				
	II a	II b	IV b	IV c	III a	III b	IV b	IV c	III a	III b	V
イネ科 Gramineae (Grasses)											
イネ <i>Oryza sativa</i>	18	36	6	6	24	24			12	12	12
キビ族型 <i>Panicetace type</i>	6	6			6		6				6
ヨシ属 <i>Phragmites</i>				6			6				
ススキ属型 <i>Miscanthus type</i>	24	6	6		18	6			12	6	18
タケ科 Bambusoideae (Bamboo)											
メダケ属型 <i>Pleioblastus sect. Nipponocalamus</i>	18	36	24	18	6	6	24	12	12	6	30
ネガサ属型 <i>Pleioblastus sect. Nezasa</i>	24	30	48	12	18	12	42	18	12	6	60
チマキネガサ属型 <i>Sasa sect. Sasa etc.</i>	18	36	18	6	6		18	12	18	12	24
ミヤコネガサ属型 <i>Sasa sect. Crassinodi</i>	6	6						6		6	
その他 Others	6	6		12	6		12	6	6	6	
未分類等 Unknown	173	144	113	114	101	102	155	114	131	113	161
(海綿骨針) Sponge	6	6	6		6	6		6	6		
プランツ・オバール総数 Total	293	306	221	168	185	150	251	168	209	155	317
おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m ² ・cm)											
イネ <i>Oryza sativa</i>	0.53	1.06	0.18	0.18	0.70	0.71			0.35	0.35	0.35
ヨシ属 <i>Phragmites</i>			0.38				0.38				0.38
ススキ属型 <i>Miscanthus type</i>	0.30	0.07	0.07		0.22	0.07			0.15	0.07	0.22
メダケ属型 <i>Pleioblastus sect. Nipponocalamus</i>	0.21	0.42	0.28	0.21	0.07	0.07	0.28	0.14	0.14	0.07	0.35
ネガサ属型 <i>Pleioblastus sect. Nezasa</i>	0.11	0.14	0.23	0.06	0.09	0.06	0.20	0.09	0.06	0.03	0.29
チマキネガサ属型 <i>Sasa sect. Sasa etc.</i>	0.13	0.27	0.13	0.04	0.04		0.13	0.09	0.13	0.09	0.18
ミヤコネガサ属型 <i>Sasa sect. Crassinodi</i>	0.02	0.02					0.02	0.02			



第51図 伊古田B遺跡4-A2区のプラント・オバール分析結果

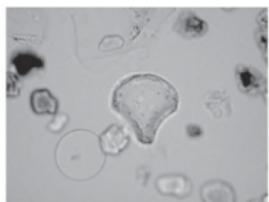
プラント・オパールの顕微鏡写真



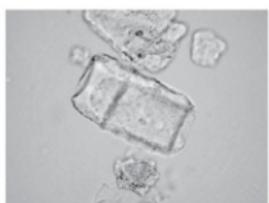
イネ



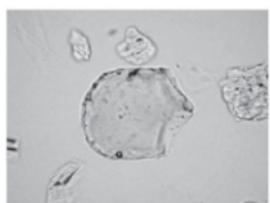
イネ



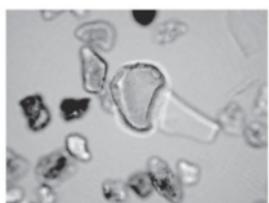
イネ



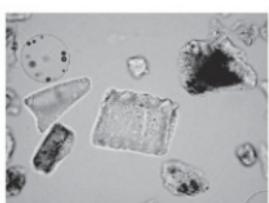
キビ族型



ヨシ属



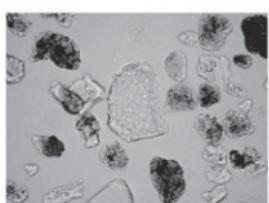
スキ属型



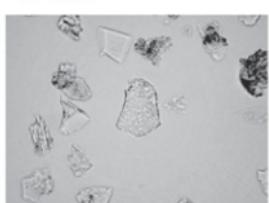
ネザサ節型



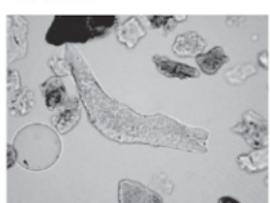
メダケ節型



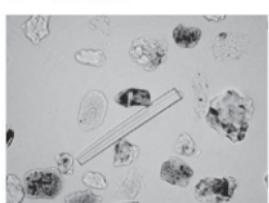
チマキザサ節型



ミヤコザサ節型



その他（樹木起源）



海綿骨針

— 50 μm

第5節 伊古田B遺跡

(2) 仙台市伊古田B遺跡4B2区・4C区におけるプラント・オパール分析

株式会社古環境研究所

1) はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸 (SiO_2) が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石（プラント・オパール）となって土壤中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壤などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山, 2000）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山, 1984）。

ここでは、伊古田B遺跡の4B2区と4C区における稲作の可能性を検討する目的で、プラント・オパール分析を行った。

2. 試料

調査対象は、4B2区東壁、4C区の北壁に設定された①地点と②地点の3地点である。各調査区の分析試料は、以下のとおりである。

(1) 4B2区

上位よりⅢb層（にぶい黄褐色シルト）、Ⅳb層（灰黄褐色シルト）、Ⅳc層（黒褐色シルト）、V層（にぶい黄褐色砂質シルト）から4点が採取された。

(2) 4C区

①地点では上位よりⅡ層（黒褐色シルト）、Ⅲa層（灰黄褐色シルト）、Ⅲb層（黄褐色シルト）、Ⅳb層（暗オリーブ褐色粘土質シルト）、Ⅳc層（黒褐色粘土質シルト）、V層（褐色砂質シルト）から6点、B地点では上位よりⅢa層、Ⅲb層、Ⅳb層、Ⅳc層、V層から5点の計11点が採取された。

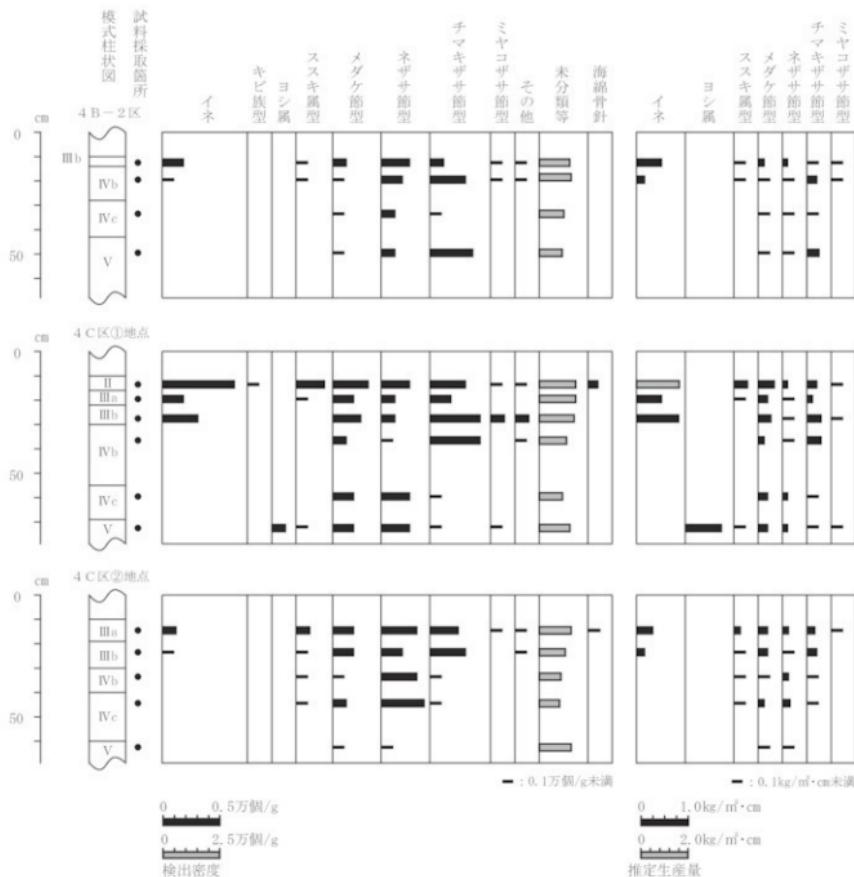
3. 分析方法

プラント・オパールの抽出と定量は、ガラスピーズ法（藤原, 1976）を用いて、次の手順で行った。

第3表 仙台市伊古田B遺跡4B2区・4C区のプラント・オパール分析結果

分類群(和名・学名)＼層位	4B2区					4C区					①地点					②地点					
	Ⅲb		Ⅳb		Ⅳc	V	Ⅱ		Ⅲa		Ⅲb	Ⅳb	Ⅳc	V	Ⅲa		Ⅲb		Ⅳb	Ⅳc	V
	イネ科	Gramineae (Grasses)																			
イネ科	<i>Oryza sativa</i>	18	6				60	18	30							12	6				
キビ族型	<i>Panicaceae type</i>						6														
ヨシ属	<i>Phragmites</i>															12					
ススキ属型	<i>Miscanthus type</i>	6	6				24	6								6	12	6	6	6	6
タケ科	Bambusoideae (Bamboo)																				
メダケ属型	<i>Plekoblastus sect. Nipponocalamus</i>	12	6	6	6	30	18	24	12	18	18	18	18	18	18	6	12	6			
ネギ属型	<i>Plekoblastus sect. Nezara</i>	24	18	12	12	24	12	12	6	24	24	30	30	18	30	36	6				
チマキササ属型	<i>Sasa sect. Sasa etc.</i>	12	30	6	36	30	18	42	42	6	6	24	30	6	6	6					
ミヤコササ属型	<i>Sasa sect. Crassinodi</i>	6	6			6						6	6								
その他	Others	6	6			6		12	6			6	6								
未分類等	Unknown	126	132	102	95	150	150	144	113	96	127	132	108	90	84	132					
(高さ指針)	Sponge						12								6						
プラント・オパール総数	Total	210	210	126	149	336	222	276	179	144	199	240	192	138	144	144					

おもな分類群の推定生産量(単位: kg/m ² ·cm)											
イネ科	<i>Oryza sativa</i>	0.53	0.18	1.76	0.53	0.88			0.35	0.18	
ヨシ属	<i>Phragmites</i>								0.76		
ススキ属型	<i>Miscanthus type</i>	0.07	0.07	0.30	0.07			0.07	0.15	0.07	
メダケ属型	<i>Plekoblastus sect. Nipponocalamus</i>	0.14	0.07	0.07	0.07	0.35	0.21	0.28	0.14	0.21	0.21
ネギ属型	<i>Plekoblastus sect. Nezara</i>	0.12	0.09	0.06	0.06	0.12	0.06	0.06	0.03	0.12	0.12
チマキササ属型	<i>Sasa sect. Sasa etc.</i>	0.09	0.22	0.04	0.27	0.22	0.13	0.31	0.04	0.05	0.18
ミヤコササ属型	<i>Sasa sect. Crassinodi</i>	0.02	0.02	0.02	0.04			0.02	0.02		



第52図 伊古田B遺跡4B2区・4C区のプラント・オパール分析結果

- (1) 試料を105°Cで24時間乾燥(絶乾)
- (2) 試料約1gに対し直徑約40μmのガラスピーブを約0.02g添加
- (3) 電気炉灰化法(550°C・6時間)による脱有機物処理
- (4) 超音波水中照射(300W・42KHz・10分間)による分散
- (5) 沈底法による20μm以下の微粒子除去
- (6) 封入剤(オイキット)中に分散してプレパラート作成
- (7) 検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞由来するプラント・オパールを対象として行った。計数は、ガラスピーブ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスピーブ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスピーブ個数の比率を乗じて、試料1

第5節 伊古田B遺跡

g中の植物珪酸体個数を求めた。また、おもな分類群についてはこの値に試料の乾比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位:10⁵g）を乗じて、単位面積で厚層1cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる。イネの換算係数は2.94、ヨシ属（ヨシ）は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、メダケ節は1.16、ネザサ節は0.48、チマキササ節は0.75、ミヤコササ節は0.30である（杉山, 2000）。

4. 分析結果

分析試料から検出されたプラント・オパールは、イネ、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科（メダケ節型、ネザサ節型、チマキササ節型、ミヤコササ節型、その他）および未分類である。プラント・オパールの他に海綿骨針も検出された。これらの分類群について定量を行い、その結果を第3表に示した。また、検出密度と推定生産量のダイアグラムを第52図に示した。主要な分類群については顕微鏡写真を示す。

5. 考察

（1）4B2区

III b層とIV b層でイネのプラント・オパールが検出された。プラント・オパール密度はそれぞれ1,800個/gと600個/gであり、いずれも稻作跡の可能性を判断する際の基準値である5,000個/gには達していない。なお、仙台平野における近年の調査例では、プラント・オパール密度が2,000～3,000個/gの場合であっても水田遺構が検出された事例が多数報告されていることから、3,000個/g程度の密度であっても稻作の可能性を考える必要がある。この条件でみた場合でも両層は基準値に満たないことから、本調査区ではIII b層およびIV b層で稻作が行われていた可能性を積極的に肯定することはできない。耕作地は近傍であったか、仮に稻作が行われていたとしても、ごく短期間の耕作であったと思われる。

IV c層とV層では、イネのプラント・オパールが検出されないことから、稻作が行われた可能性は認められない。

イネ以外の分類群はいずれも低密度であり、イネ科植生および堆積環境を検討することは困難である。プラント・オパール総量が少ないとから、堆積速度が速かったか、イネ科草本の生育に適さない環境であったと推定される。

（2）4C区

上位よりII層、III a層およびIII b層でイネのプラント・オパールが検出された。このうち、II層では6,000個/gの高密度であることから、ここで稻作が行われた可能性は極めて高いと判断される。III a層では①地点で1,800個/g、②地点で1,200個/gとやや低い密度である。当該層で稻作が行われた可能性はあるものの、直上のII層が高密度であることから、上層から後代のプラント・オパールが混入した危険性も否定できない。

III b層では①地点で3,000個/gの検出密度であり、上述の基準値に達している。さらに、直上のIII a層よりも高い密度でありピークとなっていることから、本地点において稻作が行われていた可能性は高いと考えられる。なお、②地点では600個/gの低密度であり、耕作域はここまで及んでいなかったかもしれない。

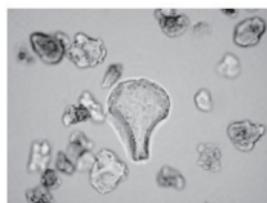
IV b層とIV c層およびV層については、イネのプラント・オパールが検出されないことから、本調査区でも稻作が行われた痕跡は認められない。

イネ以外の分類群は、①地点のII層でススキ属型が、V層でヨシ属がやや高い密度である以外は、いずれも低い密度である。II層では、畦畔や水田の近辺の高い所などにススキ属が生育していたと推定される。V層では、周辺にヨシ属の生育する湿地があったとみられる。その他の層については、4B2区と同様に堆積速度が速かったか、イネ科草本が生育しにくいような環境であったと推定される。

6.まとめ

伊古田B遺跡の4B2区と4C区においてプラント・オパール分析を行い、稻作の可能性について検討した。その結果、4C区のII層とIII b層で稻作が行われていた可能性が高いと推定された。なお、4A1区で畦畔が確認されたIV b層とIV c層では、4B2区のIV b層でイネがわずかに検出されたのみであり、当該調査区ではこれらの層で稻作が営まれていた痕跡は認められなかった。

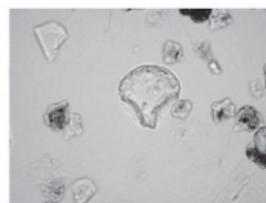
プラント・オパールの顕微鏡写真



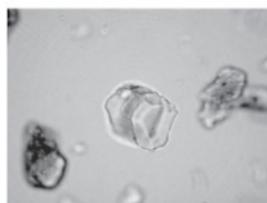
イネ



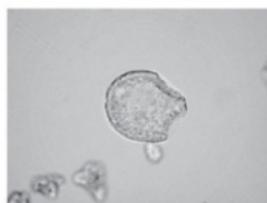
イネ



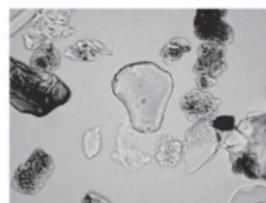
イネ



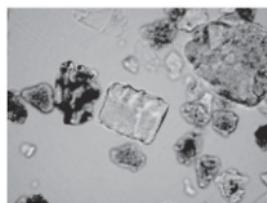
キビ族型



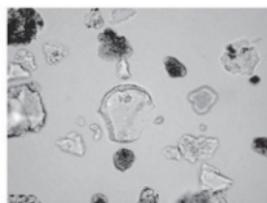
ヨシ属



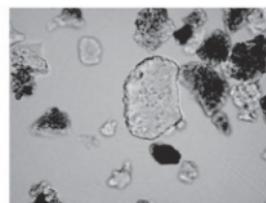
ススキ属型



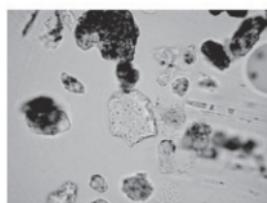
ネザサ節型



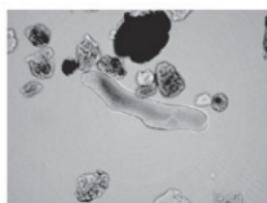
メダケ節型



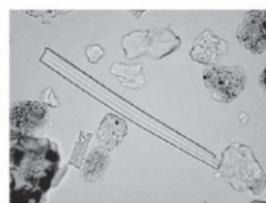
チマキザサ節型



ミヤコザサ節型



その他（樹木起源）



海綿骨針

 $50\ \mu\text{m}$

参考文献

- 杉山真二（1987）タケ亜科植物の機動細胞珪酸体、富士竹類植物園報告、31, p.70-83.
- 杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）、考古学と植物学、同成社, p.189-213.
- 杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用—古代農耕追究のための基礎資料として—、考古学と自然科学、20, p.81-92.
- 藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—、考古学と自然科学、9, p.15-29.
- 藤原宏志（1998）稲作の起源を探る、岩波新書。

第5節 伊古田B遺跡

9.まとめ

伊古田B遺跡は仙台市太白区大野田字イコタにあり、笊川の南側の自然堤防と名取川の北側の自然堤防に挟まれた後背湿地に立地する縄文・古墳時代～古代の遺跡である。平成21年度に約1,922m²の調査を行い、古墳時代～古代以降の遺構を検出した。

(1) 遺構について

1) 古代以降の遺構は、Ⅲ層上面で検出した。

4 A 1 区 - Ⅲ 層：土坑1基、溝跡6条

4 A 2 区 - Ⅲ a 層：土壤墓1基、土坑1基、溝跡4条、ピット56基

Ⅲ b 層：ピット12基

4 C 区 - Ⅲ 層：溝跡1条

2) 古代の遺構は、Ⅳ層上面で検出した。

4 A 1 区 - Ⅳ b 層：水田跡、小溝状遺構1群

IV c 層：水田跡（擬似畦畔B）

4 A 2 区 - Ⅳ c 層：竪穴住居跡1軒、小溝状遺構群3群

4 B 1 区 - Ⅳ b 層：小溝状遺構群2群

4 B 2 区 - Ⅳ b 層：小溝状遺構群1群

IV c 層：水田跡（擬似畦畔B）、溝跡2条、小溝状遺構群3群

4 C 区 - Ⅳ b 層：小溝状遺構群1群

IV c 層：小溝状遺構群2群

4 D 区 - Ⅳ c 層：小溝状遺構群2群

3) 古墳時代～古代の遺構は、V層上面で検出した。

4 A 1 区 - 捶立柱建物跡1棟、土坑5基、溝跡2条、ピット37基

4 A 2 区 - ピット6基

4 A 3 区 - 土坑1基

4 B 1 区 - ピット4基

4 B 2 区 - 溝跡1条、ピット6基

4) 小溝状遺構群は、4 A 1・4 A 2・4 B 1・4 B 2・4 C・4 D区で検出されている。また、4 A 1・4 B 2区では小溝状遺構群より古い水田跡が検出されている。これらはいずれも古代の遺構と考えられることから、奈良～平安時代の一定期間、本遺跡周辺は食糧生産域であったと考えられる。

(2) 遺物について

伊古田B遺跡からの出土遺物は平箱6箱である。全体的に小破片が多く、図化できる遺物は少ない。

1) 縄文時代

4 A 2・4 C区から後期の深鉢片や壺片、注口土器片が出土している。4 A 2区から出土した注口土器は貼瘤を伴うものであり、後期後葉の金剛寺式に比定される。石器は、4 A 2・4 B 1区遺構外から打製石器（石鎚）、4 A 1・4 B 2区から礫石器が出土している。

2) 古代以降

4 A 1 区 Ⅲ 層 SD5 から体部下端～底部手持ちヘラケズリの須恵器環が出土している。

4 A 2 区 IV c 層 SI74 から多くの土師器や須恵器、金属製品（鉄製紡錘車）が出土している。土器はいずれも8世紀前半～中頃と考えられる。

4 A 2 区 遺構外から有孔の砥石が出土している。

3) 近世以降

4 A 1 区 Ⅲ 層 SD1 から陶磁器や金属製品と共に土製品（土鉢）が出土している。

4 A 3 区 の擾乱からではあるが、陶器片、瓦片、砥石が出土している。

第4表 道構一覧表(1)

4.A1区田畠
土坑

道構番号	位置(グリッド)	長軸方向	幅 稲(cm)	平面形・断面形	時 期
SK7	E50 + S410	N23° E	長軸[112]×幅0.97×深さ0.35	楕円形・扇形	

高師

道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 稲(m)	平面形・断面形	時 期
SD1	E40 + E50 + S400	N76° W	長さ[121]×幅0.06~0.23×深さ0.05	ほぼ直線・平行形	
SD2	E40 + E50 + S400	N88° W	長さ[317]×幅0.08~0.18×深さ0.03	ほぼ直線・逆台形	
SD3	E40 + E50 + S400 + 410	N79° W	長さ[198]×幅1.02~1.36×深さ0.36	ほぼ直線・U字形	
SD4	E50 + E60 + S410	N81° E	長さ[105]×幅0.44~0.61×深さ0.23	ほぼ直線・U字形	
SD5	E50 + E60 + S410 + 420	N16° E	長さ[197]×幅1.13~1.74×深さ0.63	ほぼ直線・逆台形	
SD6	E50 + S400	N76° W	長さ[512]×幅0.08~0.13×深さ0.09	ほぼ直線・U字形	

4.A1区N b層

小瀬(複数個)

道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 稲(m)	平面形・断面形	時 期
1-1	E40 + S390	N10° E	長さ[1100]×幅0.30~0.45×深さ0.38	ほぼ直線・U字形	
1-2	E40 + S390 ~ 400	N13° E	長さ[293]×幅0.22~0.36×深さ0.22	ほぼ直線・U字形	
1-3	E40 + S390 ~ 400	N8° E	長さ[1535]×幅0.30~0.38×深さ0.22	ほぼ直線・U字形	
1-4	E40 + S390 ~ 400	N9° E	長さ[345]×幅0.19~0.28×深さ0.09	ほぼ直線・U字形	
1-5	E40 + S400	N5° E	長さ[271]×幅0.25~0.38×深さ0.35	ほぼ直線・U字形	
1-6	E40 + S390 ~ 400	N10° E	長さ[303]×幅0.27~0.38×深さ0.11	ほぼ直線・U字形	
1-7	E40 + S390 ~ 400	N13° E	長さ[890]×幅0.17~0.32×深さ0.17	ほぼ直線・U字形	
1-8	E40 + S400	N12° E	長さ[648]×幅0.23~0.40×深さ0.08	ほぼ直線・U字形	
1-9	E40 + E50 + S390 ~ 400	N6° E	長さ[437]×幅0.27~0.76×深さ0.11	ほぼ直線・U字形	
1-10	E40 + S400	N16° E	長さ[417]×幅0.20~0.28×深さ0.23	ほぼ直線・U字形	
1-11	E40 + S400	N7° E	長さ[875]×幅0.20~0.46×深さ0.25	緩く進行・U字形	
1-12	E50 + S390	N6° E	長さ[493]×幅0.42~0.62×深さ0.07	ほぼ直線・細形	
1-13	E40 + E50 + S400 ~ 410	N10° E	長さ[635]×幅0.15~0.35×深さ0.35	ほぼ直線・U字形	
1-14	E40 + S400 ~ 410	N16° E	長さ[942]×幅0.26~0.35×深さ0.06	ほぼ直線・U字形	
1-15	E50 + S390 ~ 400	N7° E N25° E	長さ[860]×幅0.23~0.60×深さ0.12	緩く進行・U字形	
1-16	E50 + S400 ~ 410	N5° E	長さ[913]×幅0.20~0.30×深さ0.05	ほぼ直線・U字形	
1-17	E50 + S400 ~ 410	N7° E	長さ[355]×幅0.26~0.40×深さ0.11	緩く進行・U字形	
1-18	E50 + S410	N0° E	長さ[1157]×幅0.30~0.70×深さ0.40	ほぼ直線・U字形	
1-19	E50 + S400 ~ 410	N1° W	長さ[3.70]×幅0.25~0.28×深さ0.07	ほぼ直線・U字形	
1-20	E50 + S400	N7° E	長さ[1790]×幅0.20~0.29×深さ0.07	ほぼ直線・U字形	
1-21	E50 + S410	N0° E	長さ[2.00]×幅0.17~0.27×深さ0.08	ほぼ直線・U字形	
1-22	E50 + S400	N10° E	長さ[17.48]×幅0.38~0.42×深さ0.09	ほぼ直線・U字形	
1-23	E50 + S400	N0° E N23° E	長さ[272]×幅0.12~0.26×深さ0.09	緩く進行・U字形	
1-24	E50 + S410	N3° E	長さ[409]×幅0.37~0.63×深さ0.27	(ほぼ)直線・U字形	
1-25	E50 + S400 ~ 410	N10° E	長さ[586]×幅0.22~0.42×深さ0.10	ほぼ直線・U字形	
1-26	E50 + S410	N2° E	長さ[1.78]×幅0.17~0.22×深さ0.07	(ほぼ)直線・U字形	
1-27	E50 + S390 ~ 410	N8° E	長さ[1140]×幅0.20~0.40×深さ0.09	ほぼ直線・U字形	
1-28	E50 + S390 ~ 410	N12° E	長さ[1398]×幅0.32~0.60×深さ0.09	ほぼ直線・細形	
1-29	E50 + S410	N11° E	長さ[486]×幅0.26~0.40×深さ0.32	ほぼ直線・U字形	
1-30	E50 + S400	N10° E	長さ[773]×幅0.22~0.47×深さ0.08	ほぼ直線・U字形	
1-31	E50 + S400	N10° E	長さ[861]×幅0.20~0.40×深さ0.14	ほぼ直線・U字形	
1-32	E50 + S410	N12° E	長さ[235]×幅0.30~1.30×深さ0.06	不整形・U字形	
1-33	E50 + S410	N3° E	長さ[2.38]×幅0.23~0.30×深さ0.07	ほぼ直線・U字形	
1-34	E50 + S410	N10° E	長さ[3.60]×幅0.37~0.49×深さ0.09	ほぼ直線・細形	
1-35	E50 + E60 + S400	N14° E	長さ[1820]×幅0.25~0.40×深さ0.08	ほぼ直線・U字形	
1-36	E60 + S400	N6° E	長さ[266]×幅0.22~0.32×深さ0.09	緩く進行・U字形	
1-37	E60 + S400 ~ 410	N5° E	長さ[968]×幅0.45~0.58×深さ0.11	ほぼ直線・U字形	
1-38	E60 + S400 ~ 410	N9° E	長さ[158]×幅0.23~0.34×深さ0.06	ほぼ直線・U字形	

4.A1区N b層

水田跡

道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 稲(m)	平面形・断面形	時 期
段差1	E40 + 60 + S400	N70° W	長さ[12.0]×高さ0.03~0.05	ほぼ直線・平行形	
段野1	E40 + 50 + S410	N78° W	長さ[933]×幅0.23~3.15×高さ0.10~0.18	ほぼ直線・台形	
段野1	E50 + 50 + S410	N10 + 15° E	長さ[16.03]×幅0.58~1.55×高さ0.11~0.26	半分野行・台形	8世紀後~

段野1

4.A1区N c層

水山跡(複数個)

道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 稲(m)	平面形・断面形	時 期
段野2	E40 + 50 + S410	N76° W	長さ[16.90]×幅1.23~1.73×高さ0.01~0.08	ほぼ直線・台形	
段野2	E50 + 50 + S410	N76° W	長さ[9225]×幅2.09~2.31×高さ0.02~0.08	ほぼ直線・台形	

段差2

4.A1区N d層

水山跡(複数個)

道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 稲(m)	平面形・断面形	時 期
SB53	E50 + S410 ~ 420	N5° E (束ね柱例)	東西2.2間×南北2.2間	3.44~3.58×3.46~3.72	
土坑					
SK48	E50 + S400	N39° W	長軸161×短軸104×深さ2.23	楕円形・底状	
SK49	E50 + S400	-	東西325×南北316×深さ3.41	不整形・柄杓形	
SK50	E50 + S400	N56° W	長軸163×短軸70×深さ2.15	不整形丸反角形・逆台形	
SK51	E60 + S410	N81° E	長軸178×短軸152×深さ4.0	不整形円形・逆台形	
SK52	E50 + S420	N32° E	長軸77×短軸65×深さ3.33	円形・逆台形	

第5節 伊古田B道路

第5表 道構一覧表(2)

道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 横(m)	平面形・断面形	時 期
S054	E60+5420	N78°W・N28°E	長さ[4.49]×幅0.19～0.28×深さ0.06	L字状・逆行形	
S055	E60+5410	N6°E	長さ[2.04]×幅0.29～0.36×深さ0.10	直線・逆行形	
4-A2区間 a带 土坑					
道構番号	位置(グリッド)	路軸方向	幅 横(m)	平面形・断面形	時 期
SK4	E70+5440	N45°E(屈曲)	長軸2.21×短軸1.01×深さ0.56	平緩長方形・逆行形	
SK4	E70+5420	N8°E(開溝)	外縁幅4.43～4.84×内縁幅3.48～3.89×横幅0.50～0.74 ×深さ0.18～0.33	圓丸九方形・逆行形	
土坑					
道構番号	位置(グリッド)	路軸方向	幅 横(m)	平面形・断面形	時 期
SK4	E70+5440	N15°E	長軸79×短軸61×深さ36	圓丸長方形・逆行形	
流跡					
道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 横(m)	平面形・断面形	時 期
SD2	E100+5440～450	N20°E・N57°W	長さ[12.80]×幅0.62～0.98×深さ0.40	L字状・逆行形	
SD3	E60+70～S430～440	N3～72°W	長さ[20.21]×幅0.18～0.76×深さ0.13	梯状・弧状・逆行形	
SD5	E100+5440～450	N13°W	長さ8.36×幅0.10～0.23×深さ0.06	迂回曲線・U字形	
SD6	E80+5430	N4°W	長さ4.04×幅0.13～0.43×深さ0.04	迂回船型・曲状	
4-A2区間 b带 壁穴の延長					
道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 横(m)	カマド	時 期
SI74	E70+5430	N9°W(新カマド軸)	東西5.20×南北4.70	東壁南寄り(新)・北壁中央(ED)	第1世纪前半～中 期
小渓流道構群					
道構番号	位置(グリッド)	方 向	幅 横(m)	平面形・断面形	時 期
1-1	E70+5420	N75°W	長さ[2.83]×幅0.13～0.18×深さ0.06	迂回曲線・U字形	
1-2	E60+70～S420	N73°W	長さ[11.22]×幅0.22～0.30×深さ0.05	迂回曲線・U字形	
1-3	E70+5420	N88°W	長さ[0.16]×幅0.22～0.25×深さ0.07	迂回曲線・U字形	
1-4	E60+70～S420	N78°W	長さ[15.25]×幅0.18～0.52×深さ0.07	迂回曲線・U字形	
1-5	E70+80～S420	N79°W	長さ2.80×幅0.13～0.22×深さ0.06	迂回曲線・U字形	
1-6	E60+70～S420～430	N78°W	長さ[15.75]×幅0.20～0.45×深さ0.11	迂回曲線・U字形	
1-7	E60+80～S430	N86°W	長さ[11.45]×幅0.17～0.32×深さ0.10	迂回曲線・U字形	
1-8	E70+80～S430	N77°W	長さ[8.12]×幅0.19～0.42×深さ0.08	迂回曲線・U字形	
1-9	E60+80～S430	N77°W・N69°W	長さ[11.73]×幅0.17～0.37×深さ0.03	迂回曲線・U字形	
1-10	E70+80～S430	N74°W	長さ[5.72]×幅0.28～0.37×深さ0.08	迂回曲線・U字形	
1-11	E60+90～S430～440	N69°W・N81°W	長さ[23.21]×幅0.18～0.42×深さ0.07	迂回曲線・U字形	
1-12	E60+80～S430	N83°W	長さ[13.01]×幅0.17～0.32×深さ0.09	迂回曲線・U字形	
1-13	E60+90～S430～440	N74°W・N82°W	長さ[20.03]×幅0.22～0.52×深さ0.10	迂回曲線・U字形	
1-14	E70+80～S430～440	N72°W・N77°W	長さ[15.35]×幅0.27～0.52×深さ0.15	迂回曲線・U字形	
1-15	E60+80～S430～440	N80°W	長さ[11.71]×幅0.17～0.30×深さ0.11	迂回曲線・U字形	
1-16	E70+5440	N84°W	長さ[7.20]×幅0.15～0.24×深さ0.09	迂回曲線・U字形	
1-17	E70+5440	N75°W・N81°W	長さ[4.88]×幅0.15～0.24×深さ0.12	迂回曲線・U字形	
B-1	E60+70～S430	N74°W	長さ[3.17]×幅0.27～0.39×深さ0.10	迂回曲線・U字形	
B-2	E60+70～S430	N72°W	長さ[2.06]×幅0.23～0.30×深さ0.07	迂回曲線・U字形	
B-3	E80+5440	N69°W	長さ[19.65]×幅0.20～0.40×深さ0.16	迂回曲線・U字形	
B-4	E70+80～S440	N73°W・N64°W	長さ[11.30]×幅0.20～0.60×深さ0.14	迂回曲線・U字形	
B-5	E80+90～S440～450	N65°W	長さ[11.85]×幅0.27～0.45×深さ0.17	迂回曲線・U字形	
B-6	E70+90～S440～450	N66°W	長さ[15.85]×幅0.20～0.40×深さ0.10	迂回曲線・U字形	
B-7	E70+90～S440～450	N61°W・N67°W	長さ[16.10]×幅0.20～0.37×深さ0.13	迂回曲線・U字形	
B-8	E80+90～S450	N65°W	長さ[7.45]×幅0.23～0.32×深さ0.12	迂回曲線・U字形	
B-9	E60+70～S420～430	N22°E	長さ[7.75]×幅0.24～0.40×深さ0.09	迂回曲線・U字形	
B-10	E70+5420	N12°E	長さ[4.95]×幅0.27～0.41×深さ0.11	迂回曲線・U字形	
B-11	E70+5420	N19°E	長さ[2.70]×幅0.22～0.30×深さ0.06	迂回曲線・U字形	
B-12	E70+5420	N16°E	長さ[3.00]×幅0.20～0.30×深さ0.08	迂回曲線・U字形	
B-13	E70+5420～440	N16°E・N24°E	長さ[12.43]×幅0.20～0.35×深さ0.17	迂回曲線・U字形	
B-14	E70+80～S420～440	N16°E	長さ[12.63]×幅0.17～0.47×深さ0.13	迂回曲線・U字形	
B-15	E70+80～S420～440	N21°E	長さ[18.08]×幅0.27～0.45×深さ0.22	迂回曲線・U字形	
B-16	E70+80～S420～440	N14°E	長さ[18.08]×幅0.27～0.43×深さ0.17	迂回曲線・U字形	
B-17	E80+5430～440	N13°E	長さ[12.48]×幅0.28～0.45×深さ0.22	迂回曲線・U字形	
B-18	E80+5430～440	N19°E	長さ[15.83]×幅0.27～0.45×深さ0.13	迂回曲線・U字形	
B-19	E80+5430～440	N19°E	長さ[5.32]×幅0.23～0.31×深さ0.07	迂回曲線・U字形	
B-20	E80+5430～440	N31°E	長さ[8.42]×幅0.26～0.40×深さ0.11	迂回曲線・U字形	
B-21	E80+90～S440～450	N24°E	長さ[8.90]×幅0.27～0.38×深さ0.12	迂回曲線・U字形	
B-22	E80+90～S440～450	N24°E	長さ[9.07]×幅0.23～0.37×深さ0.90	迂回曲線・U字形	
B-23	E80+90～S440～450	N22°E	長さ[7.95]×幅0.27～0.40×深さ0.15	迂回曲線・U字形	
B-24	E80+90～S440～450	N25°E	長さ[8.62]×幅0.22～0.38×深さ0.11	迂回曲線・U字形	
B-25	E80+5440～450	N26°E	長さ[11.69]×幅0.30～0.36×深さ0.17	迂回曲線・U字形	
B-26	E80+5440～450	N26°E	長さ[2.58]×幅0.25～0.38×深さ0.10	迂回曲線・U字形	
B-27	E80+100～S440～450	N30°E	長さ[3.35]×幅0.28～0.35×深さ0.18	迂回曲線・U字形	
B-28	E100+5440～450	N31°E	長さ[2.55]×幅0.32～0.40×深さ0.20	迂回曲線・U字形	
B-29	E100+5440～450	N26°E	長さ[3.68]×幅0.27～0.37×深さ0.10	迂回曲線・U字形	
B-30	E90+100～S440～450	N24°E	長さ[11.00]×幅0.13～0.38×深さ0.08	迂回曲線・U字形	
B-31	E90+100～S440～450	N24°E	長さ[2.48]×幅0.22～0.25×深さ0.11	迂回曲線・U字形	
B-32	E100+5440～450	N24°E	長さ[11.50]×幅0.30～0.45×深さ0.24	迂回曲線・U字形	

第6表 道構一覧表（3）

4-A3 区々層

土壌

道構番号	位置（グリッド）	長軸方向	幅 積 (m)	平面形・断面形	時 用
SK1	E40 + S380	N23°W	長軸 153 × 短軸 123 × 深さ 24	不整形・矩状	

4-B1 区々層

小流域・道構番

道構番号	位置（グリッド）	方 向	幅 積 (m)	平面形・断面形	時 用
I-1	W10 + S390	N9°E	長さ [15.89] × 幅 0.24 ~ 0.27 × 深さ 0.08	ほぼ直線・U字形	
I-2	W0-E0 + S390 ~ 400	N9°E	長さ [3.79] × 幅 0.28 ~ 0.41 × 深さ 0.09	ほぼ直線・U字形	
I-3	W0-E0 + S390 ~ 400	N10°E	長さ 4.85 × 幅 0.24 ~ 0.31 × 深さ 0.10	ほぼ直線・U字形	
I-4	W0-E0 + S390 ~ 400	N8°E	長さ 5.56 × 幅 0.36 ~ 0.39 × 深さ 0.08	やや蜿蜒・U字形	
I-5	W0-E0 + S390 ~ 400	N11°E	長さ 4.96 × 幅 0.32 ~ 0.34 × 深さ 0.08	ほぼ直線・U字形	
I-6	W0-E0 + S400	N8°E	長さ 2.63 × 幅 0.26 ~ 0.48 × 深さ 0.09	ほぼ直線・U字形	
I-7	W0-E0 + S400	N15°E	長さ [4.89] × 幅 0.31 ~ 0.35 × 深さ 0.08	ほぼ直線・U字形	
II-1	W0-E0 + S390	N86°W	長さ [1.15] × 幅 0.29 ~ 0.40 × 深さ 0.11	ほぼ直線・U字形	
II-2	W10 ~ W0-E0 + S390	N87°W	長さ [3.95] × 幅 0.18 ~ 0.39 × 深さ 0.07	ほぼ直線・U字形	
II-3	W10 ~ W0-E0 + S390	N87°W	長さ [2.93] × 幅 0.26 ~ 0.30 × 深さ 0.08	ほぼ直線・U字形	
II-4	W10 ~ W0-E0 + S390	N83°W	長さ [4.05] × 幅 0.13 ~ 0.34 × 深さ 0.07	ほぼ直線・U字形	
II-5	W10 ~ W0-E0 + S390	N86°W	長さ [3.99] × 幅 0.18 ~ 0.30 × 深さ 0.09	ほぼ直線・U字形	
II-6	W10 ~ W0-E0 + S390 ~ 400	N84°W	長さ [4.10] × 幅 0.27 ~ 0.41 × 深さ 0.08	ほぼ直線・U字形	
II-7	W10 ~ W0-E0 + S400	N87°W	長さ [4.08] × 幅 0.36 ~ 0.44 × 深さ 0.10	ほぼ直線・U字形	
II-8	W10 ~ W0-E0 + S400	N81°W	長さ [4.20] × 幅 0.26 ~ 0.37 × 深さ 0.12	ほぼ直線・U字形	
II-9	W10 ~ W0-E0 + S400	N79°W	長さ [4.30] × 幅 0.24 ~ 0.33 × 深さ 0.09	ほぼ直線・U字形	
B-10	W10 ~ W0-E0 + S400	N76°W	長さ [4.45] × 幅 0.21 ~ 0.32 × 深さ 0.08	ほぼ直線・U字形	
B-11	W0-E0 + S400	N82°W	長さ [4.22] × 幅 0.30 ~ 0.41 × 深さ 0.08	ほぼ直線・U字形	
B-12	W0-E0 + S400	N83°W	長さ [3.62] × 幅 0.23 ~ 0.39 × 深さ 0.07	ほぼ直線・U字形	

4-B2 区々層

小流域・道構番

道構番号	位置（グリッド）	方 向	幅 積 (m)	平面形・断面形	時 用
I-1	E10 + 20 + S430	ほぼ東西	長さ [4.76] × 幅 0.23 ~ 0.40 × 深さ 0.06 ~ 0.09	ほぼ直線・直形	
I-2	E20 + S430	ほぼ東西	長さ 2.42 × 幅 0.18 ~ 0.20 × 深さ 0.05 ~ 0.07	ほぼ直線・直形	
I-3	E20 + S430	ほぼ東西	長さ [3.46] × 幅 0.20 ~ 0.44 × 深さ 0.05 ~ 0.10	ほぼ直線・直形	
I-4	E10 + 20 + S430	ほぼ東西	長さ [5.54] × 幅 0.10 ~ 0.52 × 深さ 0.06 ~ 0.09	ほぼ直線・直形	
I-5	E20 + S440	ほぼ東西	長さ [17.71] × 幅 0.30 ~ 0.44 × 深さ 0.04 ~ 0.06	ほぼ直線・直形	
I-6	E20 + S440	ほぼ東西	長さ 2.81 × 幅 0.17 ~ 0.39 × 深さ 0.04 ~ 0.07	ほぼ直線・直形	
I-7	E20 + S440	ほぼ東西	長さ [11.53] × 幅 0.12 ~ 0.17 × 深さ 0.02 ~ 0.05	ほぼ直線・直形	
I-8	E20 + S440	ほぼ東西	長さ 1.85 × 幅 0.09 ~ 0.21 × 深さ 0.03 ~ 0.05	ほぼ直線・直形	
I-9	E20 + S440	ほぼ東西	長さ 1.67 × 幅 0.14 ~ 0.30 × 深さ 0.03 ~ 0.06	ほぼ直線・直形	
I-10	E20 + S440	ほぼ東西	長さ 1.00 × 幅 0.08 ~ 0.15 × 深さ 0.03 ~ 0.04	ほぼ直線・直形	

4-B2 区々層

水出跡

道構番号	位置（グリッド）	方 向	幅 積 (m)	平面形・断面形	時 用
船出跡番号1	E20 ~ 30 + S440	N18°E	長さ [6.10] × 幅 1.10 ~ 1.64 × 深さ 0.03 ~ 0.05	ほぼ直線・直形	
船出跡番号2	E20 ~ 30 + S440	N77°W	長さ [1.63] × 幅 1.05 ~ 1.50 × 深さ 0.03 ~ 0.06	ほぼ直線・直形	

小流域・道構番

道構番号	位置（グリッド）	方 向	幅 積 (m)	平面形・断面形	時 用
I-1	E20 + S430	N10°E	長さ [2.14] × 幅 0.29 ~ 0.37 × 深さ 0.08 ~ 0.13	ほぼ直線・U字形	
I-2	E20 + S430 ~ 440	N8°E	長さ [4.67] × 幅 0.31 ~ 0.35 × 深さ 0.08 ~ 0.10	弧状・U字形	
I-3	E20 + S430 ~ 440	N11°E	長さ [4.84] × 幅 0.13 ~ 0.35 × 深さ 0.08 ~ 0.13	弧状・U字形	
I-4	E20 + S430 ~ 440	N8°E	長さ [2.24] × 幅 0.32 ~ 0.80 × 深さ 0.08 ~ 0.21	ほぼ直線・U字形	
I-5	E20 + S440	N20°E	長さ [0.99] × 幅 0.31 ~ 0.39 × 深さ 0.06 ~ 0.07	ほぼ直線・U字形	
I-6	E20 + S440	N12°E	長さ [3.37] × 幅 0.28 ~ 0.58 × 深さ 0.11 ~ 0.14	ほぼ直線・U字形	
I-7	E10 + S420 ~ 430	N13°E	長さ [1.17] × 幅 0.28 ~ 0.40 × 深さ 0.10 ~ 0.18	ほぼ直線・直形	
I-8	E10 + S420 ~ 430	N12°E	長さ [6.67] × 幅 0.21 ~ 0.39 × 深さ 0.07 ~ 0.27	ほぼ直線・U字形	
I-9	E10 ~ 20 + S430 ~ 440	N20°E	長さ [4.64] × 幅 0.23 ~ 0.39 × 深さ 0.08 ~ 0.10	弧状・U字形	
I-10	E20 + S430 ~ 440	N18°E	長さ [2.27] × 幅 0.25 ~ 0.45 × 深さ 0.07 ~ 0.14	ほぼ直線・U字形	
I-11	E20 + S430 ~ 440	N19°E	長さ [5.80] × 幅 0.32 ~ 0.64 × 深さ 0.09 ~ 0.11	ほぼ直線・U字形	
I-12	E20 + S430 ~ 440	N23°E	長さ [15.75] × 幅 0.32 ~ 0.40 × 深さ 0.07 ~ 0.08	Y字形・U字形	
I-13	E20 + S430 ~ 440	N2°E	長さ [17.02] × 幅 0.28 ~ 0.69 × 深さ 0.11 ~ 0.16	Y字形・U字形	
I-14	E20 + S440	N11°E	長さ [6.37] × 幅 0.30 ~ 0.72 × 深さ 0.08 ~ 0.14	ほぼ直線・直形	
I-15	E20 + S440	N6°E	長さ [6.00] × 幅 0.23 ~ 0.39 × 深さ 0.04 ~ 0.14	ほぼ直線・U字形	
I-16	E20 ~ 30 + S440	N14°E	長さ [7.43] × 幅 0.29 ~ 0.79 × 深さ 0.10 ~ 0.17	X字形・直形	
I-17	E30 + S440	N3°E	長さ [5.53] × 幅 0.32 ~ 0.67 × 深さ 0.08 ~ 0.11	X字形・U字形	

4-B2 区々層 e ~ v 層

河出跡

道構番号	位置（グリッド）	方 向	幅 積 (m)	平面形・断面形	時 用
SD16	E20 + S430 ~ 440	N3°E	長さ [5.88] × 幅 0.22 ~ 0.43 × 深さ 0.05 ~ 0.10	ほぼ直線・凸台形	
SD42	E20 + S440	N64°W	長さ [2.58] × 幅 0.36 ~ 0.64 × 深さ 0.10	ほぼ直線・凸台形	
SD48	E20 + S430	N6°E	長さ [2.57] × 幅 0.17 ~ 0.21 × 深さ 0.05 ~ 0.08	ほぼ直線・凸台形	

第7表 道橋一覧表(4)

4B2 区N'e~V層

小波式造橋柱

道橋番号	位置(グリッド)	方 向	幅 橋(m)	平面形・断面形	時 用
III-1	WO-50~E10+5420	[ほぼ]東西	長さ[5.35]×幅0.32~0.48×深さ0.08~0.26	ほぼ西傾・U字形	
III-2	WO-50~E10+5420	[ほぼ]東西	長さ[5.30]×幅0.27~0.40×深さ0.10	ほぼ西傾・U字形	
III-3	WO-50~E10+5430	[ほぼ]東西	長さ[4.77]×幅0.31~0.44×深さ0.26~0.28	ほぼ西傾・U字形	
III-4	WO-50~E10+5430	[ほぼ]東西	長さ[3.88]×幅0.18~0.22×深さ0.07~0.10	ほぼ西傾・U字形	
III-5	WO-50~E10+5430	[ほぼ]東西	長さ[2.95]×幅0.16~0.20×深さ0.06~0.07	ほぼ西傾・U字形	
III-6	E10+5430	[ほぼ]東西	長さ[2.15]×幅0.23~0.28×深さ0.04~0.09	ほぼ西傾・U字形	
III-7	E10+20+5430	[ほぼ]東西	長さ[8.66]×幅0.26~0.34×深さ0.10~0.14	緩く船形・U字形	
III-8	E10+20+5430	[ほぼ]東西	長さ[7.17]×幅0.18~0.26×深さ0.06~0.13	ほぼ西傾・U字形	
III-9	E10+5430	[ほぼ]東西	長さ[1.76]×幅0.18~0.20×深さ0.09~0.11	ほぼ西傾・U字形	
III-10	E10+20+5440	[ほぼ]東西	長さ[8.90]×幅0.20~0.28×深さ0.08~0.12	ほぼ西傾・U字形	
III-12	E20+30+5440	[ほぼ]東西	長さ[2.33]×幅0.27~0.40×深さ0.05~0.15	ほぼ西傾・U字形	
III-13	E20+30+5440	[ほぼ]東西	長さ[9.08]×幅0.32~0.67×深さ0.06~0.09	緩く船形・U字形	
III-14	E20+30+5440	[ほぼ]東西	長さ[3.25]×幅0.21~0.32×深さ0.03~0.08	ほぼ西傾・U字形	
III-15	E20+30+5440	[ほぼ]東西	長さ[6.12]×幅0.23~0.40×深さ0.07~0.16	ほぼ西傾・U字形	
III-16	E20+30+5440	[ほぼ]東西	長さ[3.21]×幅0.20~0.34×深さ0.05~0.06	ほぼ西傾・U字形	

4C 区屋層

造橋柱

道橋番号	位置(グリッド)	方 向	幅 橋(m)	平面形・断面形	時 用
S01	E20+30+5400	N-78°W	長さ10.38×幅0.81~1.02×深さ0.30	ほぼ西傾・船形地	

4C 区N'b層

小波式造橋柱

道橋番号	位置(グリッド)	方 向	幅 橋(m)	平面形・断面形	時 用
1-1	E40+5400	N5° E	長さ[1.44]×幅0.28~0.34×深さ0.07~0.14	ほぼ西傾・U字形	
1-2	E40+5400	N8° E	長さ[2.67]×幅0.35~0.60×深さ0.10~0.14	緩く船形・U字形	
1-3	E40+5400	N15° E	長さ[2.00]×幅0.50~0.65×深さ0.07~0.14	緩く船形・U字形	

4C 区N'e層

小波式造橋柱

道橋番号	位置(グリッド)	方 向	幅 橋(m)	平面形・断面形	時 用
1-1	E40+5400	N9° E	長さ[1.16]×幅0.45~0.58×深さ0.05~0.09	ほぼ西傾・U字形	
1-2	E40+5400	N7° E	長さ[2.62]×幅0.66~0.80×深さ0.08~0.21	ほぼ西傾・U字形	
1-3	E40+5400	N6° E	長さ[2.61]×幅0.36~0.50×深さ0.14~0.22	ほぼ西傾・U字形	
1-4	E30+40+5400	N8° E	長さ[2.65]×幅0.40~0.70×深さ0.09~0.12	ほぼ西傾・U字形	
1-5	E30+40+5400	N9° E	長さ[2.66]×幅0.48~0.68×深さ0.11~0.16	ほぼ西傾・U字形	
1-6	E30+5400	N3° E	長さ[2.22]×幅0.26~0.50×深さ0.11~0.14	ほぼ西傾・U字形	
1-7	E30+5400	N13° E	長さ[2.72]×幅0.20~0.35×深さ0.07~0.12	ほぼ西傾・U字形	
1-8	E30+5400	N8° E	長さ[2.62]×幅0.35~0.42×深さ0.12~0.18	ほぼ西傾・U字形	
1-9	E30+5400	N9° E	長さ[2.63]×幅0.70~0.85×深さ0.14~0.17	ほぼ西傾・U字形	
1-10	E30+5400	N10° E	長さ[2.57]×幅0.70~0.88×深さ0.14~0.20	ほぼ西傾・U字形	
1-11	E30+5400	N9° E	長さ[2.69]×幅0.30~0.40×深さ0.09~0.14	ほぼ西傾・U字形	
1-12	E30+5400	N10° E	長さ[2.58]×幅0.20~0.30×深さ0.06~0.09	ほぼ西傾・U字形	
1-13	E30+5400	N6° E	長さ[2.51]×幅0.55~0.68×深さ0.14~0.17	ほぼ西傾・U字形	
1-14	E30+5400	N3° E	長さ[2.73]×幅0.28~0.32×深さ0.02~0.06	ほぼ西傾・U字形	
1-15	E20+5400	N6° E	長さ[2.60]×幅0.30~0.62×深さ0.06~0.09	ほぼ西傾・U字形	
1-16	E20+5400	N10° E	長さ[2.64]×幅0.25~0.40×深さ0.08~0.16	ほぼ西傾・U字形	
1-17	E20+5400	N5° E	長さ[2.54]×幅0.28~0.35×深さ0.08~0.13	ほぼ西傾・U字形	
1-18	E20+5400	N9° E	長さ[1.80]×幅0.32~0.40×深さ0.11~0.14	ほぼ西傾・U字形	
1-19	E20+5400	N12° E	長さ[1.48]×幅0.30~0.40×深さ0.06~0.10	ほぼ西傾・U字形	
1-20	E20+5400	N4° E	長さ[2.58]×幅0.32~0.40×深さ0.09~0.11	ほぼ西傾・U字形	
1-21	E20+5400	N6° E	長さ[2.68]×幅0.26~0.36×深さ0.01~0.05	ほぼ西傾・U字形	
1-22	E10+5400	N6° E	長さ[2.45]×幅0.23~0.33×深さ0.07~0.10	ほぼ西傾・U字形	
II-3	E20+5400	N-88°W	長さ[8.66]×幅0.30~0.40×深さ0.06~0.09	ほぼ西傾・U字形	
II-2	E10+20+5400	N-86°W	長さ[8.16]×幅0.30~0.50×深さ0.07~0.14	ほぼ西傾・U字形	

4D 区N'e層

小波式造橋柱

道橋番号	位置(グリッド)	方 向	幅 橋(m)	平面形・断面形	時 用
I-1	E110~120+5400	N56°W	長さ[2.48]×幅0.33×深さ0.05~0.12	ほぼ西傾・U字形	
I-2	E120+5410	N65°W	長さ[4.33]×幅0.34~0.45×深さ0.09~0.16	ほぼ西傾・U字形	
II-1	E110~120+5400~410	N14° E	長さ[6.01]×幅0.21~0.32×深さ0.09	ほぼ西傾・U字形	
II-2	E120+5400~410	N17° E	長さ[6.26]×幅0.31~0.45×深さ0.15	ほぼ西傾・U字形	

伊古田B遺跡写真図版



4A1 区III層全景（南より）



4A1 区IV b 層小溝状遺構群（南より）

写真図版1 伊古田B遺跡（1）

第5節 伊古田B遺跡



4A1 区IV b 層水田跡（南より）

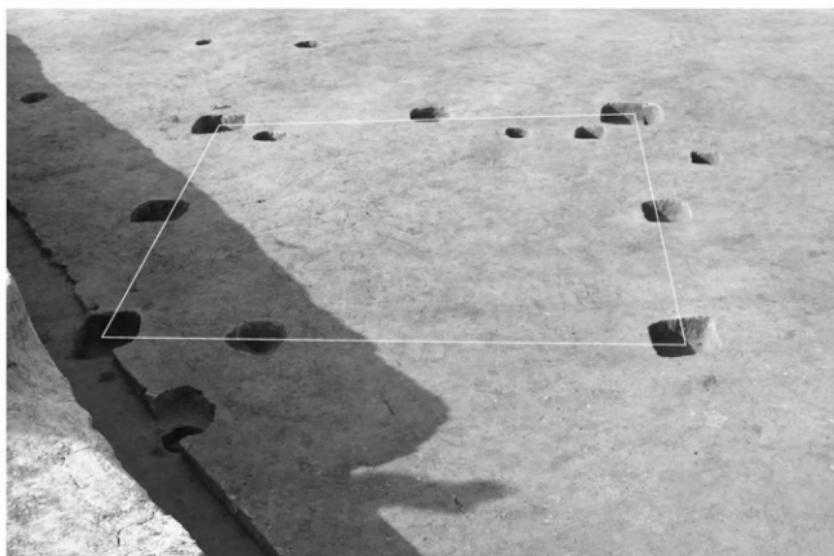


4A1 区IV c 層水田跡擬似畦畔 B（南より）

写真図版2 伊古田B遺跡（2）



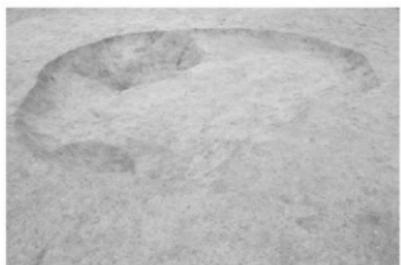
4A1 区IV b 層水田跡群断面（北東より）



4A1 区V層 SB53 全景（南より）



4A1 区V層 SK48（西より）



4A1 区V層 SK49（南より）

写真図版3 伊古田B遺跡（3）

第5節 伊古田B遺跡



4A1 区V層 SK50（南より）



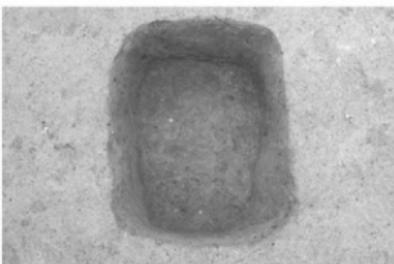
4A1 区V層 SK51（西より）



4A2 区III a層 SX1 全景（北より）



4A2 区III a層 SX1 墓壙（北より）



4A2 区III a層 SK4（南より）

写真図版4 伊古田B遺跡（4）



4A2 区III a層 SD2（南より）



4A2 区III a層 SD2断面（南より）



4A2 区中央部IV c層小溝状遺構群（北東より）



4A2 区北部IV c層小溝状遺構群（北東より）



4A2 区IV c層 SI74（西より）

写真図版5 伊古田B遺跡（5）

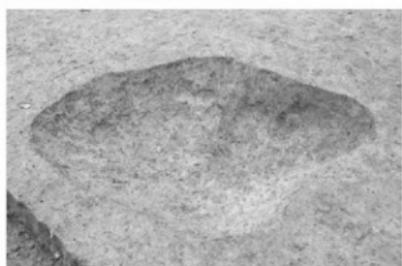
第5節 伊古田B遺跡



4A2 区IV c層 SI74 新カマド（西より）



4A2 区IV c層 SI74 旧カマド（南より）



4A3 区V層 SK1（東より）



4A3 区V層 SK1（東より）



4B1 区IV b層全景（南より）



4B1 区V層全景（北より）

写真図版6 伊古田B遺跡（6）



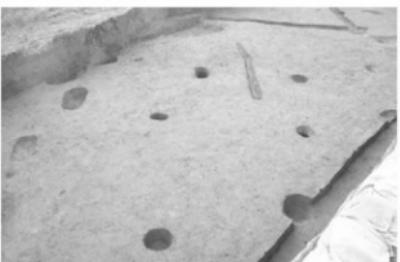
4B2 区IV b層小溝状遺構群（南東より）



4B2 区南東部IV c層小溝状遺構群（東より）



4B2 区IV c層水田跡擬似畦群 B（南西より）



4B2 区V層全景（東より）



4C 区III層 SD1（南東より）



4C 区東端部IV b層小溝状遺構群（南より）



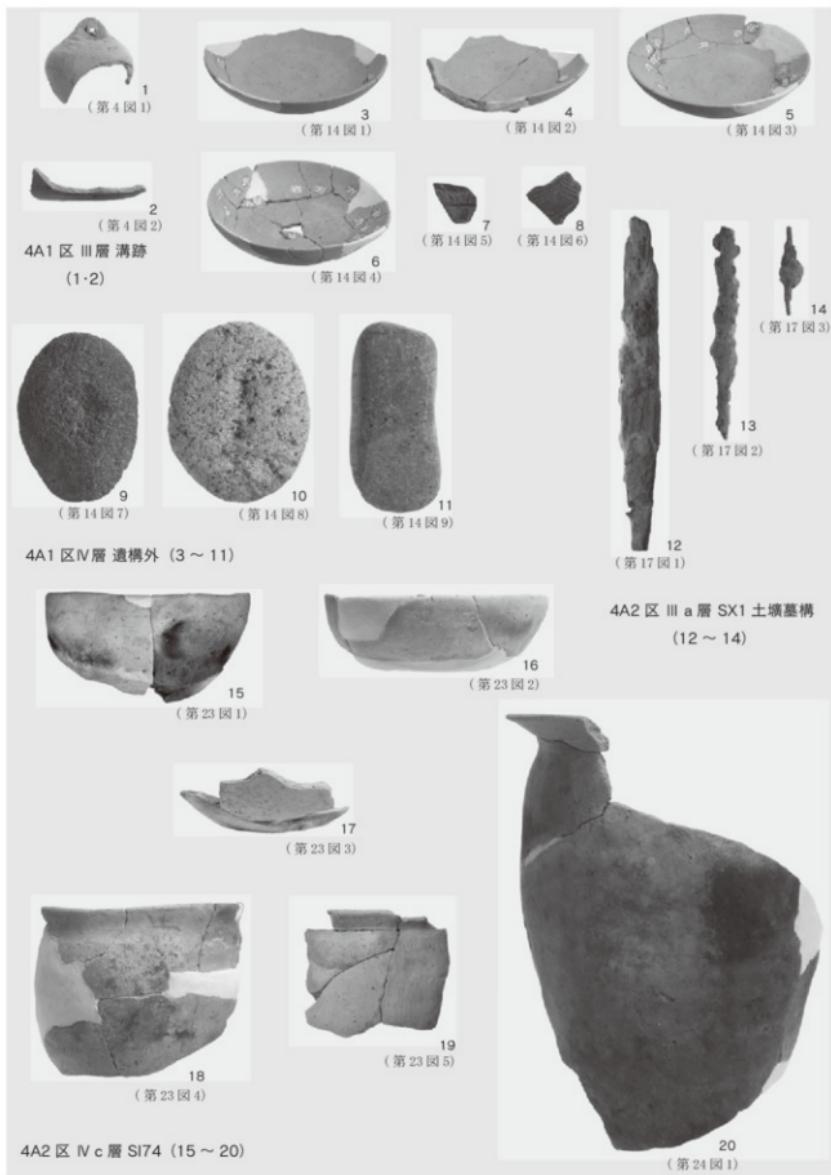
4C 区中央部IV c層東側全景（北東より）



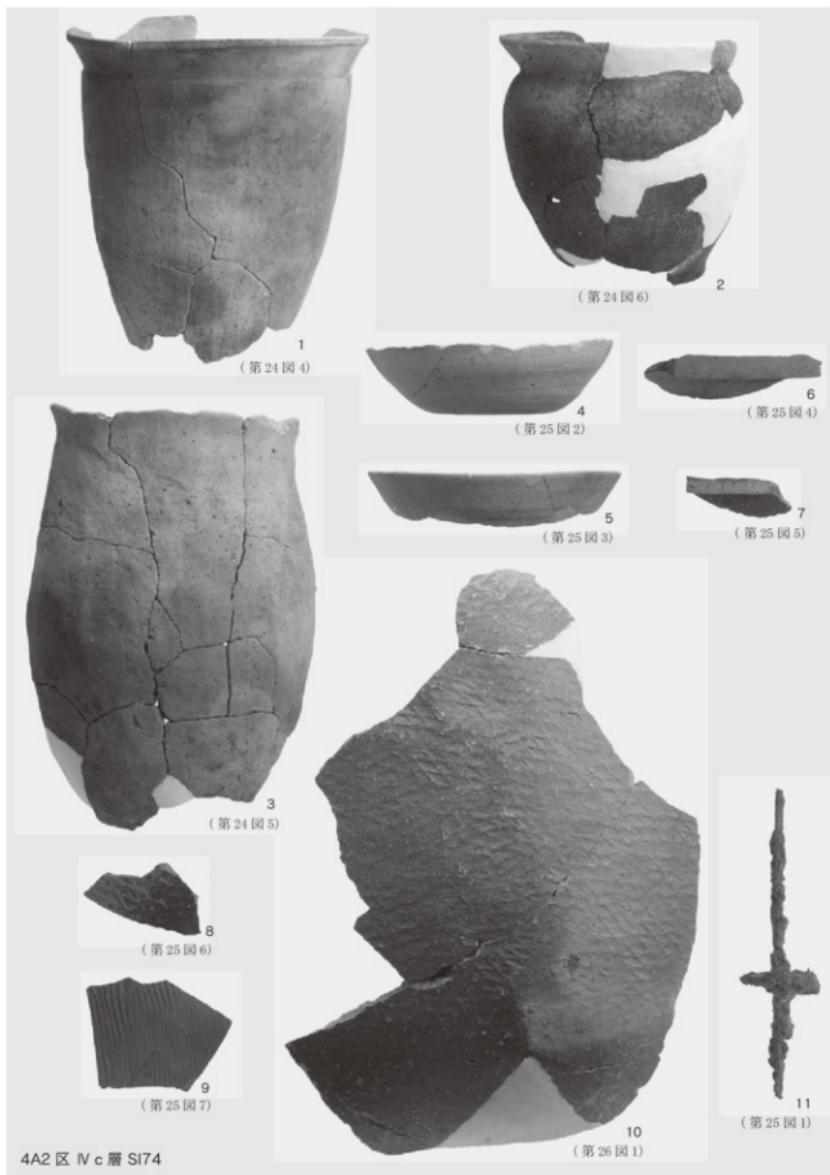
4D 区IV c層小溝状遺構群（南より）

写真図版7 伊古田B遺跡（7）

第5節 伊古田B遺跡



写真図版8 伊古田B遺跡出土遺物（1）



写真図版9 伊古田B遺跡出土遺物（2）

第5節 伊古田B遺跡



写真図版 10 伊古田B遺跡出土遺物 (3)

第6節 皿屋敷遺跡

1. 調査要項

- (1) 遺跡名：皿屋敷遺跡（宮城県遺跡登録番号 01429）
- (2) 所在地：仙台市太白区大野田字皿屋敷
- (3) 調査面積：約 116m² (1 ~ 3 レンチ)
- (4) 調査主体：仙台市教育委員会
- (5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
- (6) 担当職員：平間亮輔・佐藤典昭（派遣調査員：馬場由行／国際文化財）
- (7) 調査期間

（野外調査）：平成 20 年 12 月 1 日～12 月 5 日

（整理作業）各調査終了後に基礎整理を行い、以下の期間で最終整理を実施した。

- ・平成 22 年度：平成 22 年 10 月 8 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ・平成 23 年度：平成 23 年 9 月 22 日～平成 24 年 3 月 30 日
- ・平成 24 年度：平成 24 年 6 月 21 日～平成 25 年 3 月 29 日

2. 1 区の調査

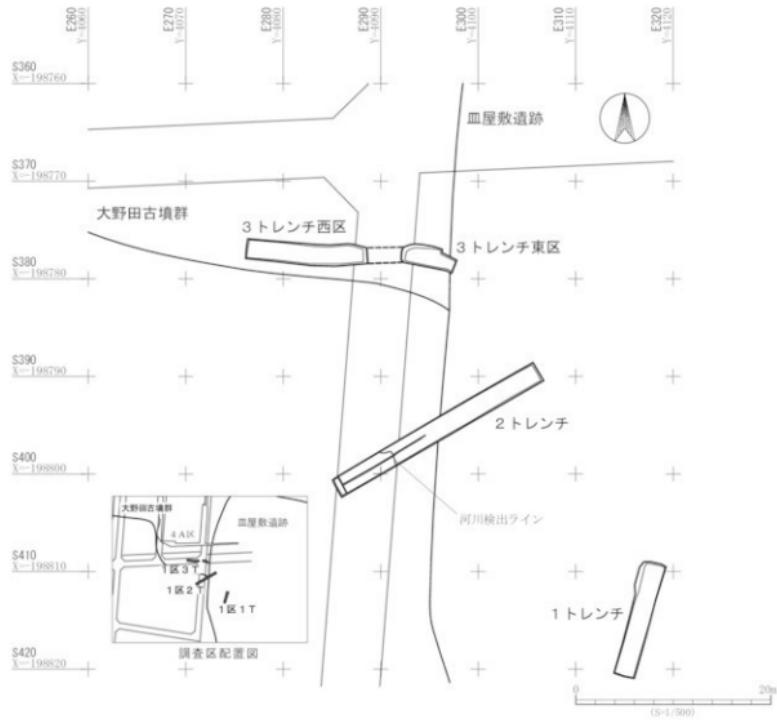
1 区では、河川跡を検出した。平成 4 年度の皿屋敷遺跡（王ノ壇遺跡 X 区・本調査区の東約 30m）の調査結果（仙台市教委 2000c）から、本調査区の大部分が近世以降の河川域に入ることが想定されたため、調査対象地点 3箇所にトレンチを設定し、調査に着手した。

S R 1 河川跡（第 1 図、図版 1）いずれのトレンチも I 層直下から河川堆積土と考えられる砂を多量に含む層を検出したほか、地表面から 1.3 ~ 1.7m 程の深度で河床とみられる小礫の集積層を検出した。このことから、Ⅲ層（古代～近世の遺構検出面）以下が河川により削平され、存在しないことが確認された。トレンチ調査のため河川跡の規模は不明である。いずれのトレンチからも遺物は出土していない。

3. まとめ

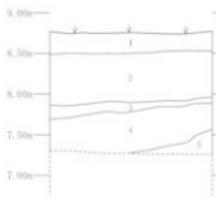
皿屋敷遺跡は仙台市南部の太白区大野田字皿屋敷に所在する。標高 10m 前後の自然堤防と後背湿地にまたがって立地する古代～近世の複合遺跡であり、北側に隣接する王ノ壇遺跡と一体の遺跡であると考えられる。平成 20 年度に 1 区で確認調査を行い、河川跡を検出した。

第6節 血屋敷遺跡

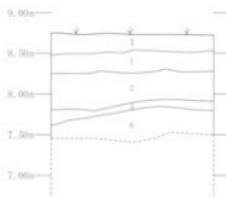


第1図 血屋敷遺跡1区 遺構配置図

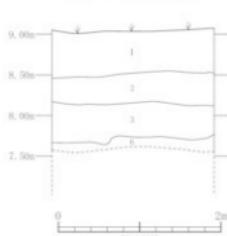
1トレンチ(東壁)



2トレンチ(南壁)



3トレンチ(東区南壁)



遺構	層位	土色	土性	面	備考
1	2.5m/2層灰黄色	粘土質シルト	砂を少体に含む。離化鉄を層状に含む。		
2	2.5m/2層灰黄色	粘土質シルト	砂を少体に含む。		
3	10.9m/1灰白色	粘土	砂を層状に含む。上層に離化鉄を層状に含む。		
4	10.9m/2灰黄色	粘土	黒褐色粘土をブロック状に少箇含む。一部に離化鉄を層状に含む。		
5	10.9m/4に至る 灰色	粘土	下位に黒褐色を層状に含む。		
6		礫集結層	円柱。		

第2図 血屋敷遺跡1区 基本層序模式図

皿屋敷遺跡写真図版



1 区 1 トレンチ全景（北より）



1 区 1 トレンチ断面（北西より）



1 区 2 トレンチ断面（西より）



1 区 2 トレンチ全景（南西より）



1 区 3 トレンチ断面（北西より）



1 区 3 トレンチ東区断面（北西より）

写真図版 1 血屋敷遺跡（1）

第7節 袋前遺跡

1. 調査要項

- (1) 遺跡名：袋前遺跡（宮城県遺跡登録番号 01439）
- (2) 所在地：仙台市太白区大野田字袋前、竹松、六反田
- (3) 調査面積：約 3m² (5 区)
- (4) 調査主体：仙台市教育委員会
- (5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
- (6) 担当職員：荒井 格
- (7) 調査期間

（野外調査）：平成 19 年 10 月 11 日～平成 19 年 10 月 12 日

（整理作業）各調査終了後に基礎整理を行い、以下の期間で最終整理を実施した。

- ・平成 22 年度：平成 22 年 10 月 8 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ・平成 23 年度：平成 23 年 9 月 22 日～平成 24 年 3 月 30 日
- ・平成 24 年度：平成 24 年 6 月 21 日～平成 25 年 3 月 29 日

2. 5 区の調査

5 区の調査では、IV b 層上面（古代以降の遺構検出面）において、溝 3 条、ピット 1 基を検出した。

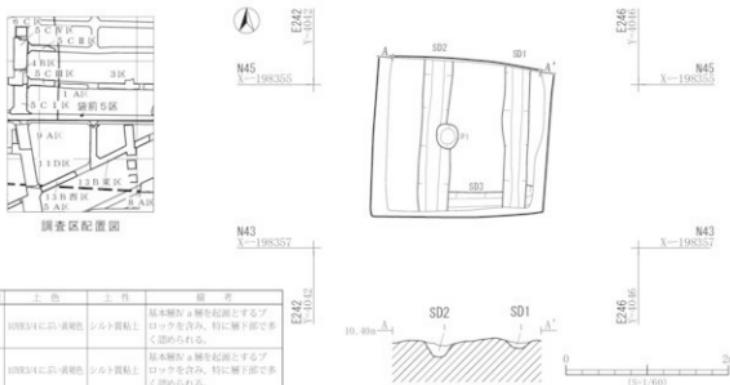
(1) IV b 層検出の遺構（第 1 図）

1) 溝跡

SD1 溝跡（第 1 図） N40・E240 グリッドで検出した。SD3 と重複関係にあり、本遺構が新しい。主軸方向はほぼ南北正方位で、検出長 1.22m、幅 25 ~ 32cm、深さ 5cm である。SD2 溝跡との間隔は 0.65m で、南北両側ともに調査区外に延びる。断面形は逆台形状である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

SD2 溝跡（第 1 図） N40・E240 グリッドで検出した。SD3・P1 と重複関係にあり、P1 より古く、SD3 より新しい。主軸方向はほぼ南北正方位で、検出長 1.85m、幅 30 ~ 38cm、深さ 17cm である。南北両側ともに調査区外に延びる。断面形は逆台形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

SD3 溝跡（第 1 図） N40・E240 グリッドで検出した。SD1・2 と重複関係にあり、本遺構が古い。主軸方向はほぼ東西正方位で、検出長 67cm、幅 17 ~ 22cm、深さは不明である。西側末端は SD2 で途切れ、東側の調査区外に



第 1 図 袋前 5 区 IV b 層遺構配置図・SD1・2 溝跡断面図

延びる。断面形は不明である。遺物は出土していない。

2) ピット（第1図）

1基のピット（P1）を検出した。遺物は出土していない。

3.まとめ

袋前遺跡は仙台市太白区大野田字袋前、竹松、六反田にあり、自然堤防に立地する。標高は 10.00 ~ 11.40m である。平成 19 年度に約 3m² の調査を行い、古代の遺構群を検出した。

(1) 遺構について

古代以降の遺構はIV b 層上面で溝跡 3 条、ピット 1 基を検出した。溝跡は周辺の調査で多数検出されている畑耕作に伴う小溝状遺構群の特徴と類似しており、同様の遺構の一部と考えられる。また、堆積土中から遺物は出土していないものの、周辺調査区での調査結果から、10 世紀前半以前の古代の遺構と考えられる。

(2) 遺物について

本調査区からは出土していない。

第1表 遺構一覧表

5区 N/b層

遺構番号	位置（グリッド）	方 向	規 模 (m)	平面形・断面形	時 期
SD1	E240・N40	N 2° E	長さ 1.22 × 幅 0.25 ~ 0.32 × 深さ 0.05	ほぼ直線・進行形	
SD2	E240・N40	N 3° E	長さ 1.85 × 幅 0.30 ~ 0.38 × 深さ 0.17	ほぼ直線・進行形	
SD3	E240・N40	N 88° E	長さ 0.67 × 幅 0.17 ~ 0.22 × 深さ不明	ほぼ直線・不明	

第8節 下ノ内遺跡

1. 調査要項

- (1) 遺跡名：下ノ内遺跡（宮城県遺跡登録番号01425）
(2) 所在地：仙台市太白区富沢四丁目、大野田字五反田
(3) 調査面積：約6,820m²
 - ・平成19年度：約2,747m²（8区：I～VII層）
 - ・平成20年度：約3,974m²（8区：IX層、9区、10区；確認調査）

(4) 調査主体：仙台市教育委員会
(5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
(6) 担当職員
 - ・平成19年度：斎野裕彦・佐藤洋・主演光朗・荒井格・廣瀬真理子・佐藤典昭・早川潤一
（派遣調査員：蝦名純・長内礼二・迫和幸／玉川文化財研究所、近江屋成陽・越智徹・千葉孝之／山武考古学研究所）
 - ・平成20年度：平間亮輔・米川暢敏・小泉博明・廣瀬真理子・佐藤典昭・佐々木匠
（派遣調査員：馬場由行／国際文化財）

(7) 調査期間
 - （野外調査）・平成19年度：平成19年7月20日～平成20年3月19日
 - ・平成20年度：平成20年4月9日～平成20年11月26日

（整理作業）各調査終了後に基礎整理を行い、以下の期間で最終整理を実施した。

 - ・平成22年度：平成22年10月8日～平成23年3月31日
 - ・平成23年度：平成23年9月22日～平成24年3月30日
 - ・平成24年度：平成24年6月21日～平成25年3月29日

2. 本節の構成

第1章第3節で既述したように、本節では平成19・20年度に調査した本遺跡8区出土遺物のうち、基本層I層下面～IX層上面検出遺構出土土器およびVI～IX層出土土器を除いた遺物を報告する。遺物実測図および遺物写真は、調査の進行に対応させて掲載した。ただし、古墳時代～古代の遺構検出面であるV層より上位の遺構や基本層から出土した繩文時代の遺物については、最後に纏めて掲載した。

I層下面検出遺構出土遺物 I層出土遺物

IV層出土遺物

V層上面検出遺構出土遺物 V層出土遺物

VI層出土遺物

VII層上面検出遺構出土遺物 VII層出土遺物 VII b層出土遺物

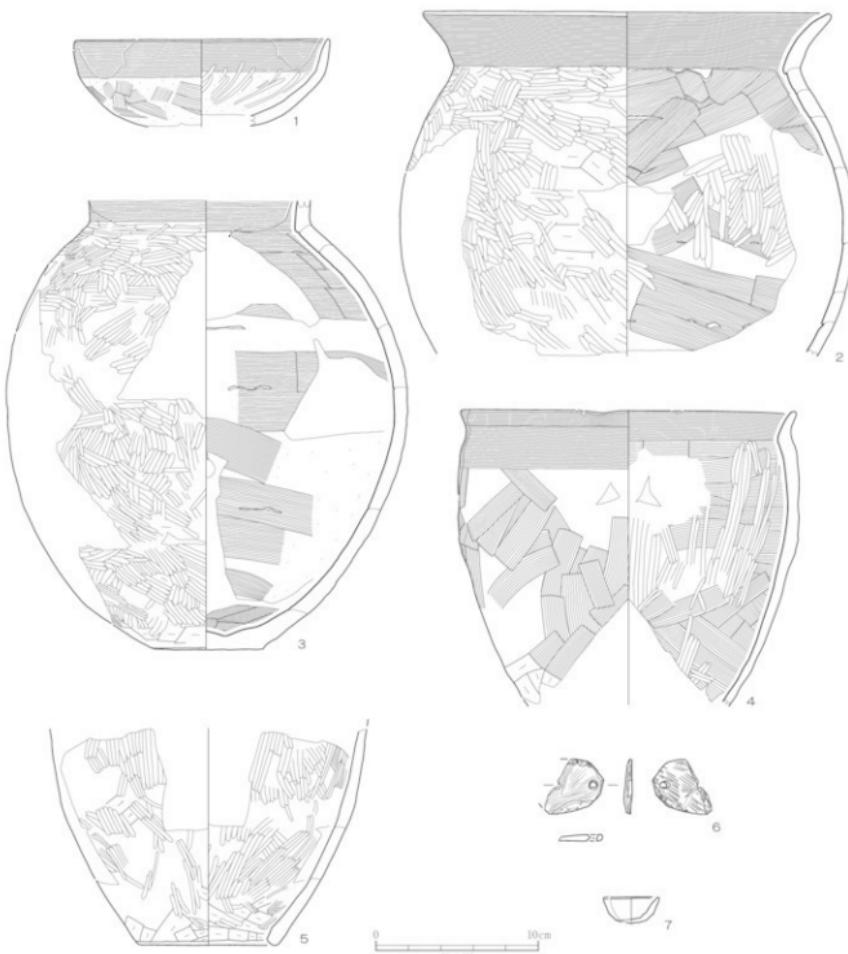
VIII層出土遺物 VIII b層出土遺物 VIII c層出土遺物

IX層上面検出遺構出土遺物

X層出土遺物

I～V層出土繩文時代の遺物

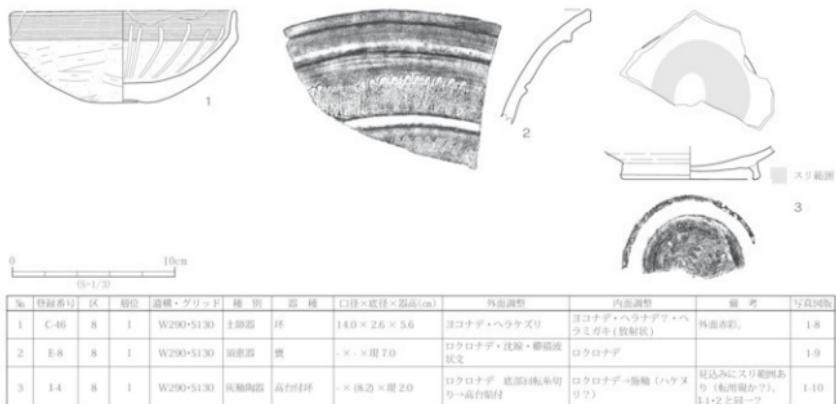
なお、IV層上面検出遺構からは、図示できるような遺物は出土しなかった。上記したものを除く各基本層についても同様である。



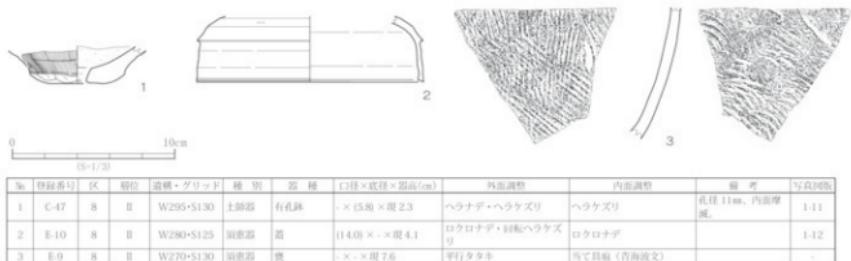
第1図 1層下面河川跡、溝跡出土遺物

名	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種 別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外周調整	内面調整	備 考	写真回数
1	C-41	8	SRI	-	土師器	环	15.6×-×深5.3	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ?・ヘラミガキ(鉛削状)	1-1	
2	C-44	8	SRI	-	土師器	甕	25.2×-×深21.2	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	1-2	
3	C-45	8	SRI	-	土師器	甕	-×(6.5)×深27.6	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヘラナデ・ヨコナデ	1-3	
4	C-42	8	SRI	-	土師器	甕	(20.6)×-×深18.1	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	1-4	
5	C-43	8	SRI	-	土師器	甕	-×(8.6)×深13.3	ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヘラナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	単孔	1-5
6	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種 別	器種	石 材	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備 考	写真回数
6	Kd-e-2	8	SRI	-	石製品	石製模造品	縦断片	(3.4)×(3.6)×0.5	(5.2)g	有孔円盤(2孔)、端部欠損	1-6
6	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種 別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外周調整	内面調整	備 考	写真回数
7	C-32	8	SD23	-	土師器	ミニチュア	(3.6)×-×1.6	無調整	無調整	手作成	1-7

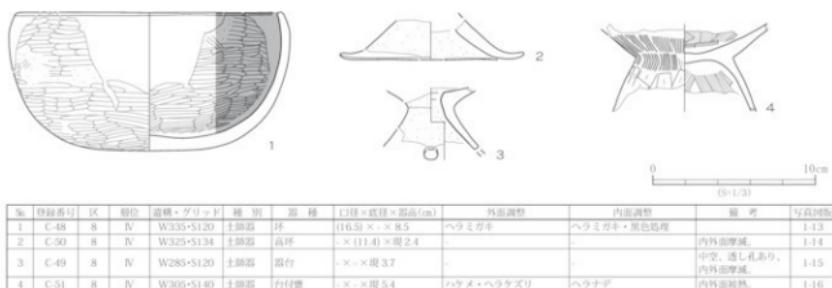
第8節 下ノ内遺跡8区



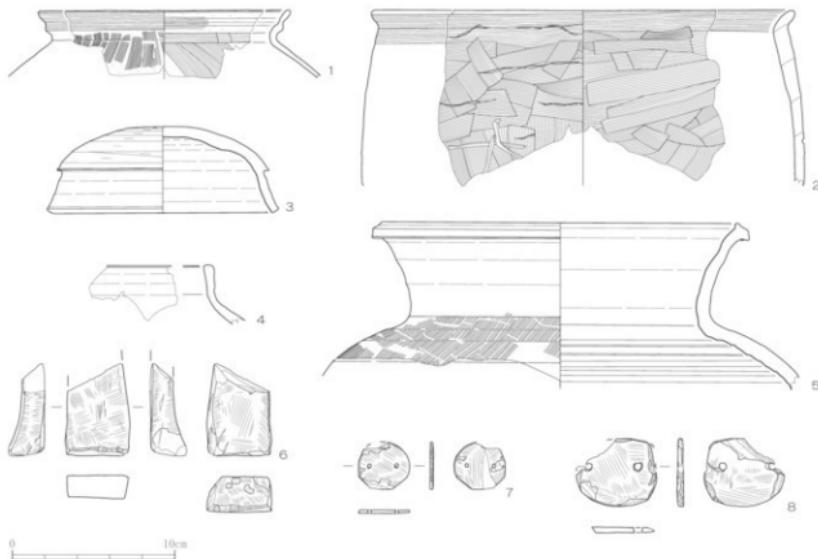
第2図 I層出土遺物



第3図 II層出土遺物

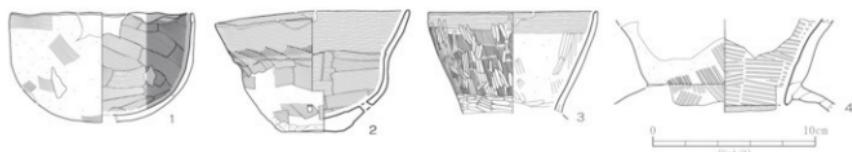


第4図 IV層出土遺物(1)



No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内部調整	備考	写真箇所
1	C-56	8	N	W305+S140	土師器	質	(15.4) × × 厚4.2	ヨコナデ・ハラメ	ヨコナデ・ヘラナデ	S字状口縁、内外面被熱。	2-1
2	C-52	8	N	W280+S130	土師器	質	(26.0) × × 厚10.8	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ	外張「人」型唇、炭化物付着。	2-2
3	E-11	8	N	W285+S135	陶器器	質	(14.2) × × 5.3	クロナデ・ヨロヘラケズリ	クロナデ		2-3
4	E-12	8	N	W285+S135	陶器器	質	(10.6) × × 厚3.6	クロナデ	クロナデ		2-4
5	E-13	8	N	W310+S145	陶器器	焼	(22.0) × × 厚10.1	クロナデ・平行タタキ	クロナデ		2-5
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種別	器種	右 材	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真箇所
6	Kd-e-2	8	N	W315+S145	石製品	砾石	右 斧	(5.7) × (4.0) × 2.2	(53.66)	砾面5面、下部火候。	2-6
7	Kd-e-1	8	N	W305+S100	石製品	石質模造品	右 斧	(2.9) × 3.2 × 0.2	(3.96)	右孔円錐(2孔)、端部欠損。	2-7
8	Kd-e-3	8	N	W280+S140	石製品	石質模造品	右 斧	(4.2) × (4.9) × 0.4	(11.60)	右孔円錐(2孔)、端部欠損。	2-8

第5図 IV層出土遺物（2）



No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内部調整	備考	写真箇所
1	C-3	8	SIT2.SX5+P6	-	土師器	焼	(11.2) × × 6.7	ヨコナデ・ナデ	ハラナデ・黒色処理		2-9
2	C-5	8	SIT2	I	土師器	疎	12.0 × 3.8 × 7.5	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ	側面部孔。	2-10
3	C-7	8	SIT2	I	土師器	疎	10.4 × × 厚6.2	ヨコナデ・ハラメ・ヘラミ	ヨコナデ・ヘラメガキ		2-11
4	C-8	8	SIT2	I	土師器	疎	× × 厚5.7	ハラメ	ハラメ・ナデ		2-12

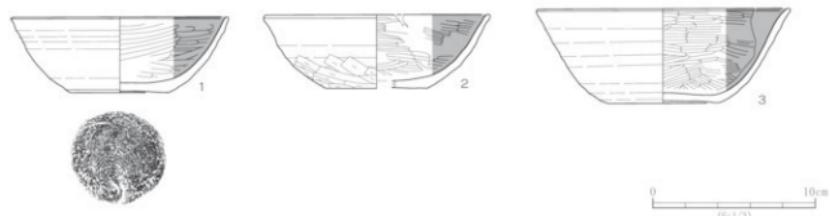
第6図 V層S1 72 穴住跡出土遺物（1）

第8節 下ノ内遺跡8区



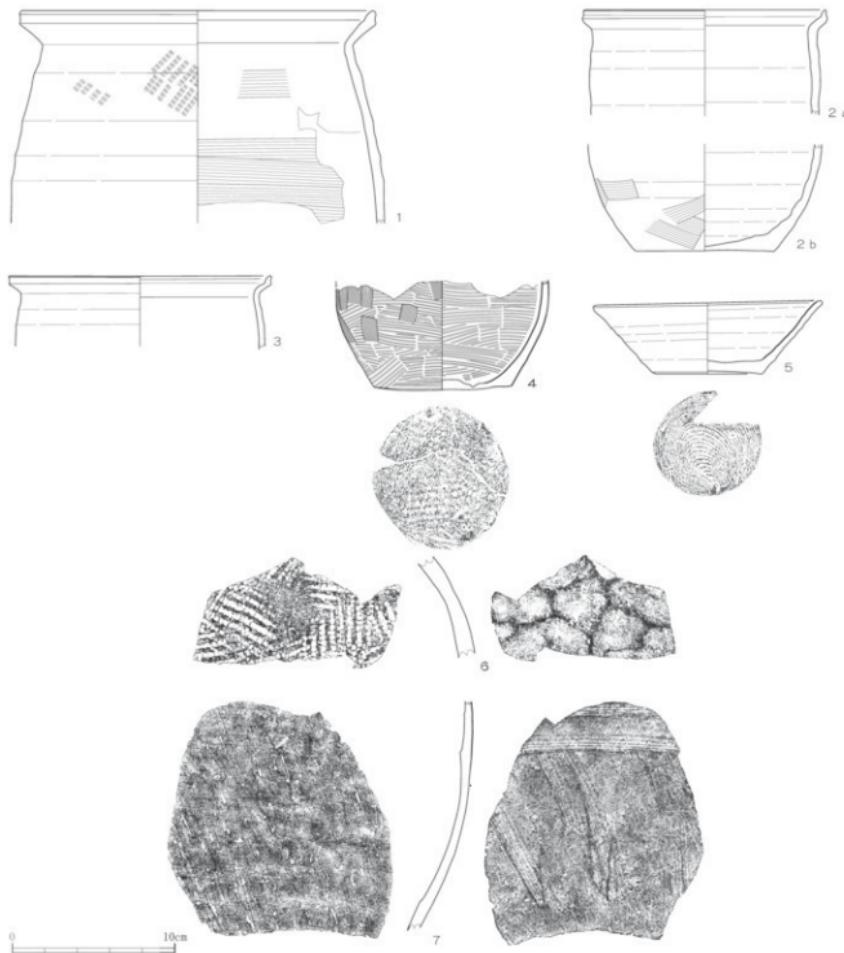
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内部調整	備考	写真回数
1	C-9	8	SI72	-	土器	甕	(14.6) × × 厚17.6	ヨコナデ・指オサエ・ヘラナデ	ヘラナデ	内外面被熱、	2-13
2	C-10	8	SI72	I	土器	甕	(18.4) × 6.9 × 22.8	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラ	内外面被熱、	2-14
3	C-4	8	SI72	I	土器	甕	9.3 × 4.1 × 6.1	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラ	ヨコナデ・ヘラナデ	底部外墨糊留、内外面被熱、	2-15
4	C-6	8	SI72	I	土器	甕	10.8 × 4.5 × 10.4	指オサエ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ	削り返し口縁、	2-16
5	C-1	8	SI72 SK1	検出面	土器	ミニチュア	× 3.2 × 厚4.0	ナデ	ナデ		2-17
6	C-2	8	SI72	I	土器	ミニチュア	(7.6) × 3.4 × 7.0	ナデ	ヨコナデ・ナデ	外面部糊、	2-18

第7図 V層S1 72 穴住跡出土遺物（2）



No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内部調整	備考	写真回数
1	D-1	8	SI76	床底	土器	甕	13.4 × 6.0 × 4.7	ロクロナデ 底面削除	ヘラミガキ・黑色處理		3-1
2	D-3	8	SI76	床底	土器	甕	(14.0) × (6.2) × 4.5	ロクロナデ・手持ちハラケ	ヘラミガキ・黑色處理	底部切り離し不明、	3-2
3	D-2	8	SI76	床底	土器	甕	(15.6) × 7.0 × 5.8	ロクロナデ 底面削除	ヘラミガキ・黑色處理	外面部糊、	3-3

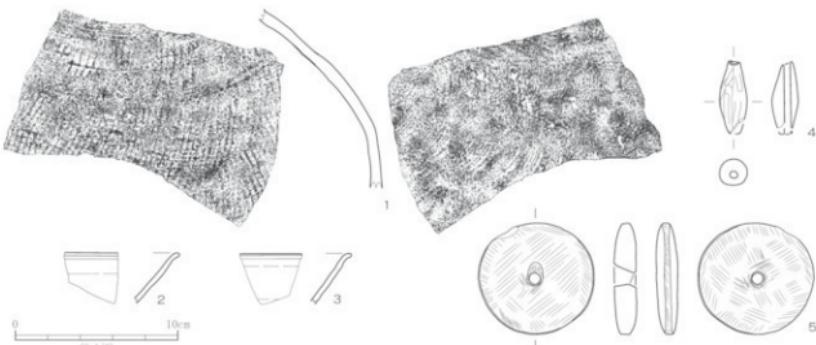
第8図 V層S1 76 穴住跡出土遺物（1）



番号	登録番号	区	遺構・グリッド	部位	種別	面種	寸法×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	参考	写真箇所
1	D-5	8	S176	床面	土器器	壺	(22.0) × × 壴 13.2	ロクロナデ・平行タテ	ロクロナデ・ヘラナデ	内外面被熱。	3-4
2	D-6	8	S176-SK1	-	土器器	壺	(14.8) × (8.6) × 壴 6.4-6.6	ロクロナデ・ヘラナデ	ロクロナデ	内外面被熱。	3-5
3	D-4	8	S176-SK1	-	土器器	壺	(16.2) × × 壴 4.5	ロクロナデ	ロクロナデ	内外面被熱、外面保付着。	3-6
4	C-11	8	S176-SK1	-	土器器	壺	- × 8.5 × 壴 6.7	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ	底面部焼紅、外面部被熱、内外面炭化物付着。	3-7
5	E-1	8	S176	床面	須器器	环	14.0 × 6.7 × 4.5	ロクロナデ 低部斜面切り	ロクロナデ		3-8
6	E-2	8	S176-SK1	-	須器器	壺	- × 壴 6.2	平行タテ	当貝塙(青海波文)		3-9
7	E-3	8	S176	床面	須器器	壺	- × 壴 13.5	ナデ・ヘラケズリ	ヘラナデ・ナデ		-

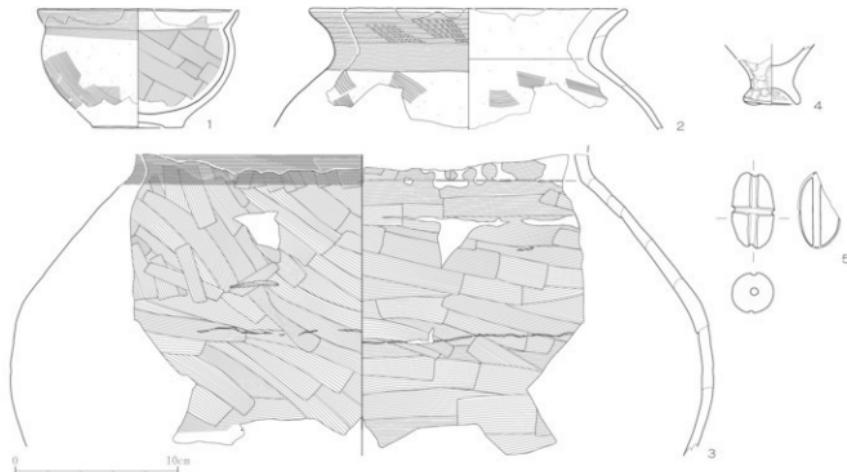
第9図 V層 S1-76 穴式住跡出土遺物（2）

第8節 下ノ内遺跡8区



No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内部調査	備考	写真枚数
1	E-4	8	S176	床面	灰陶器	盤	... × ... × 高 0.8	平行タスキ→クロナデ クロナデ	当て具板(直角波文)一孔	-	-
2	I-2	8	S176	床面	灰陶器	盤	... × ... × 高 3.1	クロナデ→施鉢(ハケヌ リ?)	クロナデ→施鉢(ハケヌ リ?)	I-1と同一?	3-10
3	I-1	8	S176	-	灰陶器	盤	... × ... × 高 3.1	クロナデ→施鉢(ハケヌ リ?)	クロナデ→施鉢(ハケヌ リ?)	I-1と同一?	3-11
No. 登録番号 区 遺構・グリッド 層位 種別 器種 文様等											
4	P-1	8	S176	3	土製品	土鍋				備考	写真枚数
No. 登録番号 区 遺構・グリッド 層位 種別 器種 石材 文様等											
5	Kd-f-1	8	S176	-	石製品	(右側斜溝有) 右英山岩質凝灰岩	6.9 × 7.1 × 1.4 40.22		直律 0.7cm	-	3-12
Ke-1	8	S176	3	その他	移石	白雲石	1.9 × 1.8 × 0.7 4.07		写真のobj.	3-14	
Ke-2	8	S176	3	その他	移石	白雲石	2.0 × 1.3 × 0.8 3.07		写真のobj.	3-15	
Ke-3	8	S176	3	その他	移石	白雲石	1.9 × 1.3 × 1.1 3.48		写真のobj.	3-16	
Ke-4	8	S176	-	その他	移石	白雲石	1.9 × 1.8 × 0.6 3.36		写真のobj.	3-17	
Ke-5	8	S176	-	その他	移石	白雲石	1.8 × 1.5 × 0.7 2.91		写真のobj.	3-18	
Ke-6	8	S176	-	その他	移石	白雲石	1.7 × 1.4 × 0.7 2.30		写真のobj.	3-19	

第10図 V層S1 76竪穴住居跡出土遺物(3)

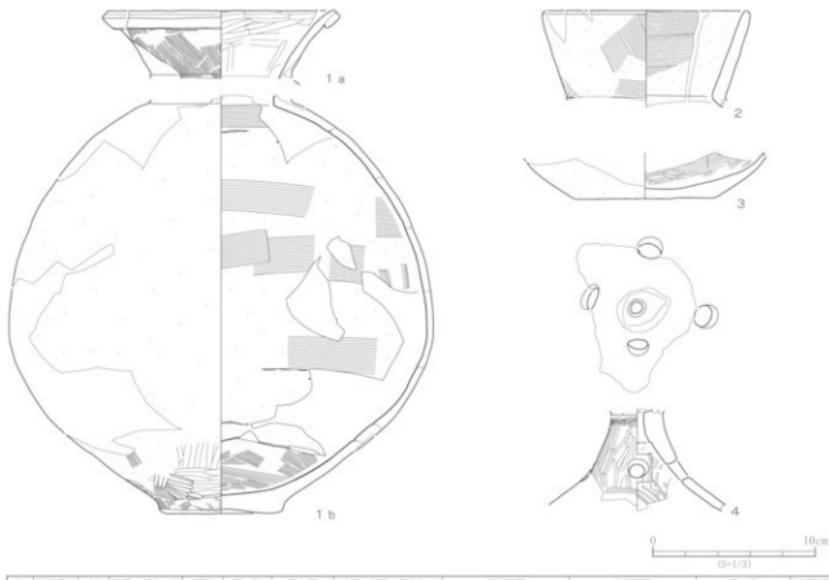


No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内部調査	備考	写真枚数
1	C-59	8	S178	土踏面	鉢	(12.4) × 5.4 × 7.2	ヨコナデ→ナデ	ヨコナデ・ヘラナデ	-	-	3-20
2	C-13	8	S178	土踏面	盤	19.4 × ... × 高 7.9	ヨコナデ・ハケヌ リ	ハケヌ	-	-	3-21
3	C-14	8	S178	-	土踏面	盤	... × ... × 高 18.5	ヨコナデ→ヘラナデ	ヘラナデ	-	3-22
4	C-12	8	S178	土踏面	ミニチュア	3.5 × 高 3.7	折オサエ	ナデ	-	-	3-23
No. 登録番号 区 遺構・グリッド 層位 種別 器種 文様等											
5	P-3	8	S178	2	土製品	土鍋	[幅 3 ~ 5mm] の土鍋あり		46 × 26 × 24mm 6.01 4mm	備考	写真枚数

第11図 V層S1 78竪穴住居跡出土遺物



第12図 V層S1 79 穴住居跡出土遺物



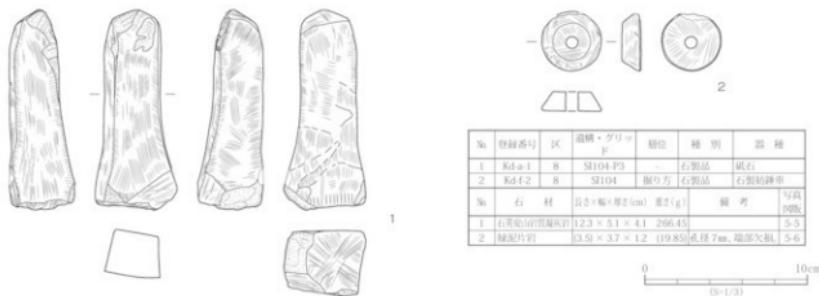
第13図 V層S1 80 穴住居跡出土遺物

第8節 下ノ内遺跡8区

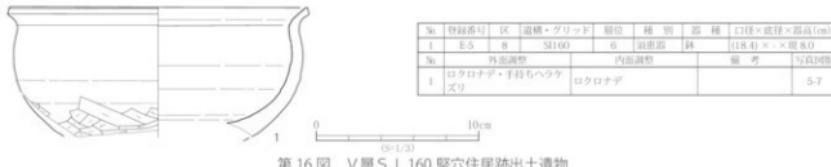


番	目録番号	区	遺構・グリッド	層位	種別	面種	口幅×底幅×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真箇所
1	C-23	8	SI104-P3	3	土器器	坪	(13.0) × × 厚4.3	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ		4.8
2	C-22	8	SI104-P3	3	土器器	坪	12.9 × × 6.4	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ	内外面焼成。	4.9
3	C-19	8	SI104	床直	土器器	坪	14.9 × × 6.5	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ(焼成状)		4.10
4	C-21	8	SI104-P3	3	土器器	坪	14.0 × × 6.3	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ		4.11
5	C-20	8	SI104	床直	土器器	坪	13.8 × × 5.0	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ(焼成状)		4.12
6	C-25	8	SI104-P3	3	土器器	坪	(15.0) × 5.0 × 6.2	ヨコナデ・ハケメ・ヘラケズリ・ヘラミガキ?	ヨコナデ・ヘラミガキ(焼成状)		4.13
7	C-27	8	SI104. カマフ	-	土器器	塙	(13.6) × × 7.8	ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ナデ・ヘラミガキ		4.14
8	C-24	8	SI104	3	土器器	跡	(13.6) × (7.2) × 11.2	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	外面部熱。	4.15
9	C-26	8	SI104-SKI	-	土器器	跡	15.1 × 6.5 × 10.3	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ	外面部熱、外面部化物、内外面焼付着、外面部厚膜。	4.16
10	C-29	8	SI104-P3	床直	土器器	焼	(24.6) × × 厚14.8	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	ヘラケメ・ヘラナデ	外面部厚膜。	5.1
11	C-30	8	SI104. カマフ	4	土器器	重	(19.4) × 7.0 × 14.3	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	単孔。	5.2
12	C-31	8	SI104. カマフ	-	土器器	重	(24.6) × × 厚7.0	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ		5.3
13	C-28	8	SI104	床直	土器器	痕?	(20.4) × × 厚7.5	ヨコナデ・ヘラナデ			5.4

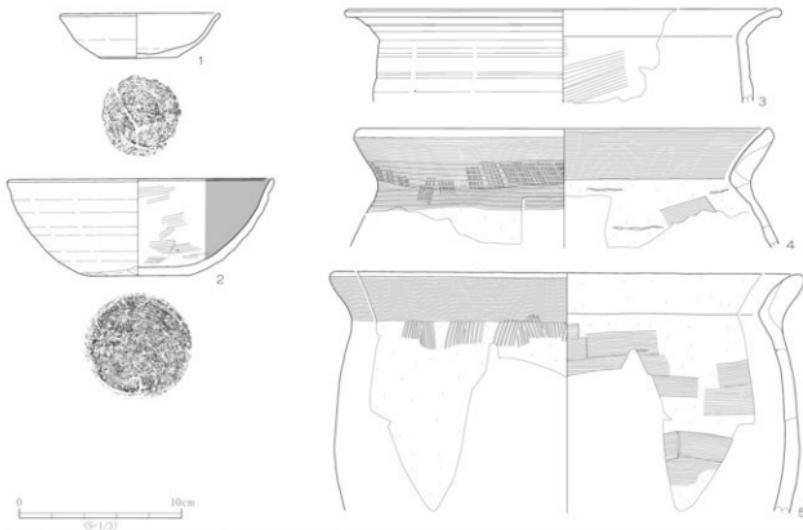
第14図 V層S I 104竪穴住居跡出土遺物（1）



第15図 V層S I 104 穫穴住居跡出土遺物（2）

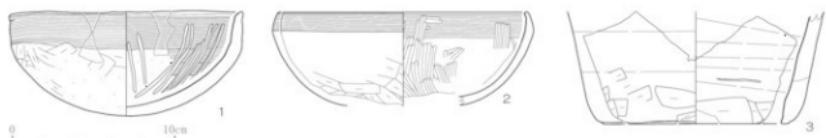


第16図 V層S I 160 穫穴住居跡出土遺物



第17図 V層土坑出土遺物

第8節 下ノ内遺跡8区



第18図 V層性格不明遺構出土遺物

No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-39	8	SX98	I	土器器	坪	14.4××6.5	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラ ミガキ(熱射鉄)	内面黒色漆仕上3f。	5-13	
2	C-38	8	SX98	I	土器器	坪	(15.2)××深5.7	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラミガキ	5-14	
3	E-6	8	SK105	-	須磨器	重	×(11.4)×深6.9 ズリ	クロナデ・手持ちヘラケ ズリ	クロナデ・手持ちヘラケ ズリ	5-15	



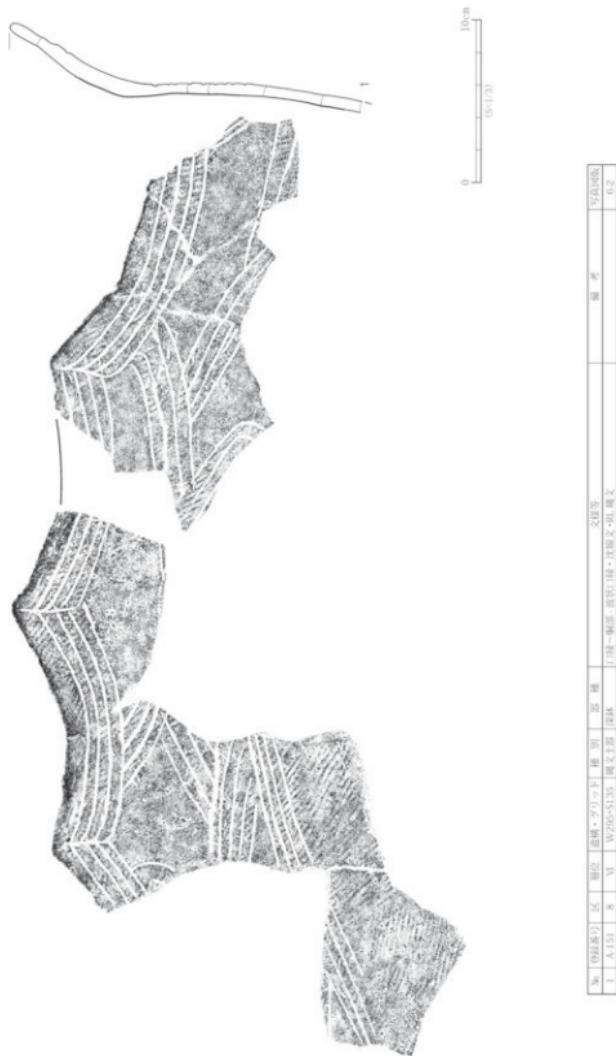
第19図 V層溝跡出土遺物

No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-33	8	SD62	I	土器器	坪	××深4.7 ズリ	ヨコナデ?・ナデ・ヘラケ ズリ	ヘラミガキ・ヘラナデ		5-16



第20図 V層出土遺物

No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-58	8	V	W280+5125	土器器	坪	27.4××深26.4	ヨコナデ・ヘラナデ	ヘラナデ		6-1



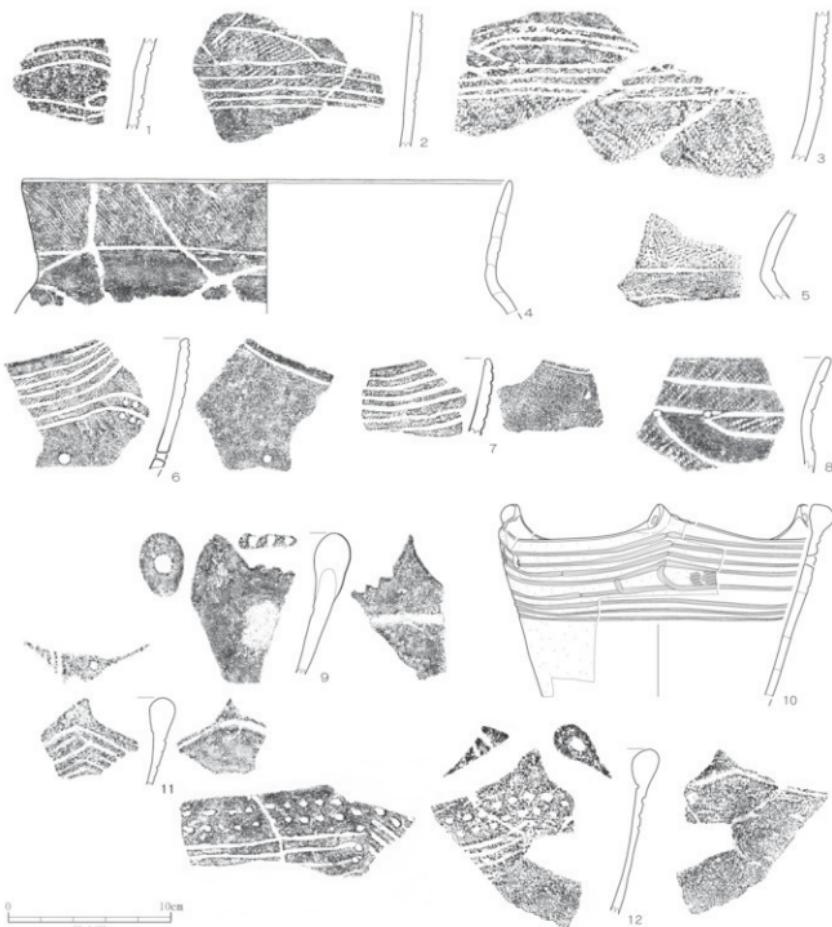
第21図 VI層出土遺物（1）

第8節 下ノ内遺跡8区



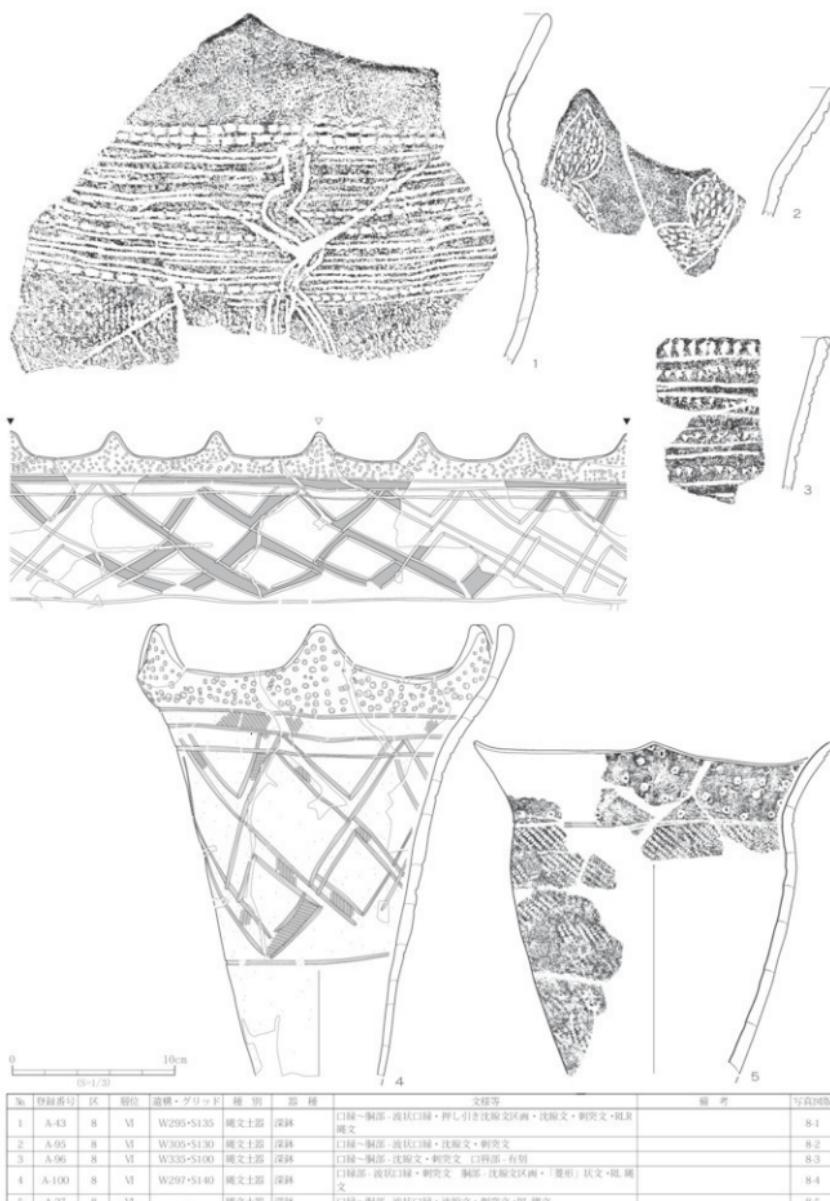
登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真回数
1 A-124	8	VI	W325-S105	獨立土器	鉢	突起・脚部文・沈線文	断土に金雲母混入。	6.3
2 A-101	8	VI	W325-S120	獨立土器	不明	桶状把手・ナデ・貫通孔	上半側底。	-
3 A-24	8	VI	W310-S110	獨立土器	深鉢	口縁～胴部・沈線文・BL・網文		6.4
4 A-32	8	VI	W310-S125	獨立土器	鉢	口縁・沈線文・口押部・有朋	断土に金雲母混入。	6.5
5 A-46	8	VI	W285-S138	獨立土器	鉢	口縁～胴部・沈線文・L・網文		6.6
6 A-35	8	VI	W315-S125	獨立土器	鉢	口縁部・波紋・有朋		6.7
7 A-30	8	VI	W305-S140	獨立土器	鉢	口縁部・沈線文・L・網文		6.8
8 A-30	8	VI	W310-S115	獨立土器	鉢	口縁部・沈線文		-
9 A-39	8	VI	W305-S125	獨立土器	鉢	口縁部・沈線文・L・網文		-
10 A-37	8	VI	W280-S130	獨立土器	鉢	脚部・浅腹文・周・網文	内面炭化物付着。	7.1
11 A-31	8	VI	W320-S125	獨立土器	深鉢	脚部・浅腹文・L・網文・周・網文	内面炭化物付着。	7.2
12 A-86	8	VI	W310-S123	獨立土器	鉢	脚部・「クラシク」状文・BL・網文	内面炭化物付着。	7.3
13 A-48	8	VI	W285-S140	獨立土器	深鉢	脚部・沈線文・L・網文		7.4
14 A-47	8	VI	W285-S140	獨立土器	深鉢	脚部・沈線文・L・網文		-
15 A-28	8	VI	W335-S125	獨立土器	深鉢	脚部・沈線文・「ランク」状文・BL・網文	内部埋藏、下／内道路7A区M1 附SX18出土A-41上回。	7.5
16 A-76	8	VI	W304-S131	獨立土器	深鉢	脚部・沈線文・「ランク」状文・BL・網文	内部埋藏、下／内道路7A区M1 附SX18出土A-41上回。	7.6

第22図 VI層出土遺物（2）

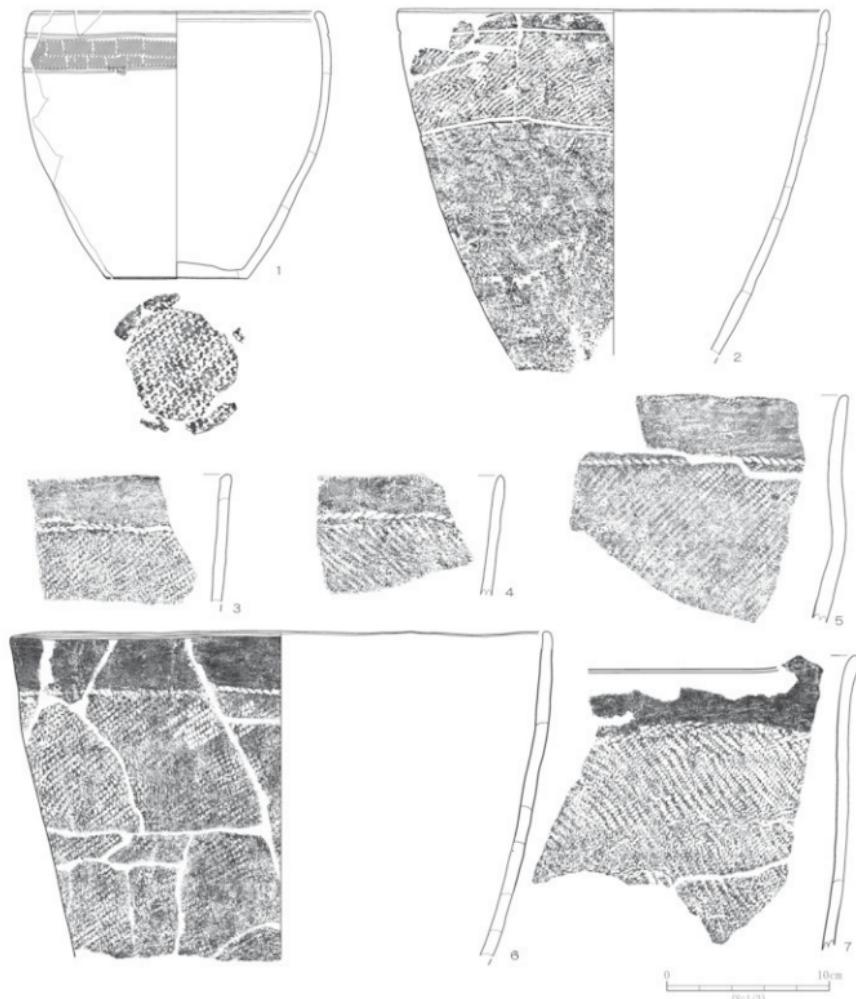


No.	登録番号	区	部位	遺構・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真回数
1	A-40	8	VII	W315-S125	獨立土部	深鉢	網状・波板文・L字彫文	内外面摩滅。	7.7
2	A-42	8	VII		獨立土部	深鉢	網状・波板文・L字彫文		7.8
3	A-85	8	VII		獨立土部	深鉢	網状・波板文・L字彫文		7.9
4	A-26	8	VII	W315-S111	獨立土部	深鉢	口縁・網状・波板文・L字彫文		7.10
5	A-23	8	VII		獨立土部	深鉢	口縁・網状・波板文・L字彫文		7.11
6	A-33	8	VII	W305-S125	獨立土部	鉢	口縁部・波板文・浅腹で・刺突文・L字彫文 内面に沈版文	縫合孔あり。A-36 之間。	7.12
7	A-36	8	VII	W305-S125	獨立土部	鉢	口縁部・波板文・浅腹で・L字彫文 内面に沈版文	A-33 之間。	
8	A-34	8	VII	W325-S110	獨立土部	深鉢	口縁部・沈版文・刺突文・L字彫文		7.13
9	A-125	8	VII		獨立土部	深鉢	口縁部・波板文・山形突起 外面に沈版文 口縁部・有刺 突起部・刺突文		7.14
10	A-22	8	VII	W315-S110	獨立土部	深鉢	L字縁・網状・波板文・山形突起・沈版文・刺突文・L字彫文 口 縫合孔あり。胎土に金雲母混入、内外面摩滅。		7.15
11	A-245	8	VII	W305-S125	獨立土部	鉢	L字縁部・波板文・山形突起・沈版文 内面に沈版文 突起部・有刺 突起文		7.16
12	A-99	8	VII	W325-S110	獨立土部	深鉢	L字縁部・波板文・山形突起・沈版文・刺突文 内面に沈版文 突起部・刺突文・有刺		7.17

第23図 VI層出土遺物（3）

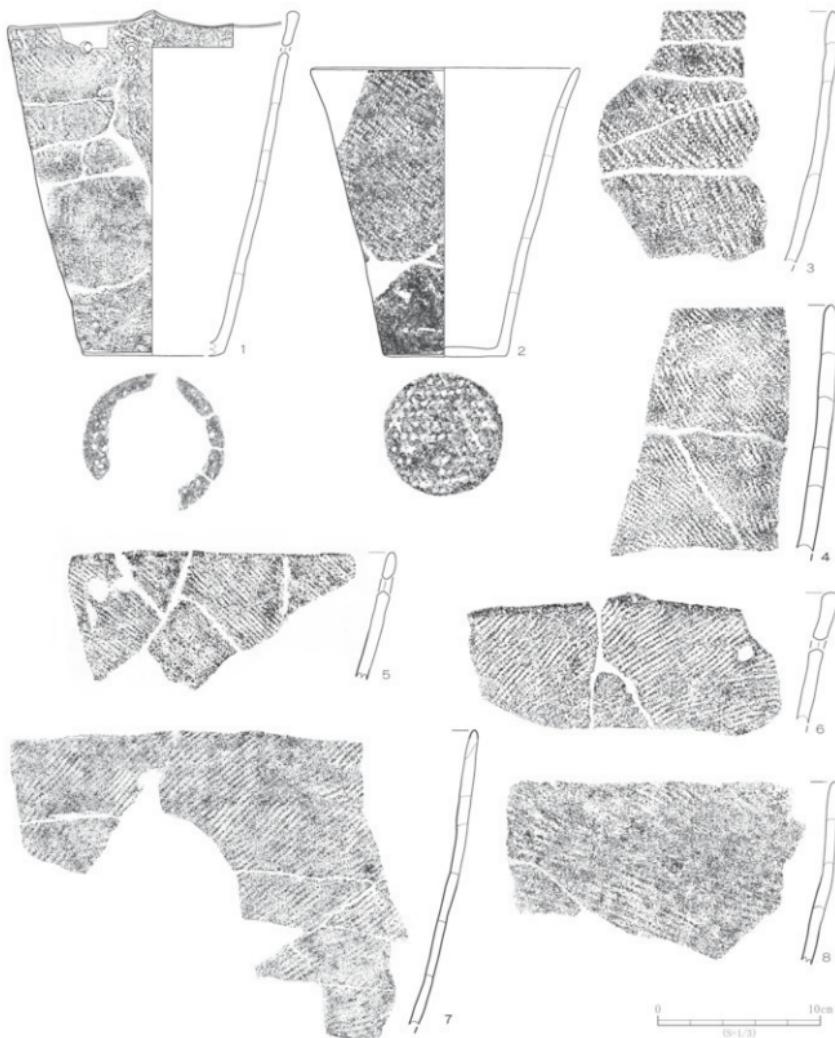


第24図 VI層出土遺物（4）



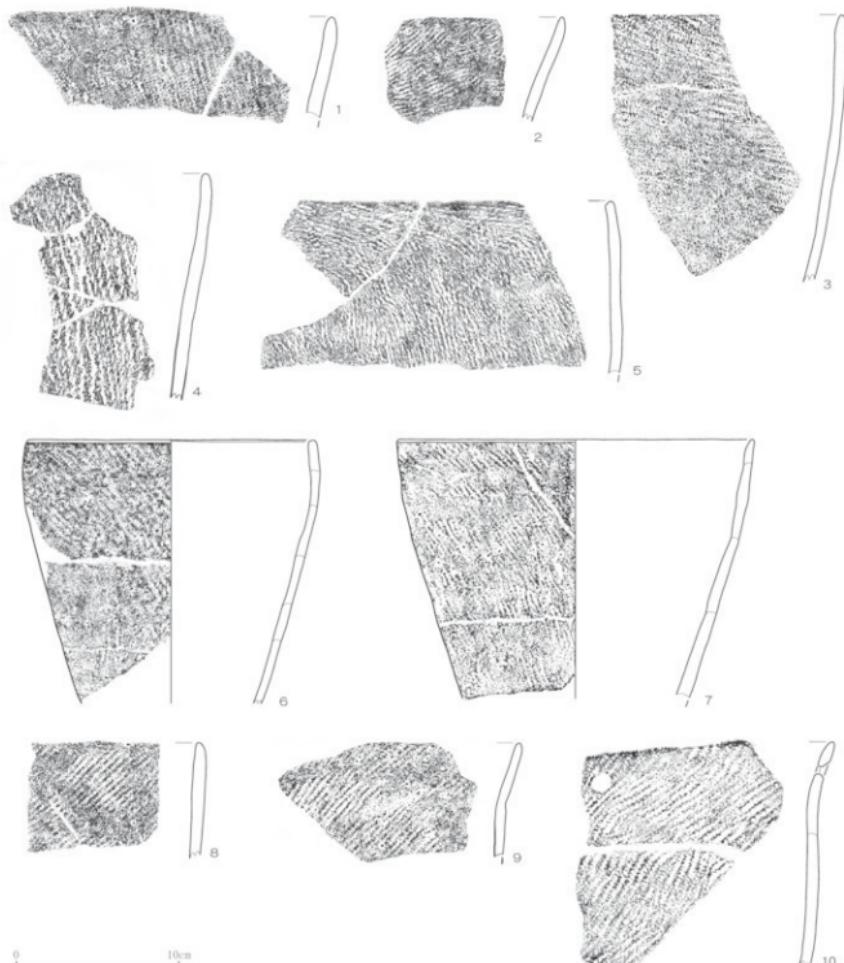
番号	件名	層位	遺構・グリッド	種別	器種	文様等	参考	写真回数
1	A-94	8	VI	W305-S131	陶土器	深鉢	口縁部・沈版文・LR網文・側部・三刃牛・底部・網代板	8.6
2	A-49	8	VI	W299-S140	陶土器	深鉢	口縁部・沈版文・LR網文・側部・三刃牛	8.7
3	A-112	8	VI	W325-S105	陶土器	深鉢	口縁～側部・LR網文・LR網文側面押圧	9.1
4	A-115	8	VI	W315-S110	陶土器	深鉢	口縁～側部・頭・足・中間部・網文側面押圧	-
5	A-118	8	VI	W315-S110	陶土器	深鉢	口縁～側部・LR網文・LR網文側面押圧	9.2
6	A-129	8	VI	W325-S125	陶土器	深鉢	口縁～側部・LR網文・LR網文側面押圧	9.3
7	A-116	8	VI	W304-S131	陶土器	深鉢	口縁～側部・山形小突起・頭・足・LR網文・LR網文側面押圧	9.4

第25図 VI層出土遺物(5)



番号	登録番号	区	場所	遺構・グリッド	種別	器種	文様等	調査者	写真提供者
1	A-104	8	VI	W304+5131	圓文土器	深鉢	口縁～胴部・山形小突起・圓文 底部・網代版	補修孔あり、外表面灰化物付着。	9.5
2	A-122	8	VI	W297+5140	圓文土器	深鉢	口縁～胴部・圓文 底部・網代版	-	9.6
3	A-60	8	VI	W315+5110	圓文土器	深鉢	口縁～胴部・圓文	-	9.7
4	A-106	8	VI	W305+5125	圓文土器	深鉢	口縁～胴部・圓文 (1段鉢底)	-	9.8
5	A-111	8	VI	W315+5120	圓文土器	深鉢	口縁～胴部・圓文	補修孔あり。	-
6	A-109	8	VI	W285+5140	圓文土器	深鉢	口縁～胴部・山形小突起・LR網文	補修孔あり。	9.9
7	A-107	8	VI	W320+5110	圓文土器	深鉢	口縁～胴部・LR網文	補修孔あり。	10.1
8	A-108	8	VI	W310+5140	圓文土器	深鉢	口縁～胴部・LR・圓文	-	-

第26図 VI層出土遺物（6）



番号	登録番号	区	部位	遺構・ダリッド	種別	器種	文様等	備考	写真回数
1	A-64	8	VI	W280-S130	獨立	深鉢	口縁～胴部 LR 縦文(段差有)	-	-
2	A-68	8	VI	W330-S115	獨立	深鉢	口縁部 L 縦文	内面赤色顕微付着	10.2
3	A-62	8	VI	W300-S125	獨立	深鉢	口縁～胴部 LR 縦文	-	10.3
4	A-63	8	VI	W300-S140	獨立	深鉢	口縁～胴部 L 縦文	-	-
5	A-70	8	VI	W325-S105	獨立	深鉢	口縁～胴部 水縞系文	外面部化物付着	10.4
6	A-119	8	VI	W305-S125	獨立	深鉢	口縁～胴部 LR 縦文	-	10.5
7	A-153	8	VI	W325-S105	獨立	深鉢	口縁～胴部 LR 縦文	-	10.6
8	A-67	8	VI	W325-S105	獨立	深鉢	口縁部 LR 縦文	-	-
9	A-66	8	VI	W325-S105	獨立	深鉢	口縁～胴部 LR 縦文	-	10.7
10	A-113	8	VI	W280-S140	獨立	深鉢	口縁～胴部 LR 縦文	補修孔あり	10.8

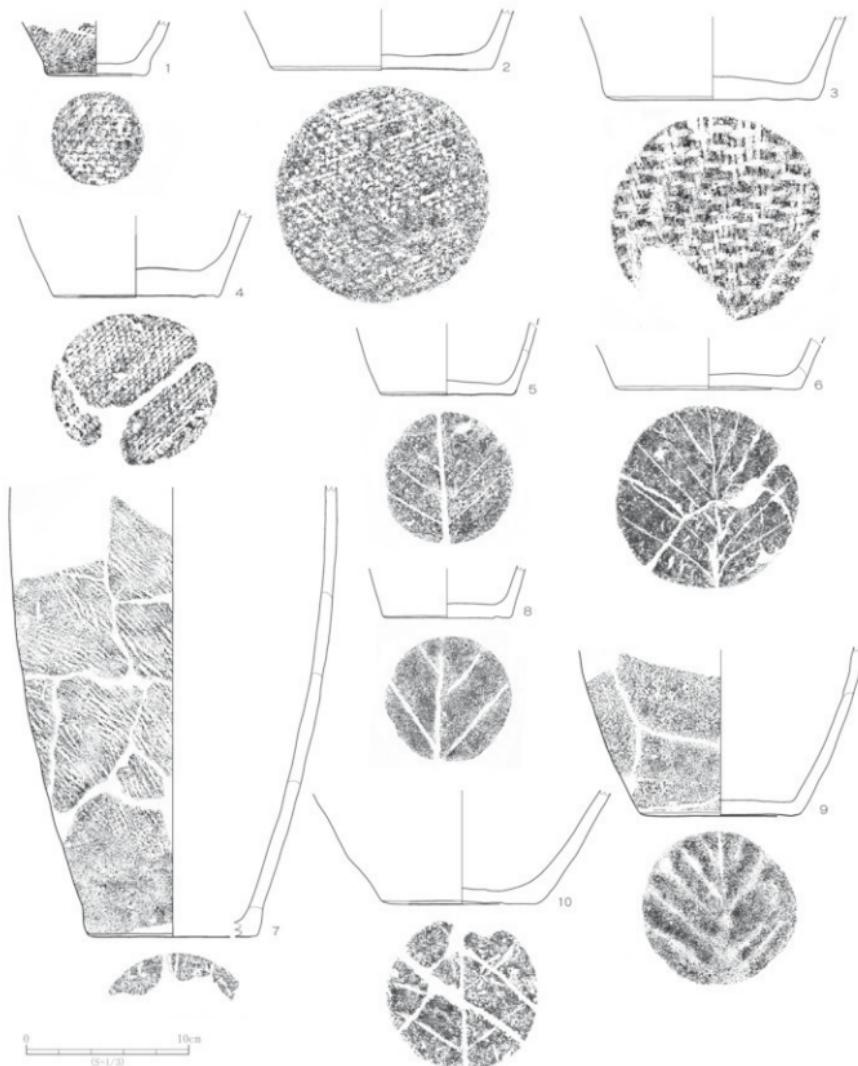
第27図 VI層出土遺物（7）

第8節 下ノ内遺跡8区



番号	登錄番号	区	場所	遺構・グリッド	種別	面種	文様等	参考	写真回数
1	A-110	8	VI	W325-5105	陶土器	深鉢	口縁～胴部 細網文		10-9
2	A-128	8	VI	W309-5125	陶土器	深鉢	口縁～胴部 細網文	外面網文。	10-10
3	A-121	8	VI	W323-5123	陶土器	深鉢	口縁～胴部 LR網文		11-1
4	A-127	8	VI	W325-5105	陶土器	深鉢	口縁～胴部 LR網文		11-2
5	A-69	8	VI	W285-5130	陶土器	深鉢	口縁～胴部 黒文	補修孔あり、内面黒色物付着。	-
6	A-126	8	VI	W320-5115	陶土器	深鉢	口縁～胴部 網文	内面赤熱焼付着。	11-3

第28図 VI層出土遺物（8）



番号	標本番号	区	場所	遺構・グリッド	種	別	面	種	文様等	参考	写真箇数
1	A-56	8	VI	W305-S125	圓土器	深鉢			44号-LR 縞文 底部 創代板		11-4
2	A-57	8	VI	W306-S131	圓土器	深鉢			44号-万字文 底部 創代板		11-5
3	A-59	8	VI	W299-S135	圓土器	深鉢			44号-万字文 底部 創代板		11-6
4	A-58	8	VI	W300-S135	圓土器	深鉢			44号-万字文 底部 創代板		-
5	A-54	8	VI	W285-S130	圓土器	深鉢			44号-万字文 底部 木要板		-
6	A-53	8	VI	W305-S125	圓土器	深鉢			44号-万字文 底部 木要板		-
7	A-105	8	VI	W283-S140	圓土器	深鉢			44号-新標準式 底部 木要板		12-1
8	A-55	8	VI	W305-S125	圓土器	深鉢			44号-万字文 底部 木要板		-
9	A-52	8	VI	W305-S125	圓土器	深鉢			44号-LR 縞文? 底部 木要板		-
10	A-51	8	VI	W325-S105	圓土器	深鉢			44号-万字文 底部 木要板	内外面摩滅	-

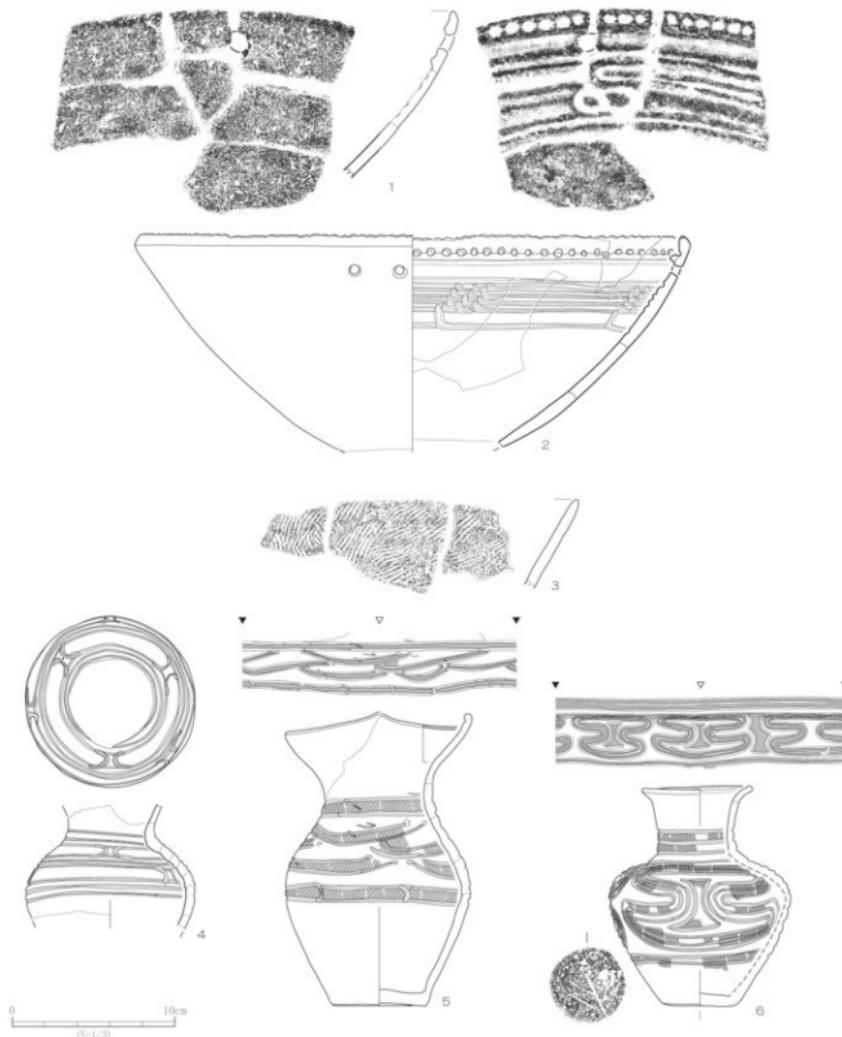
第29図 VI層出土遺物（9）

第8節 下ノ内遺跡8区



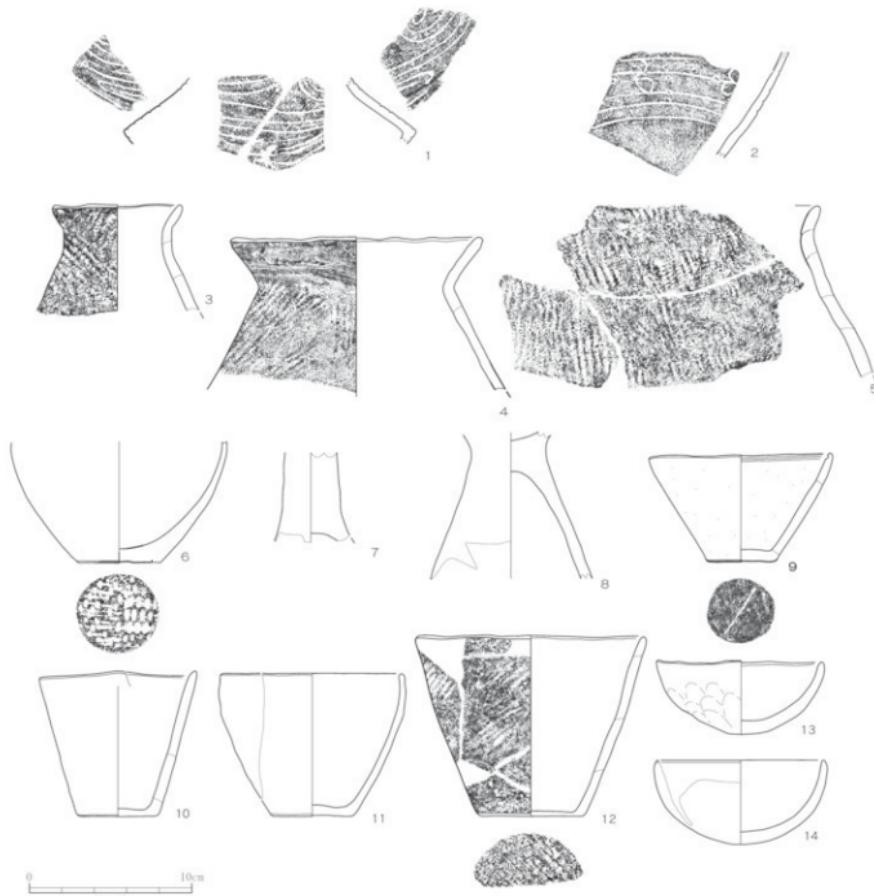
番号	件名番号	区	層位	遺構・グリッド	種別	面種	文様等	圖考	反復箇数
1	A-74	8	VI	W310-S125	陶文土器	鉢	口縁一部・斜腹文・LR斜文		12-2
2	A-79	8	VI	W310-S125	陶文土器	深鉢	外縁:口縁一部・山形小突起・沈腹文(矢面)「C」字状文・L狀周文・底部:往附文? 内面:突起部・斜腹文・口縁部・沈腹文	乃至重底。	12-3
3	A-87	8	VI	W325-S135	陶文土器	鉢	外縁:口縁部・技術文・LR斜文・網目文・刃刃牙 内面:口縫部・技術文		12-4
4	A-45	8	VI	W315-S125	陶文土器	深鉢	口縁部・沈腹文・L・R斜文?・網目文・刃刃牙・底部:不明		12-5
5	A-50	8	VI	W305-S125	陶文土器	鉢	口縫部・網目文・刃刃牙		12-6
6	A-61	8	VI	W329-S109	陶文土器	鉢	口縫部・網目文・刃刃牙		12-7
7	A-102	8	VI	W310-S135	陶文土器	台付鉢	網目・台脚部・ナデ		12-8
8	A-82	8	VI	W305-S125	陶文土器	浅鉢	口縫部・沈腹文・L・R斜文・網目部・刃刃牙	丸底、貫通孔上ヶあわり。	12-9
9	A-41	8	VI	W305-S125	陶文土器	浅鉢	外縁:口縫部・沈腹文・L・R斜文・内面:沈腹文	側面上に金雲母混入。	12-10
10	A-89	8	VI	W300-S140	陶文土器	浅鉢	口縫部・沈腹文(矢面)・沈腹文・L・R斜文・網目文・刃刃牙		12-11
11	A-92	8	VI	W204-S130	陶文土器	浅鉢	口縫一部・外面:刃刃牙・内面:口縫部・斜腹文・網目文・側突変・網目部・刃刃牙	A-93と同一。	-
12	A-93	8	VI	W305-S130	陶文土器	浅鉢	口縫一部・外面:刃刃牙・内面:口縫部・斜腹文・網目文・側突変・網目部・刃刃牙・有別	A-92と同一。	12-12

第30図 VI層出土遺物 (10)



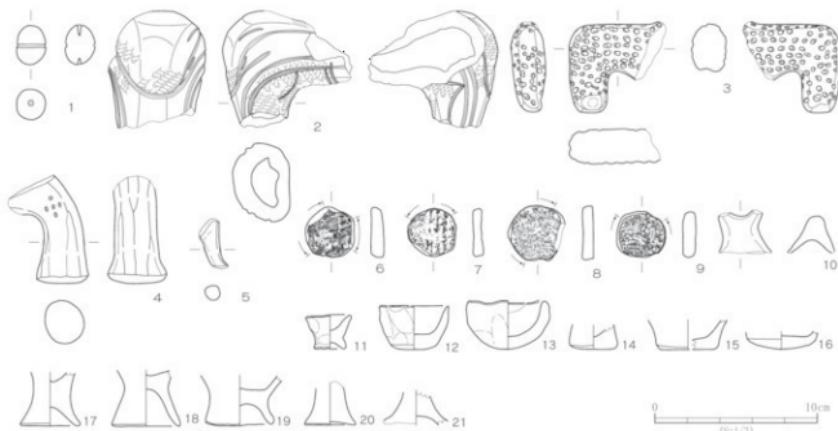
第31図 VI層出土遺物 (11)

No.	標記番号	区	組位	通稱・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真図集
1	A-44	8	V1	W315-S110	幾文土器	浅鉢	C網～胸部・外腹：三方舟 内腹：口縁部・胸突文・胸部・附縦文・浅鉢文	貫通孔1ヶ所あり。	12-13
2	A-91	8	V1	-	幾文土器	浅鉢	C網～胸部・外腹：ミガキ 内腹：口縁部・附縦文・胸突文・胸部・附縦文区画・「カランク」状文・口縫部・有胡	補修孔あり。	13-1
3	A-114	8	V1	W305-S125	幾文土器	深鉢	C網～胸部・LR網文の段多条)		
4	A-80	8	V1	W285-S130	幾文土器	壺	胸部：口縁文・浅鉢文		13-2
5	A-475	8	V1	W306-S132	幾文土器	壺	口縁部・波状口縁・胸部・沈縞文区画・沈縞文・刺突文・LR網文 口縫部内側に沈縞文	胎土に金雲母混入。	13-3
6	A-77	8	V1	W285-S135	幾文土器	壺	外腹：口縁部・三方舟 壺～胸部・沈縞文区画・沈縞文・LR網文 底部：口縫部・口縫部内側に沈縞文		13-4



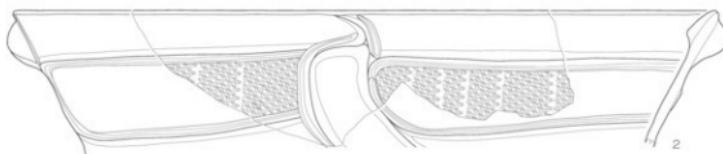
No.	登録番号	区	棚位	過橋・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真回数
1	A.90	8	VI	W305-S130	绳文土器	直	斜線文・LR 繩文		13.5
2	A.72	8	VI	W304-S130	绳文土器	鉢	斜線文・LR 繩文		13.6
3	A.83	8	VI	W300-S125	绳文土器	直	口縁部・斜線文		13.7
4	A.65	8	VI	W325-S105	绳文土器	直	口縁部・ナデ	斜面・LR 繩文	13.8
5	A.71	8	VI	W325-S105	绳文土器	直	口縁部・斜面	斜面・繩文	14.1
6	A.75	8	VI		绳文土器	鉢	斜面・カガハ	底部・網代編	-
7	A.103	8	VI	W315-S115	绳文土器	台付土器	斜面	ナデ	外面部質
8	A.123	8	VI	W300-S135	绳文土器	台付土器	斜面	ナデ・カガハ	外面部化物付面
9	A.20	8	VI	W325-S105	绳文土器	小型土器	外縁部・口縁部・斜面	ナデ	木葉模?
10	A.78	8	VI	W290-S135	绳文土器	小型土器	口縁部・底部	山形小突起・ナデ	内外面部質
11	A.81	8	VI	W320-S110	绳文土器	小型土器	口縁部	ナデ	14.5
12	A.117	8	VI	W304-S131	绳文土器	小型土器	口縁部	斜面・新繩文	14.6
13	A.21	8	VI	W305-S127	绳文土器	小型土器	口縁部	新繩文・底部・網代編	丸底
14	A.73	8	VI	W315-S115	绳文土器	小型土器	口縁部	新繩文・ナデ	丸底

第32図 VI層出土遺物(12)



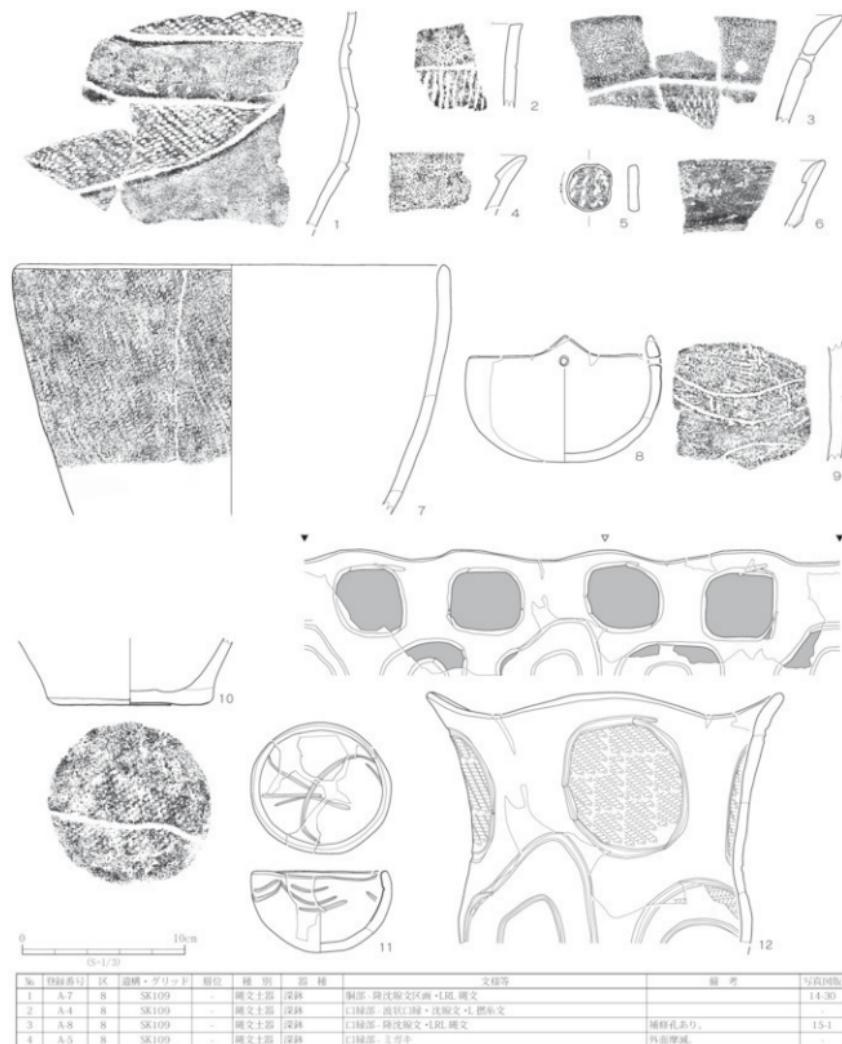
No.	登録番号	区	期位	遺構・グリッド	種別	器種	文様等	幅	高さ	厚さ
1	P-11	8	VI	W290-S125	土製品	土鉢?	上・西壁に横3mmの孔(背面部)・側面に幅2mmの凹部。	24 × 18 × 9mm	8.5g	14.10
2	P-14	8	VI	W305-S125	土製品	土鉢	口部・底部・足部・縁文	小空。		14.11
3	P-15	8	VI	W285-S140	土製品	土鉢	脚部・柄部文・ナデ			14.12
4	P-12	8	VI	W305-S125	土製品	土鉢	脚部・柄部文・ナデ			14.13
5	P-13	8	VI	W310-S130	土製品	土鉢	脚部・ナデ			
6	P-16	8	VI	W330-S130	土製品	土鉢?腹	不規・摩滅面有	31 × 30 × 9mm	9.1g	14.14
7	P-17	8	VI	W320-S115	土製品	土鉢?腹	L選文	30 × 30 × 7mm	6.4g	14.15
8	P-18	8	VI	W325-S105	土製品	土鉢?腹	不規・摩滅面有	34 × 35 × 8mm	10.3g	14.16
9	P-19	8	VI	W304-S130	土製品	土鉢?腹	不規・摩滅面有	28 × 31 × 9mm	8.5g	14.17
10	P-96	8	VI	W285-S130	土製品	脚型土製品	ナデ	周27 × 高32 × 29mm		14.18
11	P-98	8	VI	W315-S120	土製品	耳鉢	ナデ	28 × 20 × 21mm	105.	14.19
12	P-105	8	VI	W305-S125	土製品	ミニチュア	口部～底部・ナデ			14.20
13	A-84	8	VI	W310-S120	織文土器	ミニチュア	口部～底部・ナデ			14.21
14	P-101	8	VI	W330-S105	土製品	ミニチュア	脚～底部・ナデ			14.22
15	P-102	8	VI	W305-S140	土製品	ミニチュア	脚～底部・ナデ			14.23
16	P-103	8	VI	W295-S135	土製品	ミニチュア	脚～底部・ナデ			14.24
17	P-99	8	VI	W295-S130	土製品	ミニチュア	脚部・ナデ			14.25
18	P-100	8	VI	W285-S135	土製品	ミニチュア	脚部・ナデ			14.26
19	P-104	8	VI	W300-S135	土製品	ミニチュア	脚～底部・ナデ			14.27
20	A-478	8	VI	W325-S120	織文土器	ミニチュア	脚部・ナデ			14.28
21	A-482	8	VI	W320-S130	織文土器	ミニチュア	脚部・不明			外表面無。

第33図 VI層出土遺物（13）

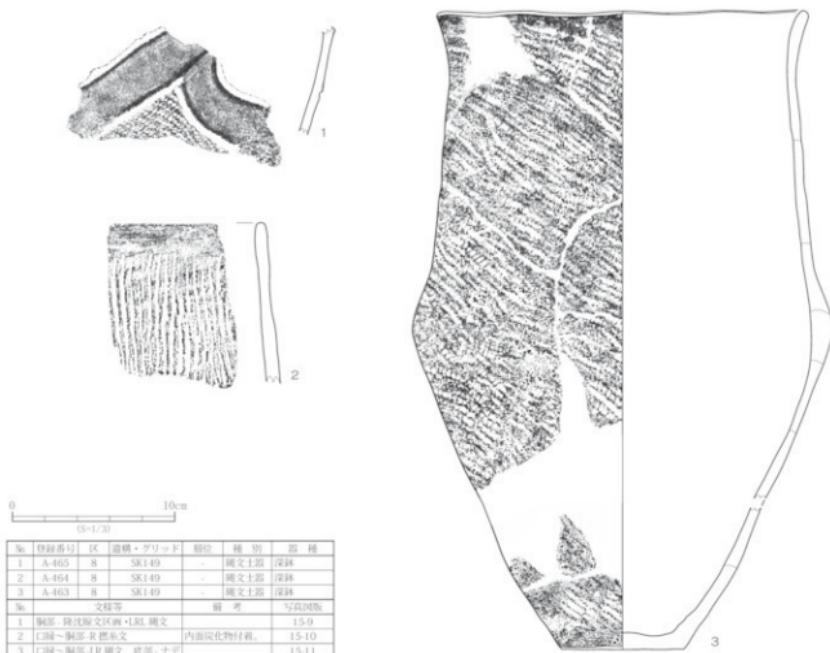


No.	登録番号	区	遺構・グリッド	期位	種別	器種	文様等	幅	高さ	厚さ
1	A-3	8	SK108	-	陶土器	深鉢	口幅広・附脚文・L底・開文			
2	A-6	8	SK109	-	陶土器	深鉢	口幅広・脚部・附脚文・L底・開文・脚柱脚底文			14.29

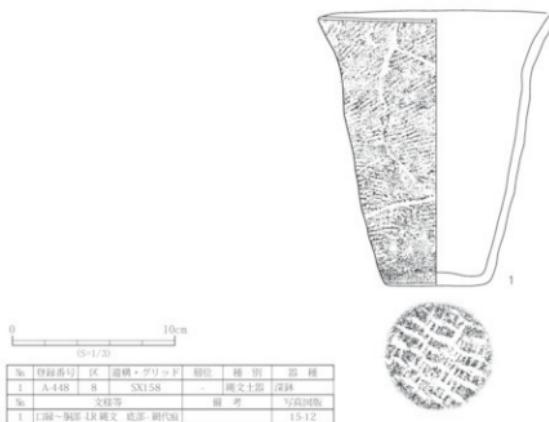
第34図 VII層土坑出土遺物（1）



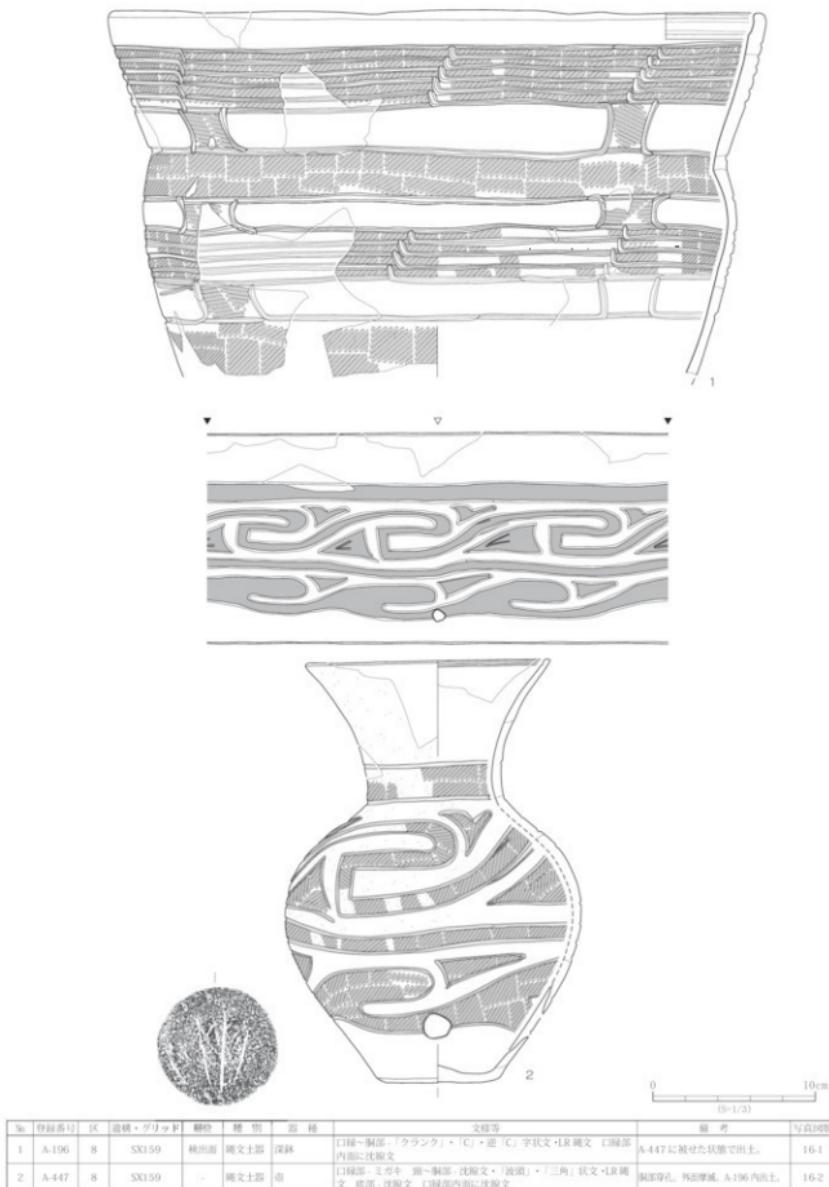
第35図 VII層土坑出土遺物（2）



第36図 VII層土坑出土遺物（3）



第37図 VII層S X 158埋設土器



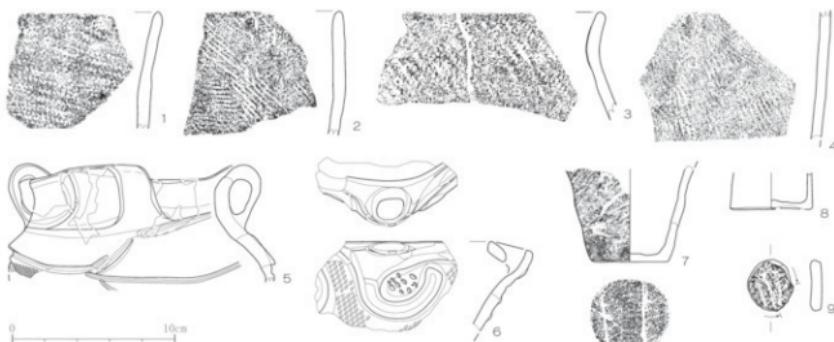
第38図 VII層 S X 159 埋設土器



%	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真番号
1	A-149	8	VII	W310-S120	繪文土器	深鉢	(口縁)・輪郭文・波状文・山形突起・沈底文・LR 繩文		16-3
2	A-147	8	VII	W310-S130	繪文土器	深鉢	(口縁)・沈底文・「ランク」・状文・RL 繩文・胸部・ミガキ		16-4
3	A-29	8	VII	W309-S125	繪文土器	深鉢	(口縁)・輪郭文・波状文・沈底文・LR 繩文	内外面摩滅	17-1
4	A-143	8	VII	W315-S135	繪文土器	深鉢	(口縁)・波状文・沈底文		17-2
5	A-144	8	VII	W330-S115	繪文土器	深鉢	輪郭・波状文・LR 繩文		17-3
6	A-146	8	VII	W310-S130	繪文土器	深鉢	輪郭・波状文・「菱形」・状文・LR 繩文		17-4
7	A-163	8	VII	W310-S130	繪文土器	深鉢	輪郭・輪状隙縫文・沈底文・L 壁文		17-5
8	A-142	8	VII	W310-S130	繪文土器	深鉢	(口縁)・輪郭・波状文・R 繩文		17-6
9	A-193	8	VII	W330-S115	繪文土器	深鉢	LR 繩文	縫隙孔あり	
10	A-189	8	VII	W325-S125	繪文土器	深鉢	RL 繩文		17-7
11	A-157	8	VII	W310-S130	繪文土器	深鉢	(口縁)・輪郭・組 繩文・底部・側面削		17-8
12	A-181	8	VII	W310-S130	繪文土器	深鉢	(口縁)・輪郭・RL 繩文	縫隙孔あり	
13	A-191	8	VII	W315-S120	繪文土器	深鉢	(口縁)・L 繩文		17-9
14	A-187	8	VII	W310-S130	繪文土器	深鉢	(口縁)・ナデ	内外面摩滅	

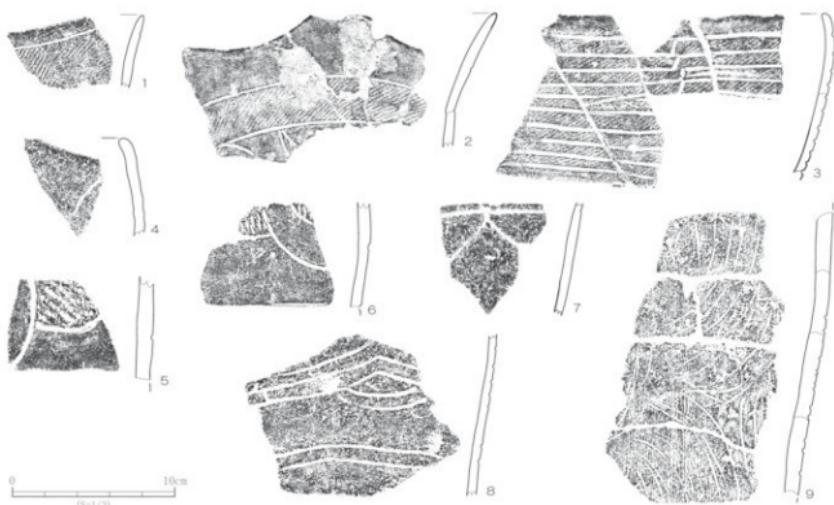
第39図 VII層出土遺物（1）

第8節 下ノ内遺跡8区



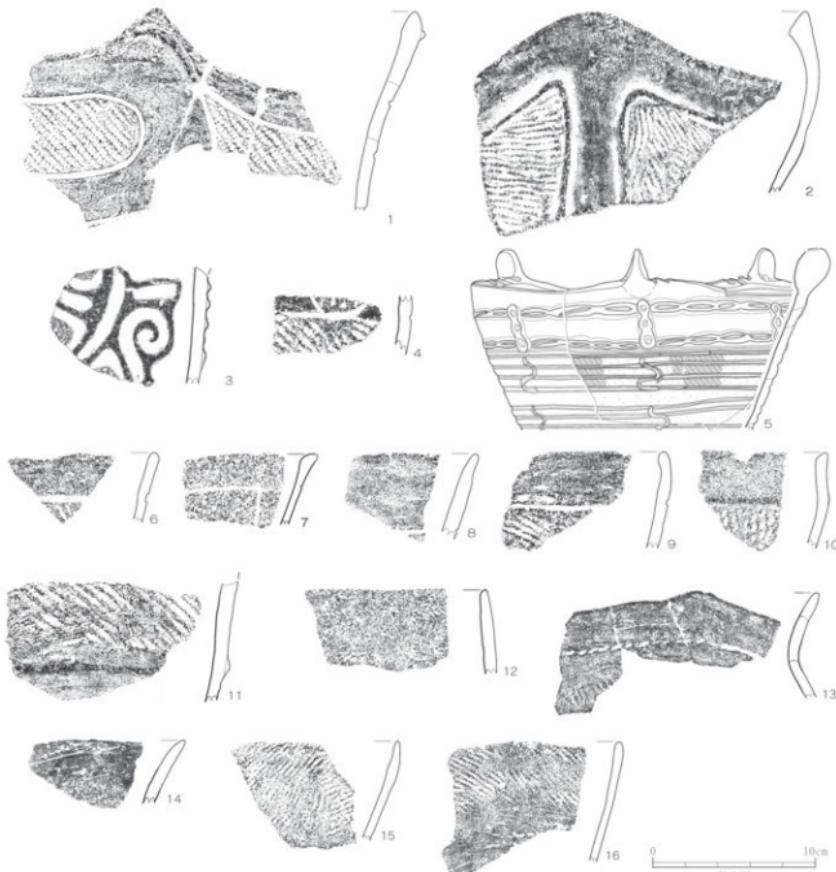
No.	登録番号	区	棚位	遺構・グリッド	種 別	面 様	文様等	備 考	写真箇所
1	A-188	8	VII	W310×S130	绳文土器	深鉢	口縁部・IR・縞文	-	-
2	A-194	8	VII	W315×S115	绳文土器	深鉢	口縁部・LR・縞文	-	-
3	A-186	8	VII	W310×S130	绳文土器	深鉢	口縫・胸部・IR・縞文	17-9	-
4	A-183	8	VII	W325×S130	绳文土器	深鉢	胸部・LR・縞文	-	-
5	A-251	8	VII	W335×S90	绳文土器	盆	口縫部・縞文・頸状把手・胸部・胸浅縞文・LR縞文の四条条	17-10	-
6	A-172	8	VII	W330×S115	绳文土器	口口縁	口口縁部・縞文・把手・胸縫、内外面炭化物付着	17-11	-
7	A-165	8	VII	W310×S130	绳文土器	小型土器	胸部・LR・縞文・底端・木製軸	-	-
8	A-174	8	VII	W320×S125	绳文土器	小型土器	胸・底部・ナデ・ミガキ	17-12	-
9	P-21	8	VII	W330×S125	土器柄	土器口縫	口縫部・縞文	32 × 28 × 7mm 7.0g	17-13

第40図 VII層出土遺物（2）



No.	登録番号	区	棚位	遺構・グリッド	種 別	面 様	文様等	備 考	写真箇所
1	A-140	8	岐 b	W285×S140	绳文土器	深鉢	口縫部・波紋口縫・沈脚文・IR・縞文	出土に金雲母混入。	17-14
2	A-159	8	岐 b	W300×S130	绳文土器	深鉢	口縫・胸部・波紋口縫・深縫文・LR・縞文	突起及び外側剥落。	17-15
3	A-89	8	岐 b	W310×S125	绳文土器	深鉢	口縫部・クラシック・弦文・LR・縞文	-	17-16
4	A-175	8	岐 b	W320×S125	绳文土器	深鉢	口縫部・波紋口縫・波紋文	-	17-17
5	A-166	8	岐 b	W315×S125	绳文土器	深鉢	胸部・波紋文・IR・波紋文・LR・縞文	-	-
6	A-134	8	岐 b	W325×S125	绳文土器	深鉢	胸部・波紋文・IR・波紋文・自然系文	-	-
7	A-180	8	岐 b	W280×S140	绳文土器	深鉢	胸部・波紋文	-	-
8	A-141	8	岐 b	W330×S105	绳文土器	深鉢	胸部・波紋文・LR・縞文	-	17-18
9	A-260	8	岐 b	W310×S130	绳文土器	深鉢	胸部・波紋文・条縞文	出土に金雲母混入。	17-19

第41図 VIIb層出土遺物（1）



番号	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種別	部種	文様等	備考	写真図版
1	A-167	8	VII b	W310+5130	縹文土器	深鉢	口縁部・波状口縁・横縞模様文・「コ」字状文・RL 繩文	外面赤経。	17-20
2	A-161	8	VII b	W310+5130	縹文土器	深鉢	口縁一部部・波状口縁・横縞文・區画・RL 繩文	内面黒経・黒色物付着(鉢底面に毛付着)。	18-1
3	A-164	8	VII b	W330+5105	縹文土器	深鉢	縹部・縹文		18-2
4	A-162	8	VII b	W315+5125	縹文土器	深鉢	縹部・沈縞文・刺突文・LR 繩文		-
5	A-148	8	VII b	W283+5140	縹文土器	深鉢	口縁一部部・波状口縁・縹眉状起・隙縞文・沈縞文・刺突文・RL 繩文	外面摩滅。	18-3
6	A-139	8	VII b	W285+5140	縹文土器	深鉢	口縁部・沈縞文・LR 繩文?		-
7	A-133	8	VII b	W320+5125	縹文土器	深鉢	口縁部・沈縞文・LR 繩文		18-4
8	A-132	8	VII b	W320+5125	縹文土器	深鉢	口縁部・沈縞文		-
9	A-137	8	VII b	W320+5125	縹文土器	深鉢	口縁部・沈縞文・LR 繩文		-
10	A-131	8	VII b	W320+5120	縹文土器	深鉢	口縁部・隙縞文・L 燃矢文		18-5
11	A-168	8	VII b	W300+5125	縹文土器	深鉢	縹部・隙縞文・X縞・条縞文・LR 繩文(D四多)		18-6
12	A-130	8	VII b	W285+5140	縹文土器	深鉢	口縁一部部・LR 繩文・LR 繩文面部押圧		-
13	A-150	8	VII b	W305+5125	縹文土器	深鉢	口縁一部部・山形小空點・RL 繩文・RL 繩文面部押圧		18-7
14	A-178	8	VII b	W283+5140	縹文土器	深鉢	口縁部・王字型	外面摩滅。	-
15	A-192	8	VII b	W290+5125	縹文土器	深鉢	(口縁部・LR 繩文の段多条)		18-8
16	A-185	8	VII b	W310+5130	縹文土器	深鉢	(口縁部・RL 繩文・縋・V字型)		18-9

第42図 VII b層出土遺物（2）